第3回　交野市環境基本計画策定ワークショップ　次第

日時：令和3年8月27日（金）14:00～16:00
場所：交野市役所別館3階中会議室
　　：ビデオ会議

１．開会

２．ジュニア委員会報告

３．市民・事業者アンケート報告

４．2031年のビジョンについて

５．計画の推進体制の提案

６．施策の検討「エネルギー」

７．その他

８．閉会

次回開催日程
第4回環境基本計画　ワークショップ
日時：令和3年9月28日（火）14:00～16:00
場所：交野市役所別館3階中会議室およびビデオ会議

次第２　ジュニア委員会報告

資料 02-1

交野市環境基本計画ジュニア委員会の開催について

１ 目的

環境基本計画は、環境基本法に基づき、市町村が区域の中長期的なビジョンを示す計画である。現在の交野市環境基本計画は、2012（平成 24）年 3 月に定められ、2021（令和 3）年度までを対象としている。

現在の交野市環境基本計画は、計画に掲げる目標とその目標達成に資するプロジェクトの効果を連動させる仕組みがうまくできていないことが昨年度の外部評価で指摘された。また、次期計画策定にあたって、計画体系そのものを工夫すること、上位計画にあたる国の指針（現首相は 2050 年までにカーボンゼロ社会を実現する宣言を行っている）や、大阪府の環境総合計画の枠組みや指標（「2030 大阪府環境総合計画」では 2050 年二酸化炭素排出実質ゼロが目標とされている）を参考にすることも指摘された。さらに、2030 年を達成期限とする SDGs の実現にも連動した計画とすることも期待される。

上記のような理由から、第 2 次環境基本計画はその対象となる 2031 年以降のビジョンも視野に入れて策定していく必要がある。そのためには、カーボンゼロ社会が実現する 2050 年に働き盛り・子育て真っ最中になっているであろう中学生の意見を反映させるべきであると考え、ジュニア委員を募集し、交野市の環境がどうあってほしいかを一緒に考える委員会を開催した。

２ 日時・場所・出席者

（１）第 1 回委員会

日時：令和 3 年 7 月 29 日（木）10:00～12:00

場所：交野市役所別館 3 階中会議室&ビデオ会議

出席者：ジュニア委員 10 名、環境省近畿地方環境事務所環境対策課課長

（２）第 2 回委員会

日時：令和 3 年 8 月 3 日（火）14:00～16:00

場所：交野市役所別館 3 階中会議室&ビデオ会議

出席者：ジュニア委員 10 名（うち 1 名 web 参加）、交野市長、交野市教育長、
環境省近畿地方環境事務所環境対策課主査

※出席者の検温、手指消毒及びマスク着用など、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、ビデオ会議とのハイブリッド方式で実施。

3 概要

（1）第 1 回委員会

1）環境について情報提供

・NPO 法人木野環境より、2050 年交野市の環境を考えるための情報提供を行った

2）ワークショップ

・ワークショップを実施し、各ジュニア委員が考えた環境に関連するキーワードについて意見交換を行った。

【テーマ】

自分が 40 代になって、子育てをしたり働いている 2050 年。カーボンゼロ社会で、交野市の環境はどうあってほしいか。そのために、今から何を増やして、何を減らしたらいいか。

【方法】

「エネルギー」「循環型社会」「生物多様性」「生活環境」の 4 分野で、増やすもの、減らすもの、その他を用紙に記入し、掲示板に張り出して意見を共有。

【ジュニア委員の意見】

・交野市は自然が多く身近に感じているためか、自然に関連する意見が多かった

・環境に関するみんなの意識を高めるべきだという意見も多かった

・制服のリサイクル（リユース）や自転車専用道路の整備など、具体的な提案もあった

…

3）宿題

・第 2 回委員会で発表する内容を各自準備する

・今日出たキーワードで自分が一番着目したいことについて具体的な説明を加える。「2050 年、私が描く交野市の環境」として、提案を行う。

・発表用に絵や紙芝居、パワーポイントを用意する。

（2）発表（第 2 回委員会、8 月 3 日）

1）発表

・「2050 年、私が描く交野市の環境」をテーマとして、前回の宿題として各ジュニア委員が準備していた内容を一人あたり 5 分で発表した。市長に直接提案する貴重な機会となった。

【ジュニア委員の提案】

・歩道の整備、制服のリサイクル（リユース）

・ゴミが出しやすく分別もしやすいゴミステーションの設置

・水質汚染改善

・環境を考えるフェスティバルの実施

・自然保護に積極的に市民が関わる好循環を作る

・森林伐採の削減
・外来生物の駆除、里山保全
・自然と都市の共存を実現する屋上緑化施設
・ふるさと納税を利用して電気自動車・水素自動車の普及を促進する
・学校や公共施設で使う電力をその場で発電して賄う
…など

2)市長からのコメント
・各委員の発表はわかりやすく、すばらしい発表だった。前回のワークショップで学んだことからさらに考えられており、論理的にまとめられていた。
・まちづくりとワンセットで考えていることや、都市生活と自然との共存を感じさせる意見に感動した。
・若い人の意見から、今交野市の取り組みに足りないことを確認し、これからの広い視点を得た。素晴らしい、将来に向けての環境に対する提言をいただいたと思う。

4 今後の予定
今回ジュニア委員から出た意見を基本計画に反映できるよう、環境基本計画策定を進める。
・(大人の) ワークショップ
・環境審議会
・パブコメ

ジュニア委員会で出たキーワード（エネルギー）

増やすもの
再生可能エネルギー、風力発電、水力発電、 公共交通機関の利用、自転車、レンタルバイク、歩道・自転車の道、 グリーンカーテン、 コンビニにセルフレジやロボットを配置して24時間する
減らすもの
バス等の数、自家用車（家族だけで使う車）、 二酸化炭素、水や電気の使う量 24時間営業のコンビニ
その他
公共機関をもっと使う

ジュニア委員会で出たキーワード（循環型社会）

増やすもの
エコバック、制服のリユース、再利用 ゴミの分別項目、ユニークなゴミ箱 リサイクル
減らすもの
プラスチック、マイクロプラスチック むだなごみ、食品ロス、食品等の包装
その他
プラスチックを紙にする、紙ストローなど、包装を紙にする ゴミの分別 給食をやめる、給食の量などを選択できるようにする、給食とお弁当を選択制にする

ジュニア委員会で出たキーワード（生物多様性）

増やすもの
森林、自然、自然の動物、日本固有の生物の保護、生態系の保護
減らすもの
外来種、森林伐採
その他
交野市の自然の維持、山などの整備、山などの森林に手を加えない

ジュニア委員会で出たキーワード（生活環境）

増やすもの
水質、街路樹、自足自給
減らすもの
騒音、ポイ捨て
その他
田畑の面積

次第３　市民・事業者アンケート報告

交野市環境基本計画に関する

アンケート調査結果

（1）調査概要

（2）市民アンケート結果

（3）事業者アンケート結果

（1）調査概要

1）目的

第 2 次交野市環境基本計画の策定に向け、市民や市内の事業所に、日常取り組んでいる環境活動や、今後の交野市の環境についてどのように考えているのかについての意見を聞くために調査を実施した。

2）調査時期

令和 3 年 7 月

3）調査対象

市民アンケート：2,000 人（住民基本台帳より無作為抽出）

事業者アンケート：事業所 295 事業所（交野市商業連合会、交野市工業会の正会員）

4）回収率

市民アンケート：　30.9%　（617 通）

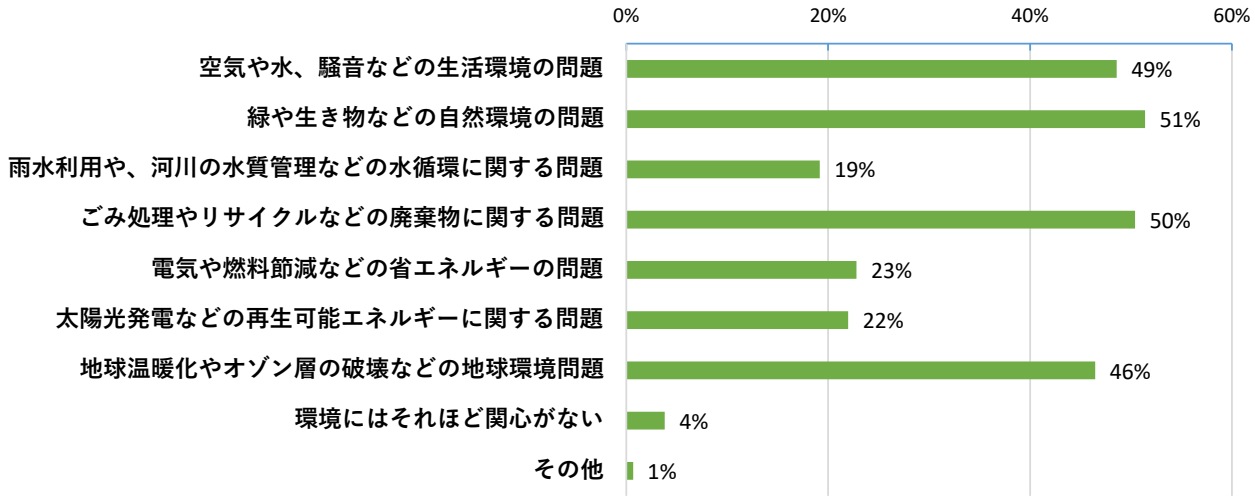
事業者アンケート：　31.5%　（93 通）

（2）市民アンケート　調査結果

問１　あなたはどの環境問題に関心がありますか。（3 つまで〇）

「空気や水、騒音などの生活環境」、「緑や生き物などの自然環境」「ごみ処理やリサイクルなどの廃棄物に関する問題」「地球温暖化やオゾン層の破壊などの地球環境問題」の 4 つの項目について、関心度が約 5 割と高かった。

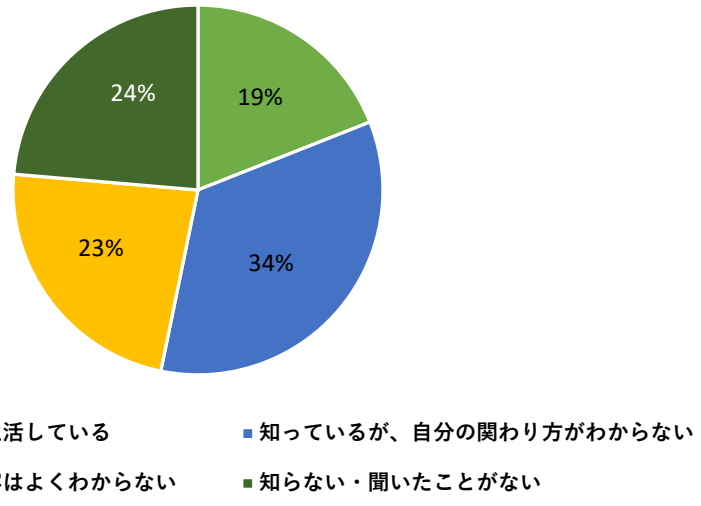
図 1：関心のある環境問題



問２　あなたは「SDG s」（エスディージーズ）を知っていますか。（1 つに〇）

「知っていて、ゴールを意識しながら生活している」「知っているが、自分の関わり方がわからない」を合わせた SDG s に関する認知度は 5 割強だった。

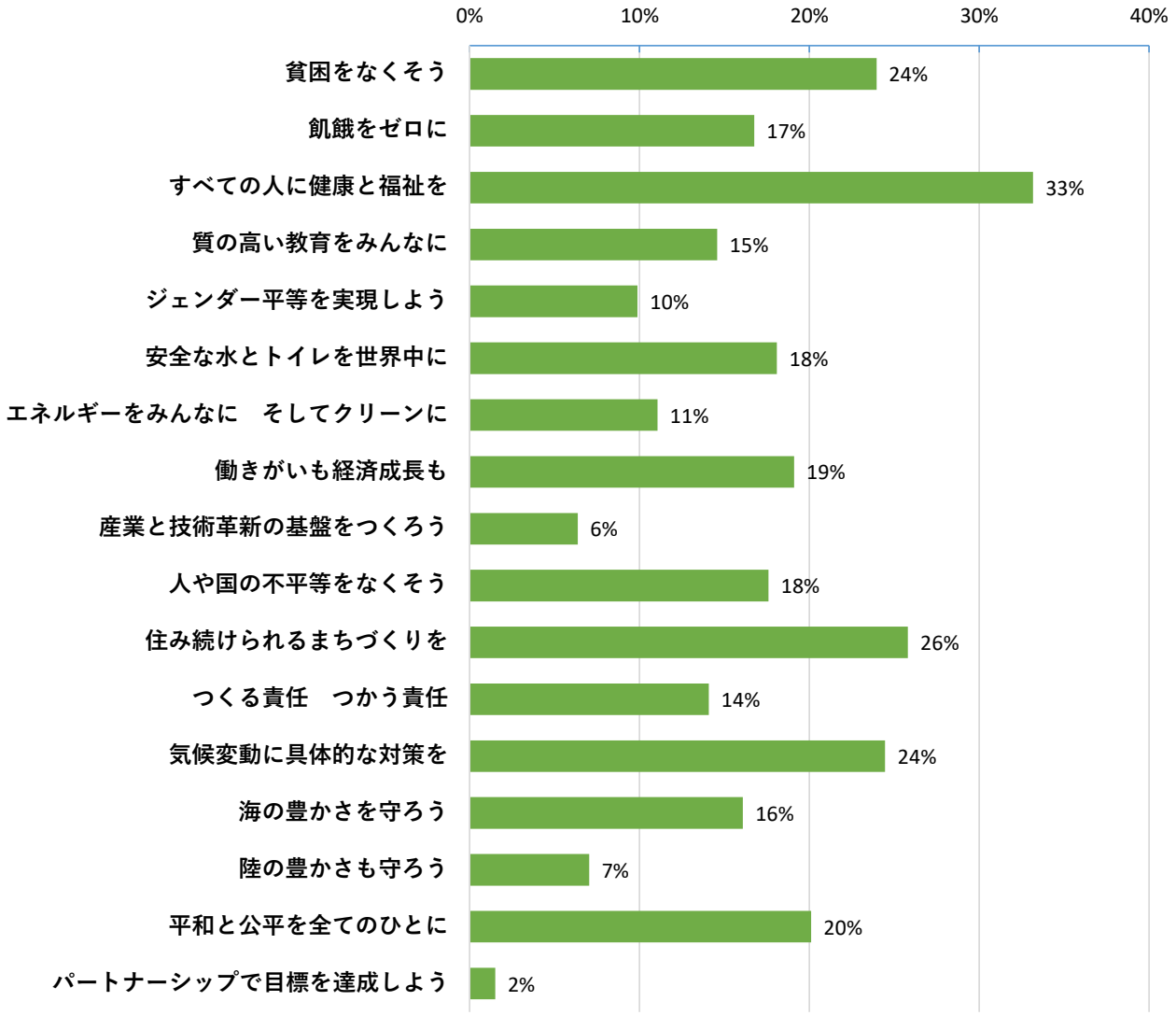
図 2：SDG s の認知度



問３　SDGｓには次の 17 の目標があります。あなたの関心のある項目はどれですか。（3 つまで〇）

SDGｓの中で関心のある項目は、「3. すべての人に健康と福祉を」が最も高く 33%だった。環境分野では、「気候変動に具体的な対策を」が 24%、「住み続けられるまちづくりを」が 26%だった。

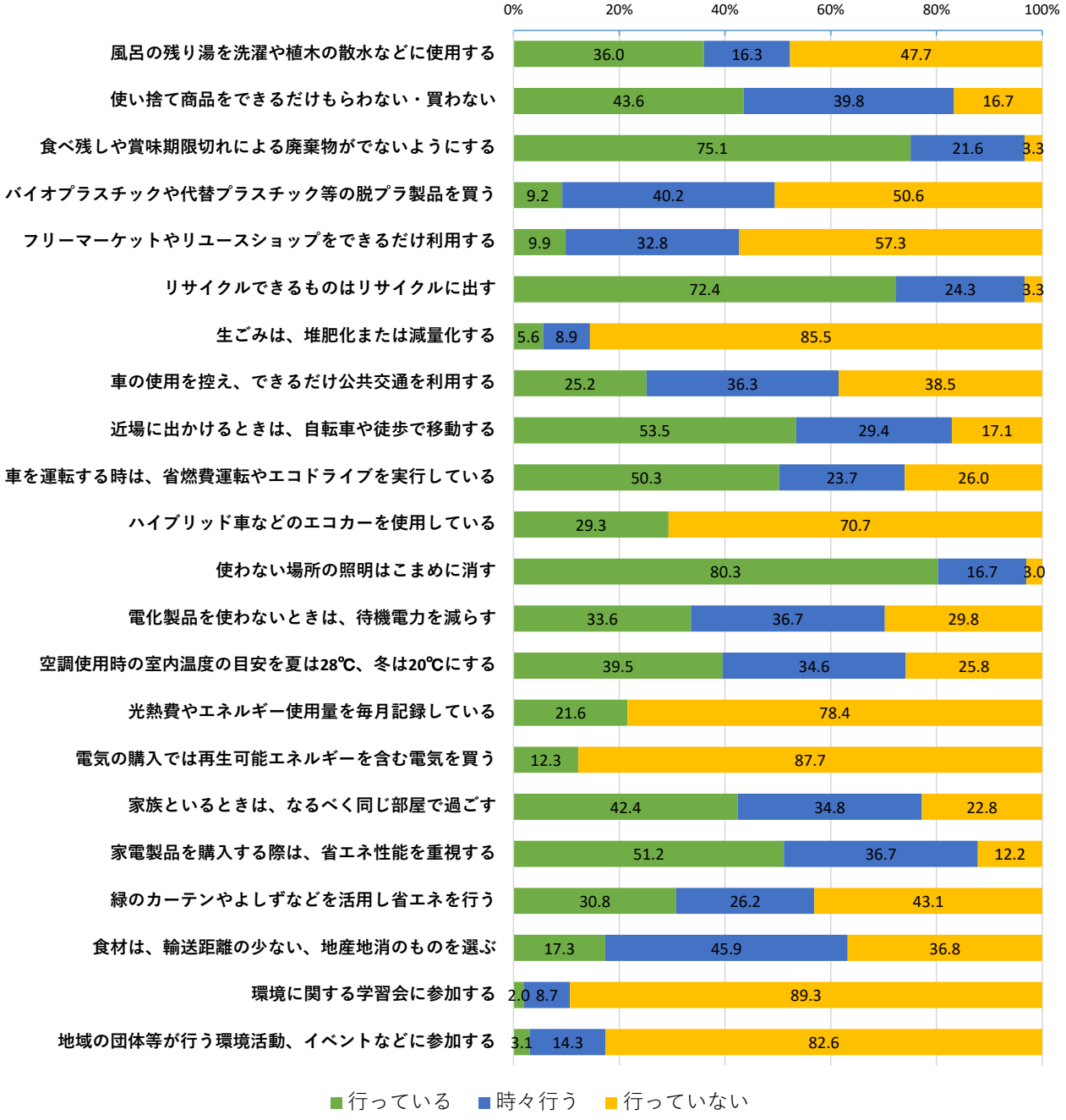
図 3：関心のある SDGｓの項目



問４　あなたの日常生活における環境保全のための取り組みについて伺います。

食品ロス対策や、ごみの分別、電気のこまめな消灯、省エネを意識した電化製品の購入については、9 割以上の方が実践していた。まだまだ取り組みが難しいのが、生ごみの堆肥化、エコカーの使用、再生可能エネルギー電気の購入などと、環境学習会やイベントへの参加であった。

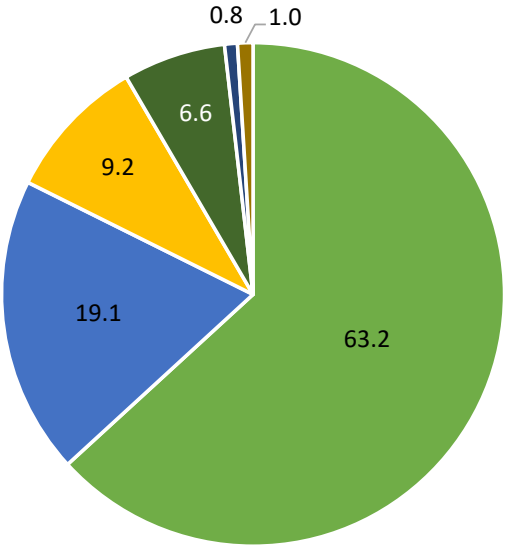
図 4：環境保全に関する取り組み



問５　あなたが気候変動の影響で１番気になることはどんなことですか。（1 つに〇）

気候変動の影響では、降雨量の変化を気にする人が最も多く、6 割強だった。

図 5：気候変動で気になること

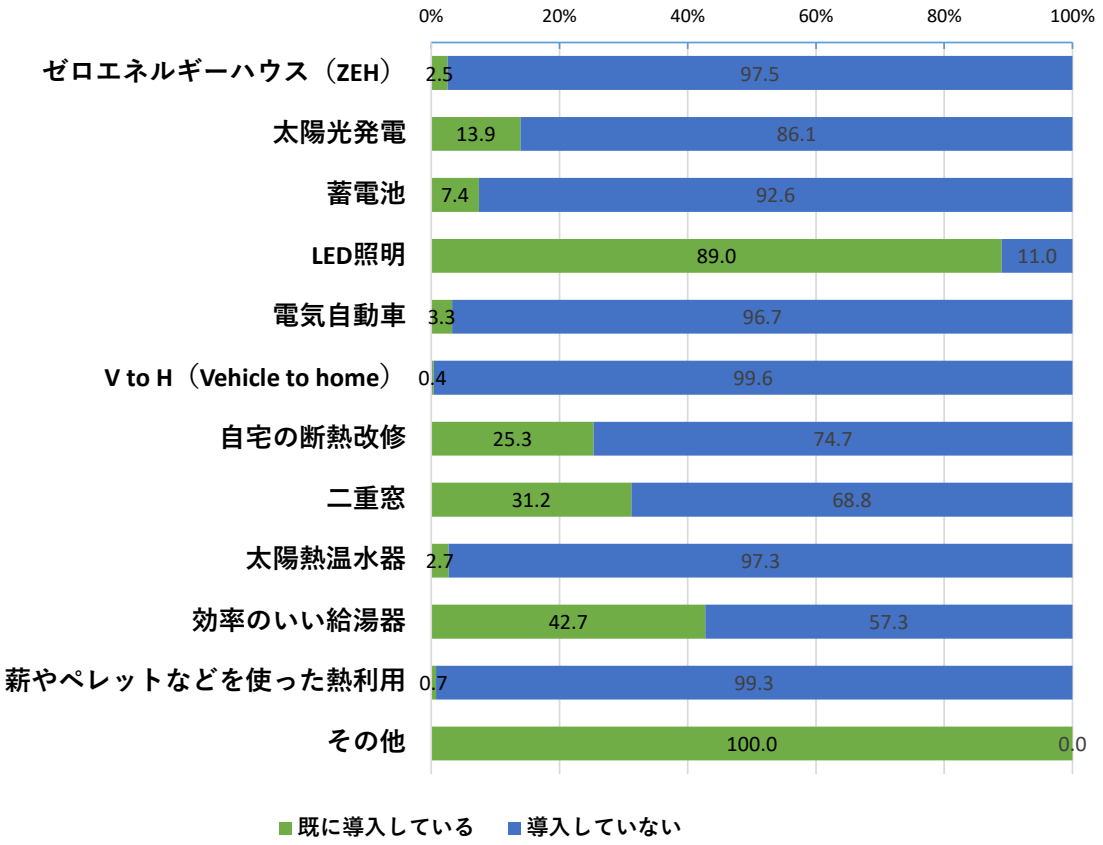


- 降雨量の変化にともなう影響（ゲリラ豪雨、大雨による洪水の危険など）
- 健康への影響（熱中症の危険、熱帯夜での睡眠のとり方など）
- 生態系への影響（生物多様性（※）の変化など）
- 農作物への影響（生産適地の移動、農作物の食味の変化など）
- その他
- 特に何も気にならない

問６　下記のなかで、今後ご家庭で導入したいと考えているものはありますか。
「２.導入していない」を選択したものについては、その理由に〇をして下さい。

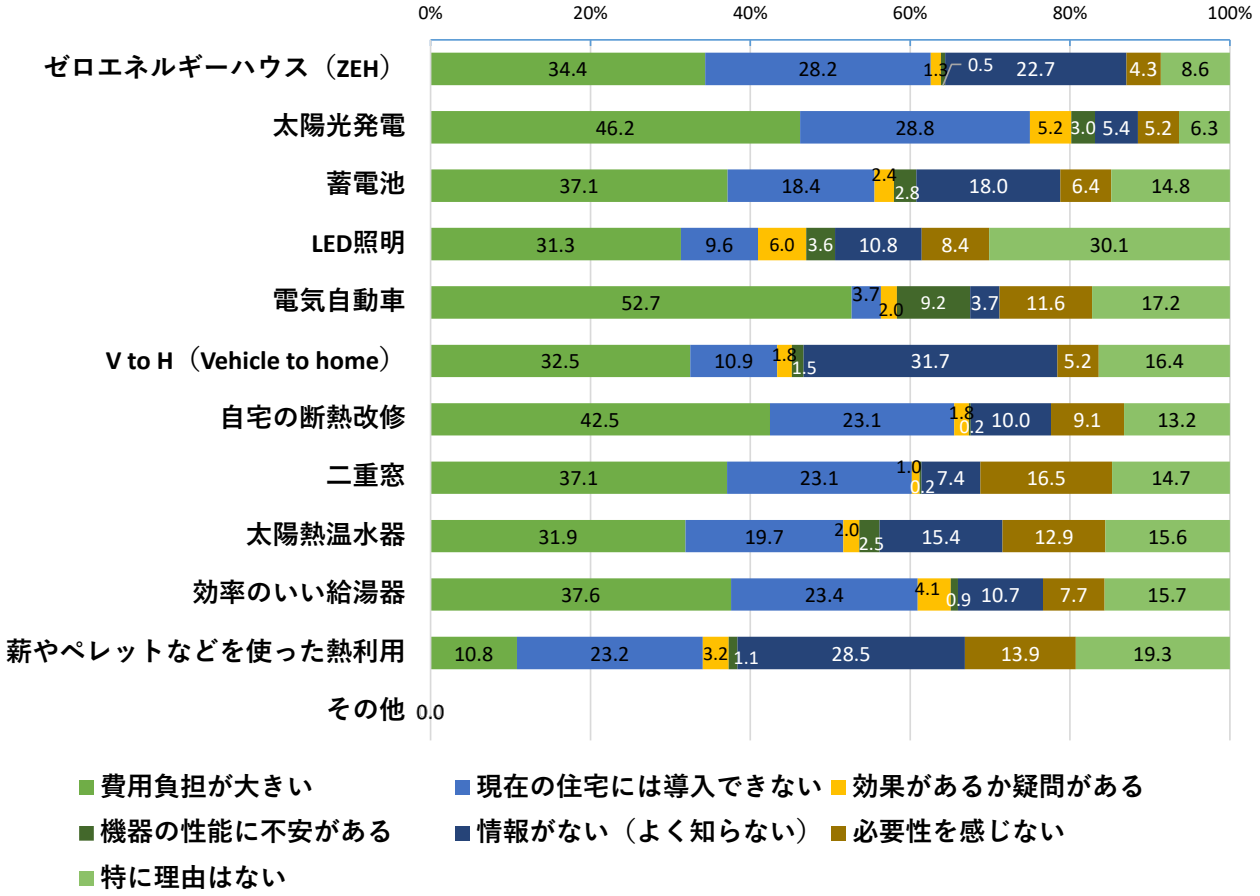
既に導入している省エネ機器では LED が最も多く、9 割近い家庭で導入されていた。次いで多いのがエコキュートなどの効率のいい給湯器で 4 割強、断熱改修や二重窓で家屋の省エネを行っている家も 3 割ほどあった。

図 6：導入している省エネ機器



上記の省エネ機器を導入していない理由としては、費用負担が大きいことがどの機器でも一番高かった。

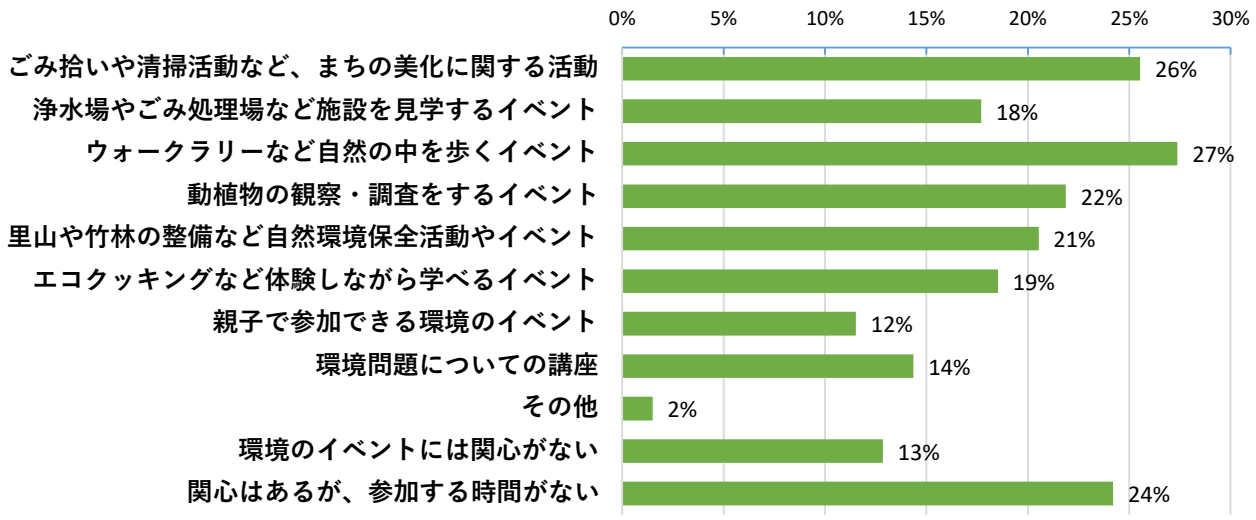
図 7 省エネ機器を導入していない理由



問７　あなたが参加してみたい、市や市民団体が開催する活動やイベントはありますか。（３つまで〇）

まち美化に関する活動や、自然の中を歩くイベントへの関心は、それぞれ 25%、27%と特に関心が高くかった。逆に、今は参加する時間の余裕がない人も 24%いた。

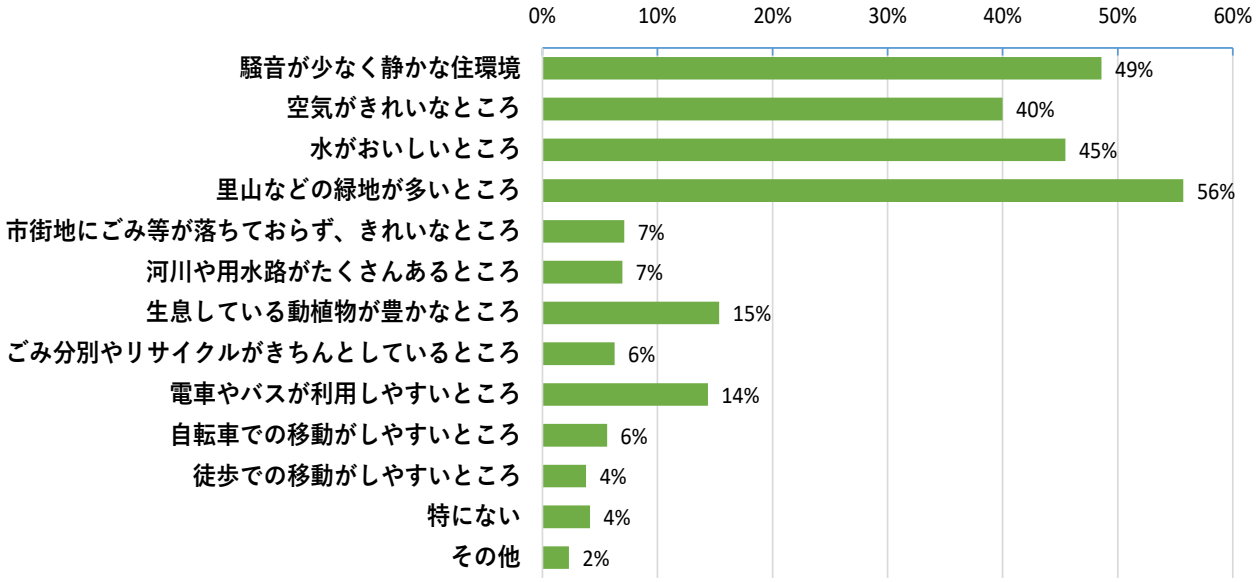
図 8：参加してみたいイベント



問８　あなたが交野市の環境で好きなところはどこですか。（３つまで〇）

交野市の環境で好きなところは、緑地が多い、空気や水がおいしい、騒音が少ないなどの住みやすい住環境に関する回答が多かった。

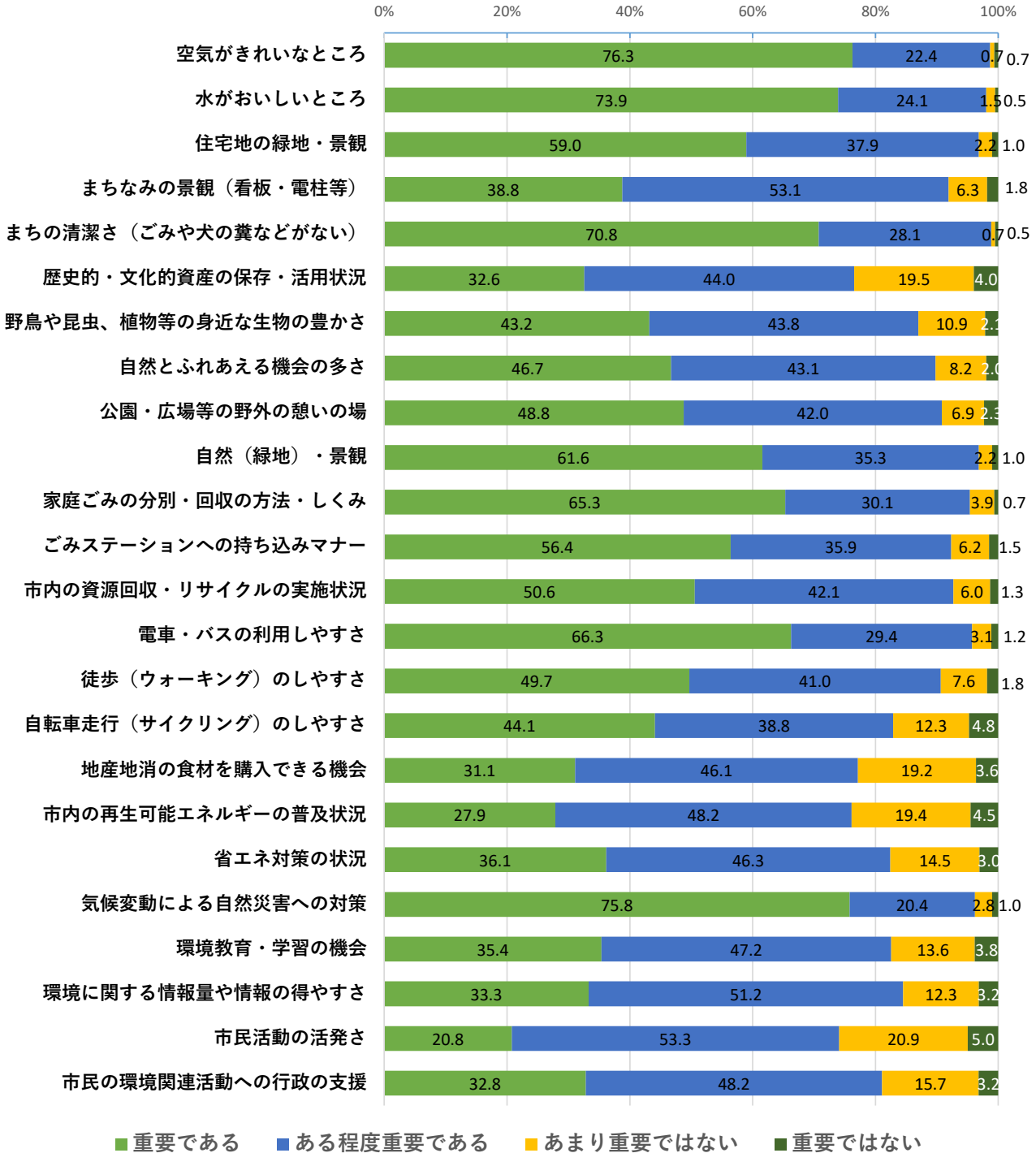
図 9：交野市の環境で好きなところ



問９　あなたが感じる重要度と満足度について伺います。

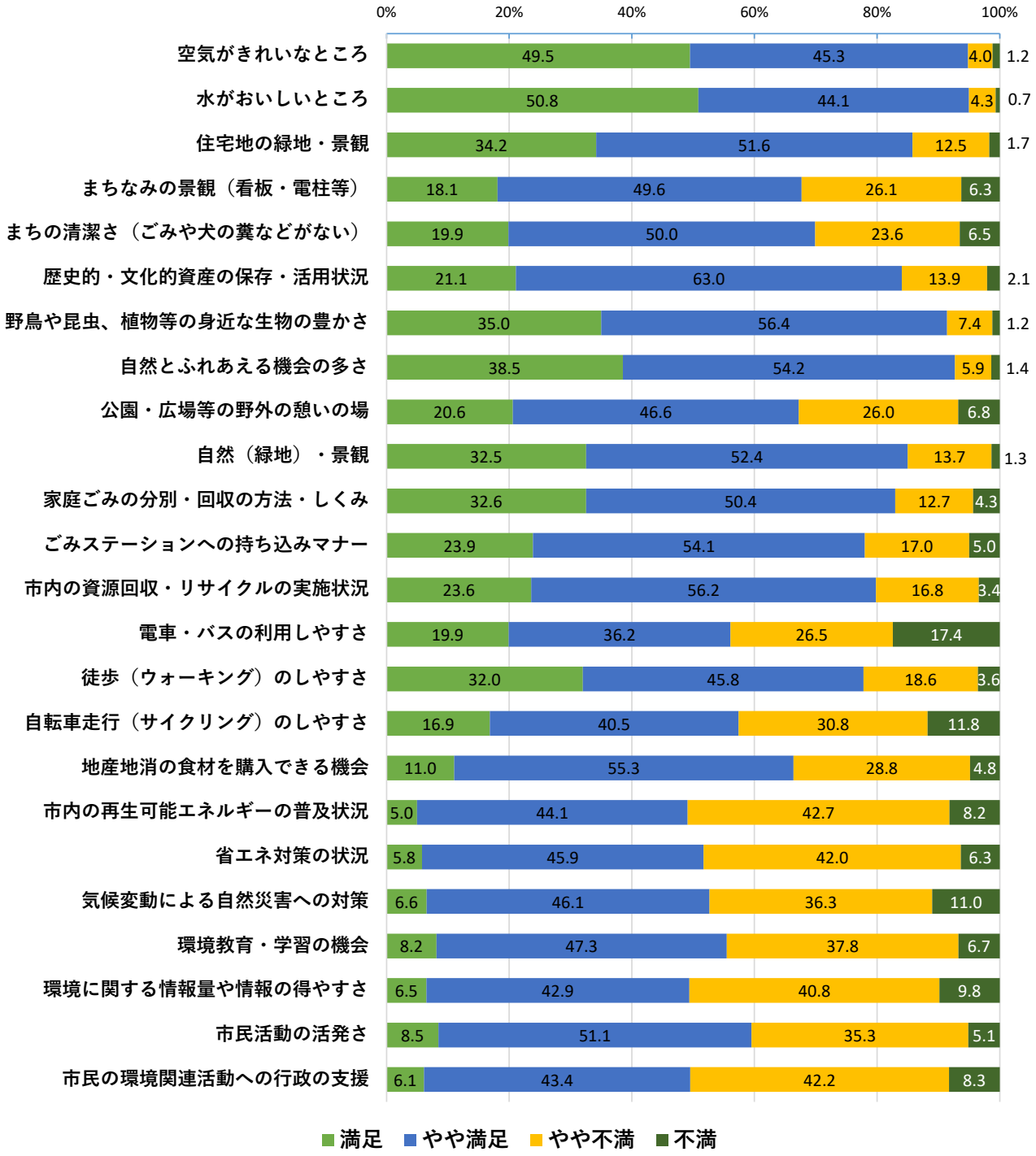
７割以上の方が重要であると感じているのは、「空気がおいしいところ」、「水がおいしいところ」「まちの清潔さ」等、自然環境や生活環境に関することだった。それと並んで、「気候変動による自然災害への対策」も 76%の人が重要だと感じていた。

図 10：重要度



重要度と比較すると、「空気がおいしいところ」、「水がおいしいところ」が最も多く、半数の人が満足している。「気候変動による自然災害への対策」の満足度は 6.6%と低かった。

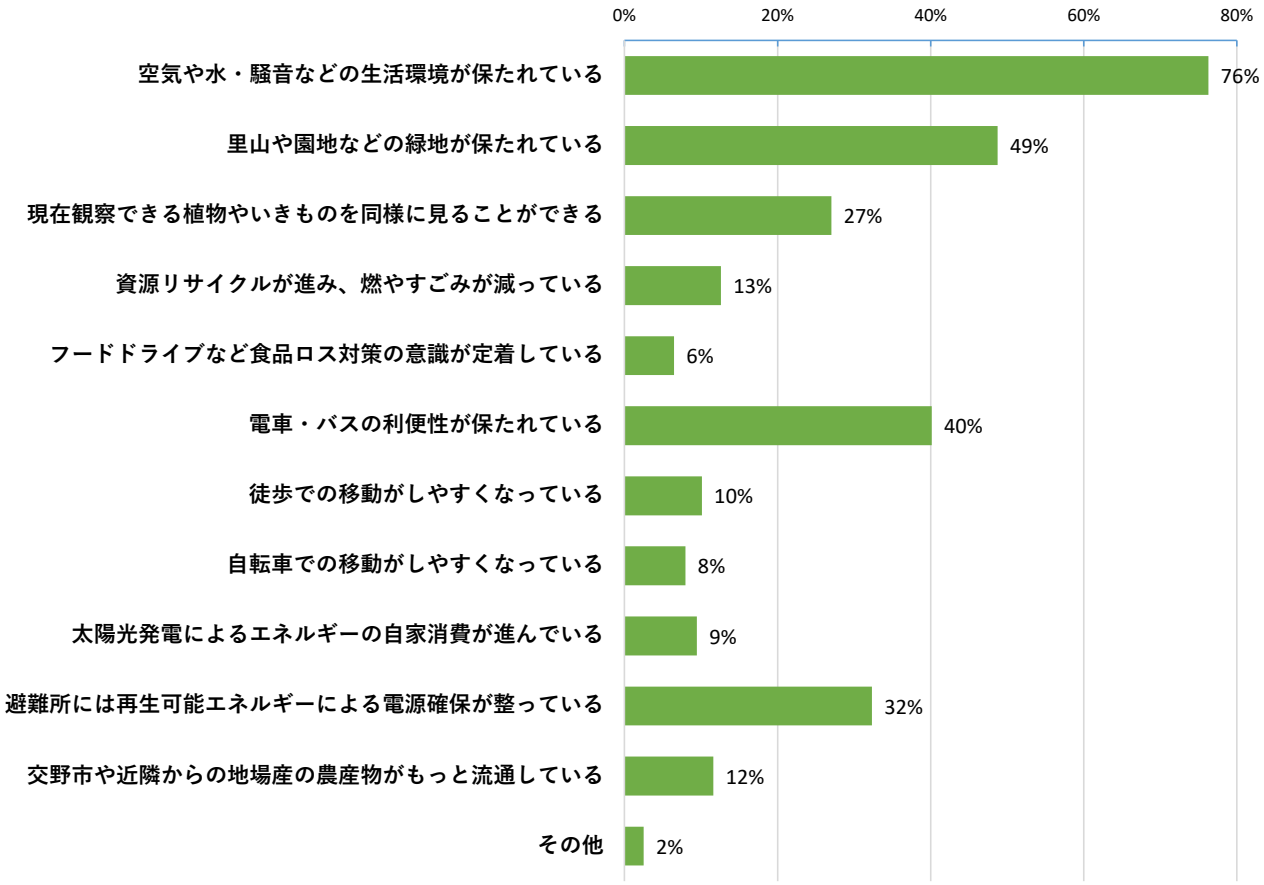
図 11　満足度



問 10　あなたは 10 年後、交野市の環境がどうなっていてほしいと思いますか。（3 つまで〇）

10 年後の交野市への希望は、「空気や水・騒音などの生活環境が保たれている」が最も高く 76%だった。「里山や園地などの緑地が保たれている」「電車・バスの利便性が保たれている」ことへの希望も次いで高かった。

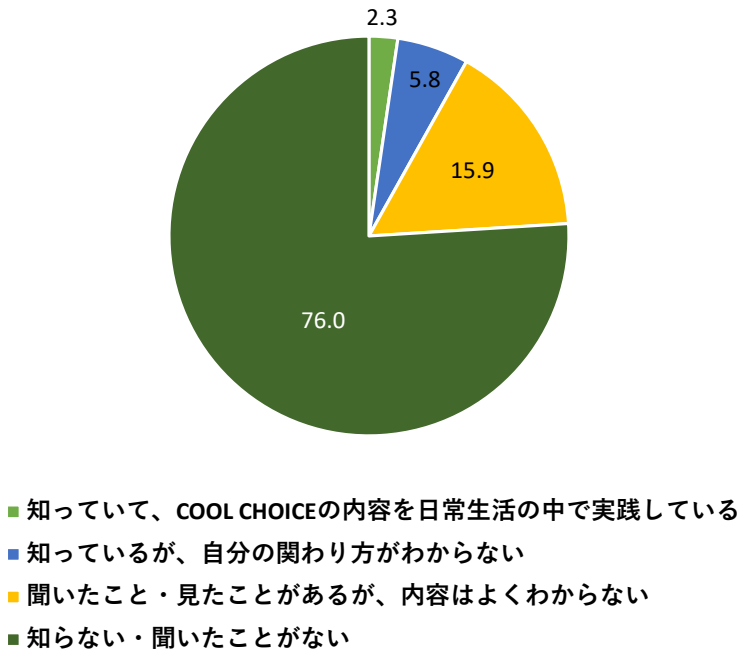
図 12：10 年後の交野市はどうなっていてほしいか



問 11　交野市が取り組んでいる「COOL CHOICE 普及啓発事業」を知っていますか。（1 つに〇）

COOL CHOICE の認知度は低く、約 25%だった。

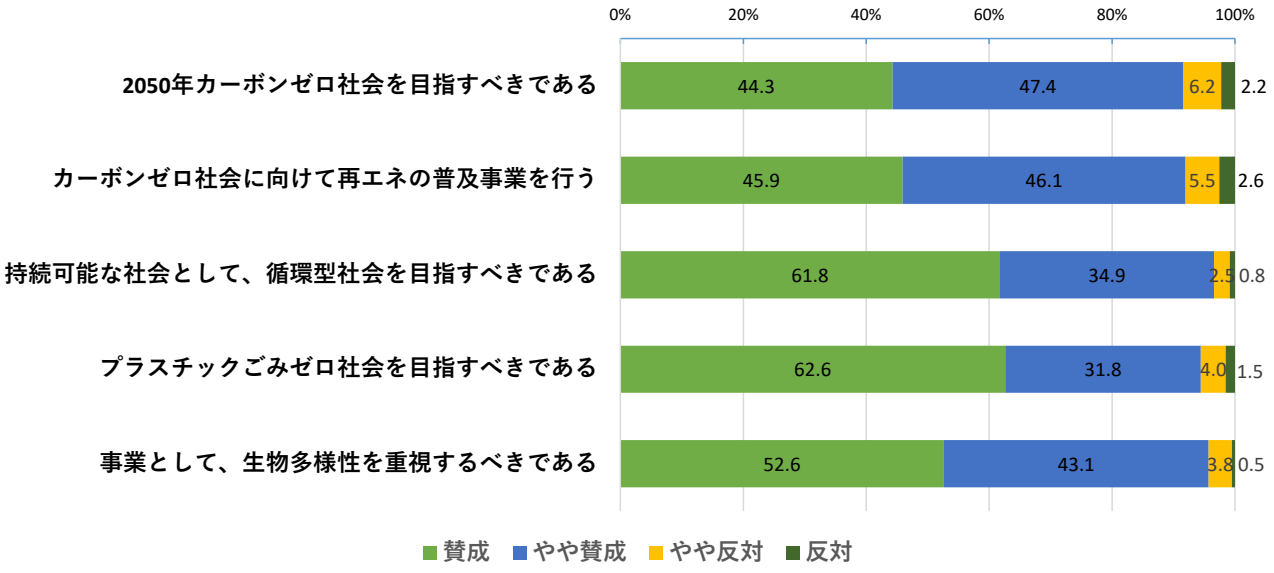
図 13：COOL CHOICE の認知度



問 12　2050 年に向けた市の事業の方向性についてあなたの意見を伺います。

2050 年に向けた市の事業の方向性については、どの事業についても「賛成」「やや賛成」を合わせて 9 割以上だった。

図 14：2050 年に向けた市の事業の方向性について



問 14　最後にあなた自身について教えてください。

図 15：回答者の年齢

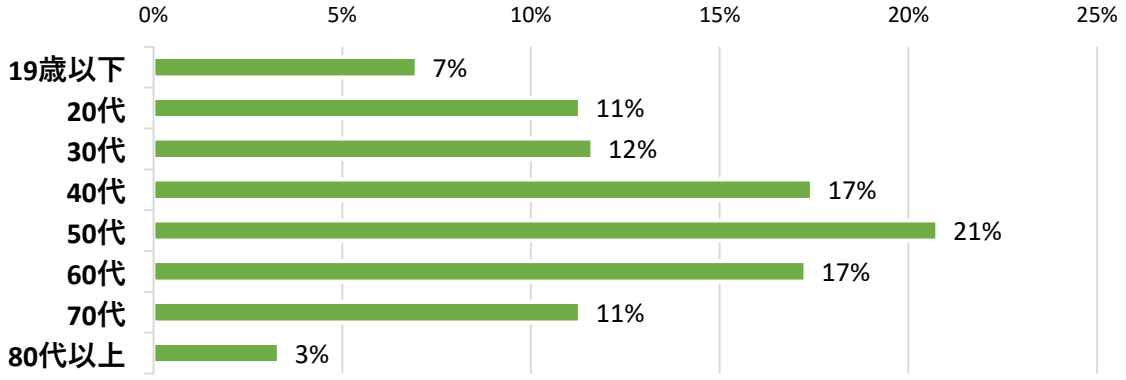


図 16：回答者の居住地区

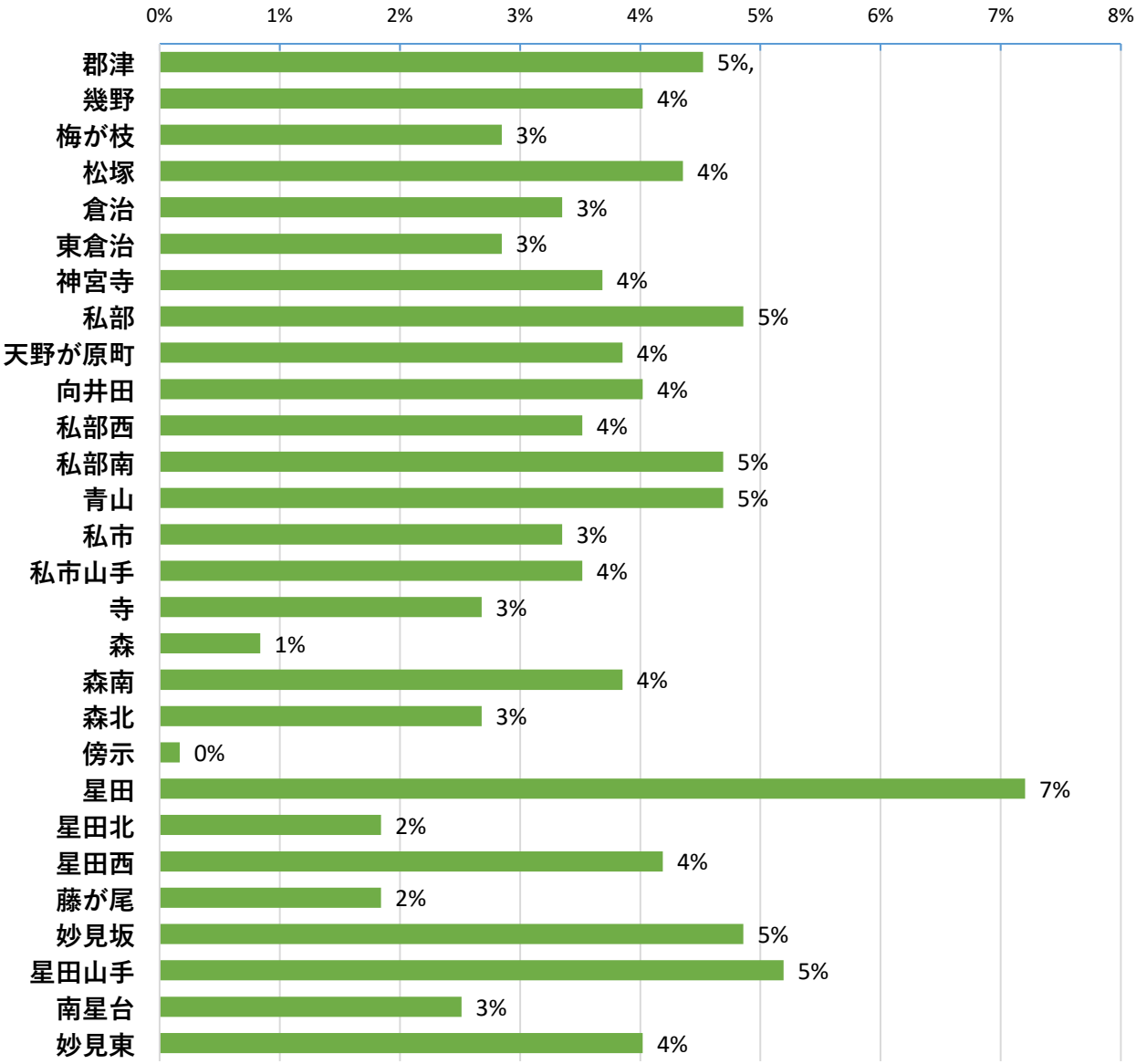


図 17：回答者の世帯人数

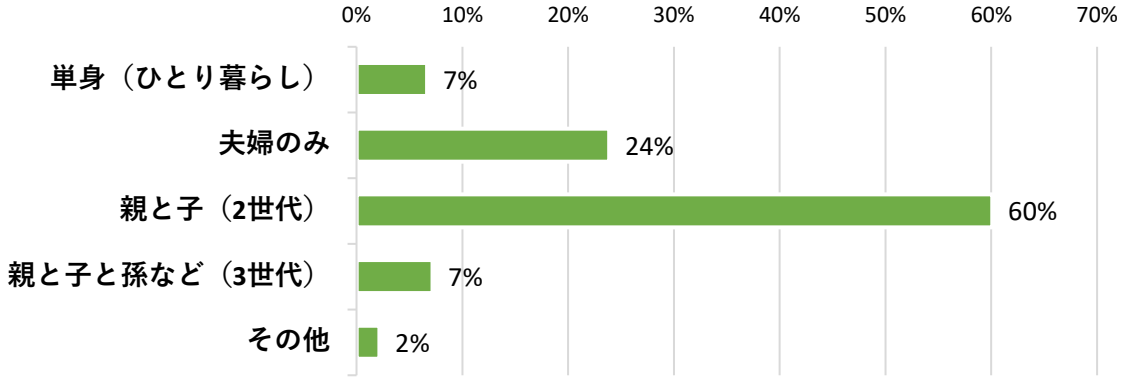


図 18：回答者の就労状況

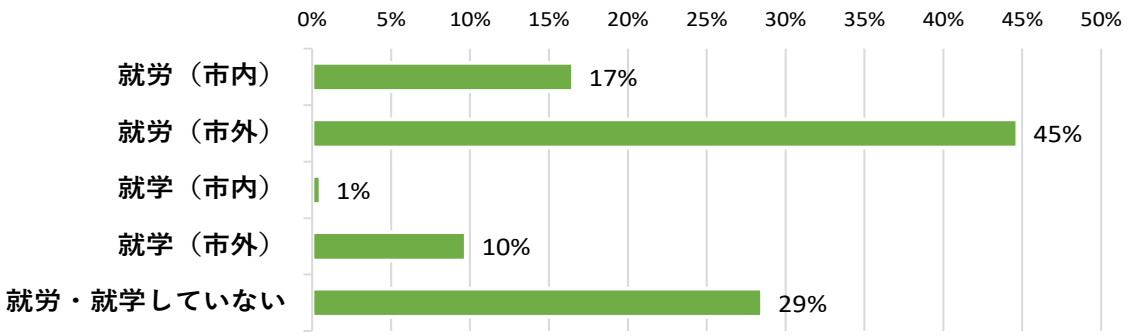


図 19：回答者の職業

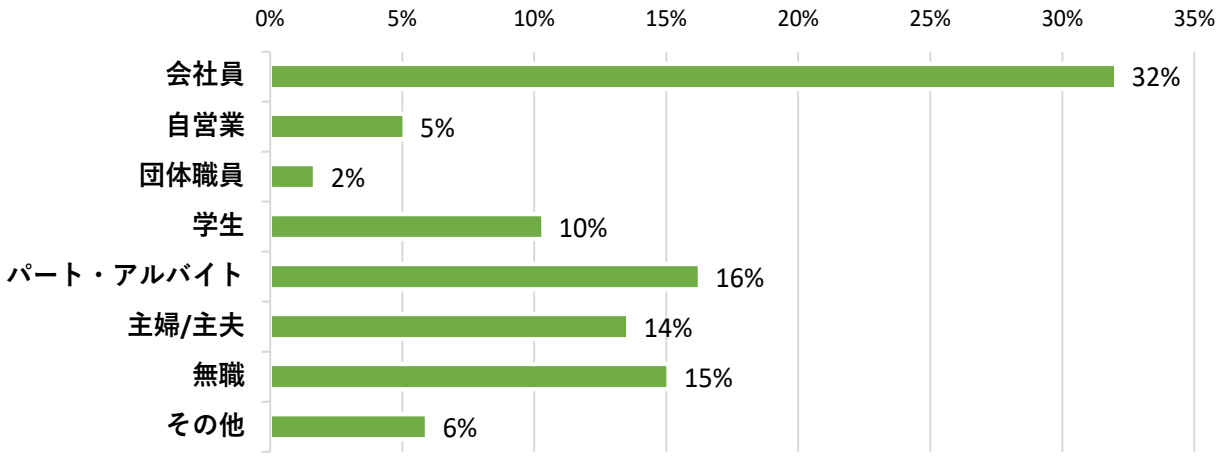
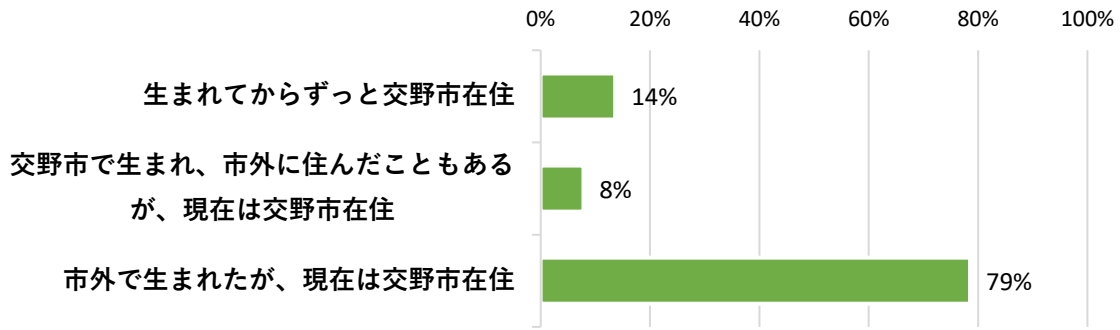


図 20：回答者の交野市での居住歴

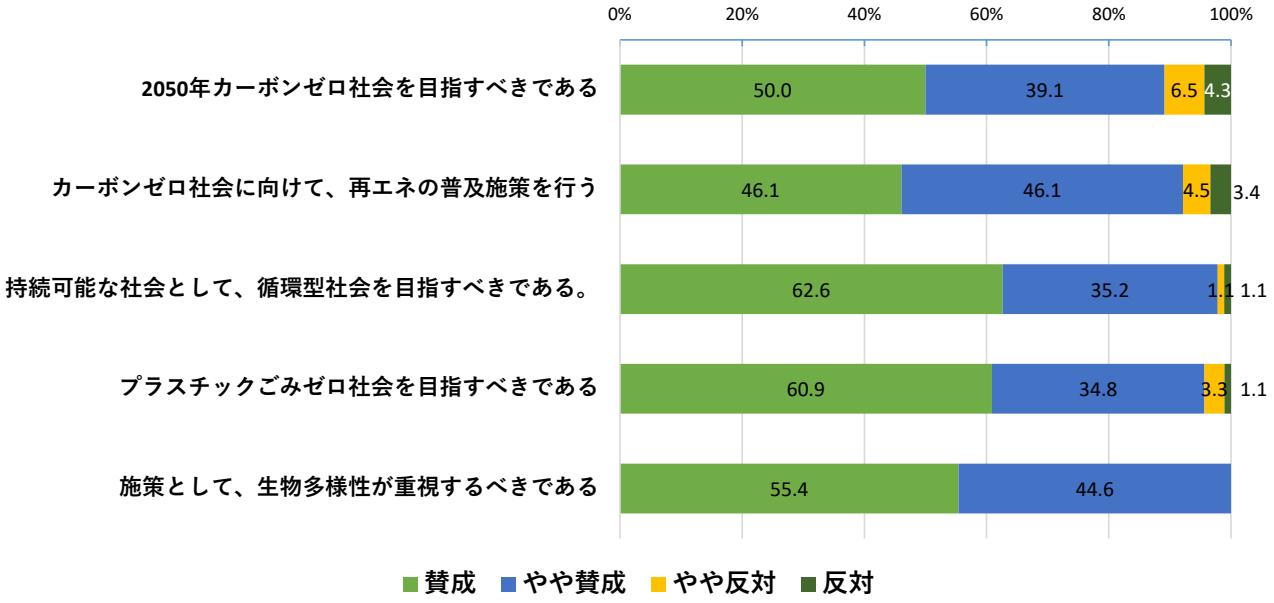


（3）事業者アンケート　調査結果

問１　市の環境施策の方向性について貴事業所の意見を教えてください。

2050 年に向けた市の事業の方向性については、どの事業についても「賛成」「やや賛成」を合わせて 9 割以上だった。生物多様性の重視については 100%だった。

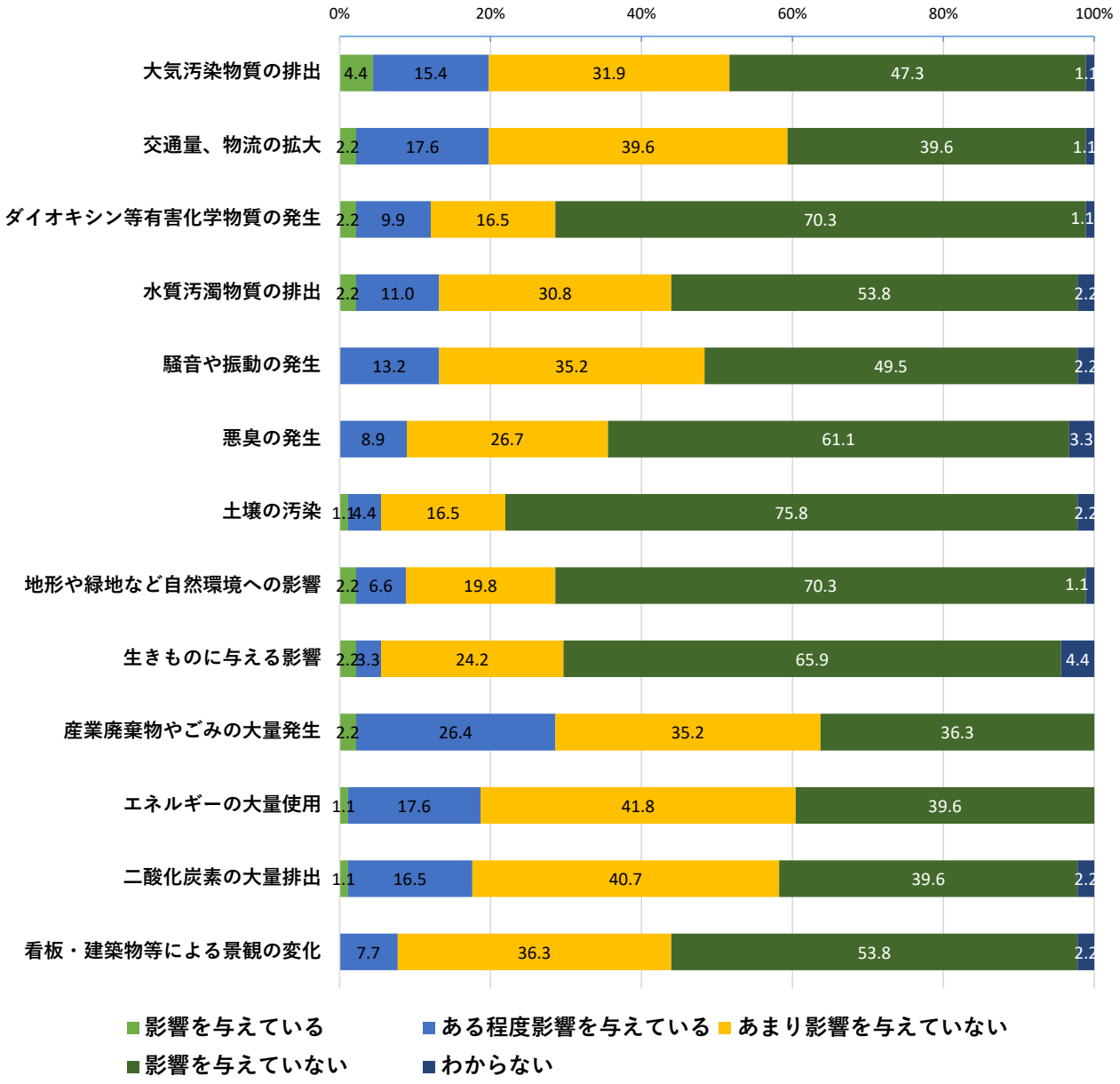
図 21　2050 年に向けた市の事業の方向性について



問２　貴事業所の事業活動が、地域の環境に及ぼしている状況について、どのように考えていますか。

地域の環境に及ぼしている影響については、「廃棄物やごみの大量発生」「エネルギーの大量使用」「二酸化炭素の大量排出」が多く、「土壌汚染」「地形や緑地など自然環境への影響」「生きものに与える影響」など、自然環境へ与える影響については少なかった。

図 22　地域の環境に及ぼしている影響



問 3 事業所等が環境改善に取り組むしくみとして、次にあげるものの認知度と取り組みについてお答えください。

環境マネジメントシステムについては、ISO14001 の認知度は 6 割以上と高かったが、その他のシステムの認知度は 2-3 割程度だった。SDG s に関しては近年認知度があがってきており、6 割ほどだったが、2050 年カーボンゼロを目指して、RE100 についてはもっと認知度を高めていく必要がある。

環境マネジメントシステムを実際に導入している事業者は 1-2 割程度だったが、環境に関する経営方針など独自の取り組みについては半数ほどの事業者で行われている。

図 23　認知度

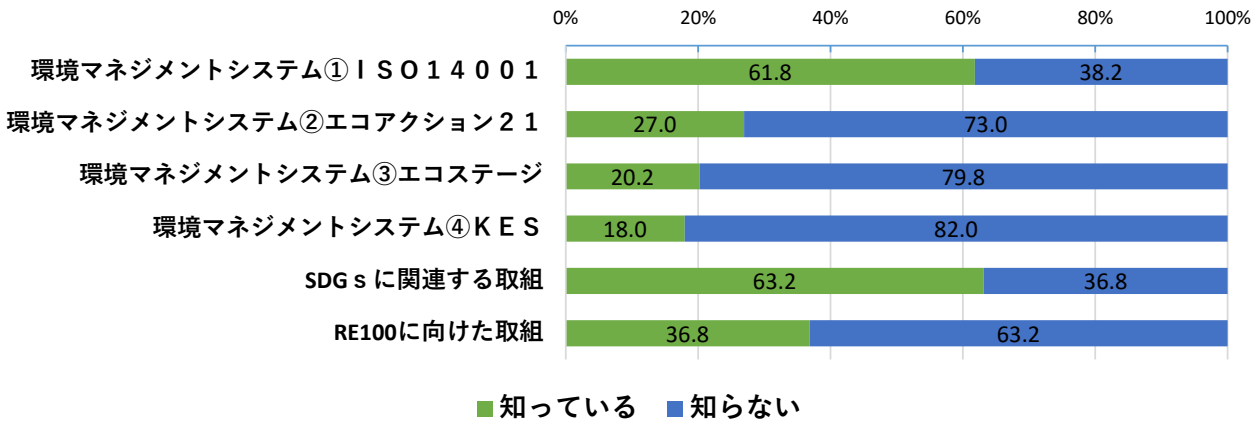
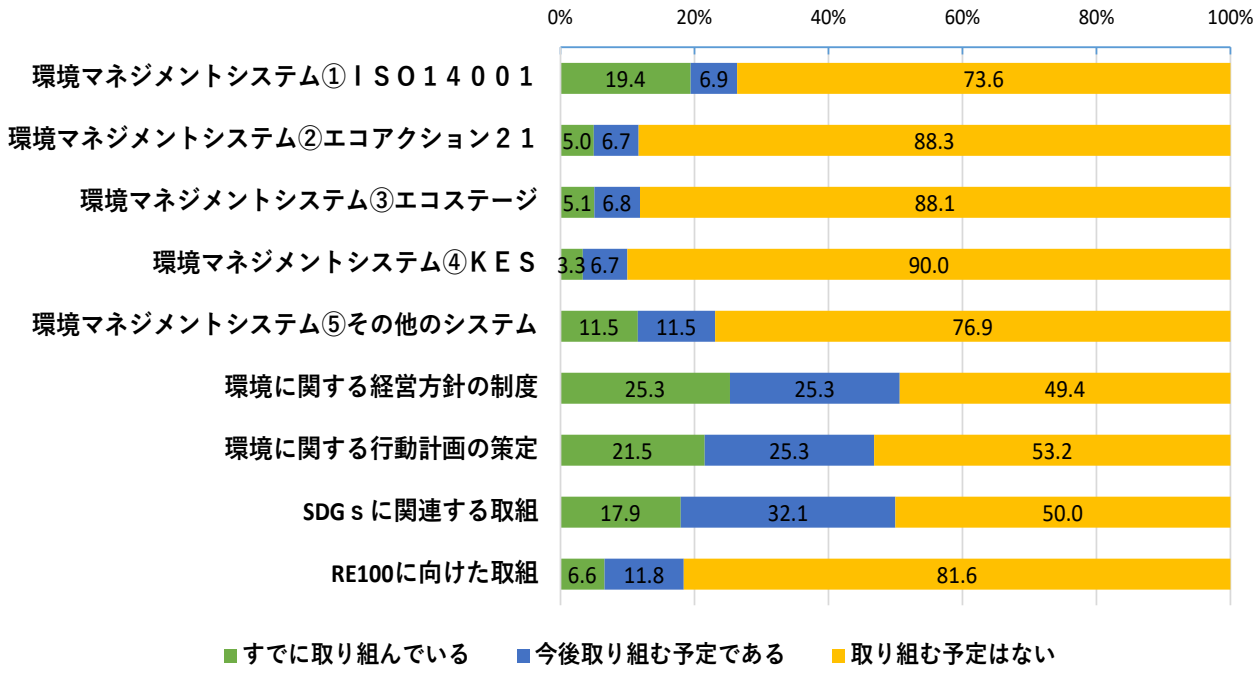


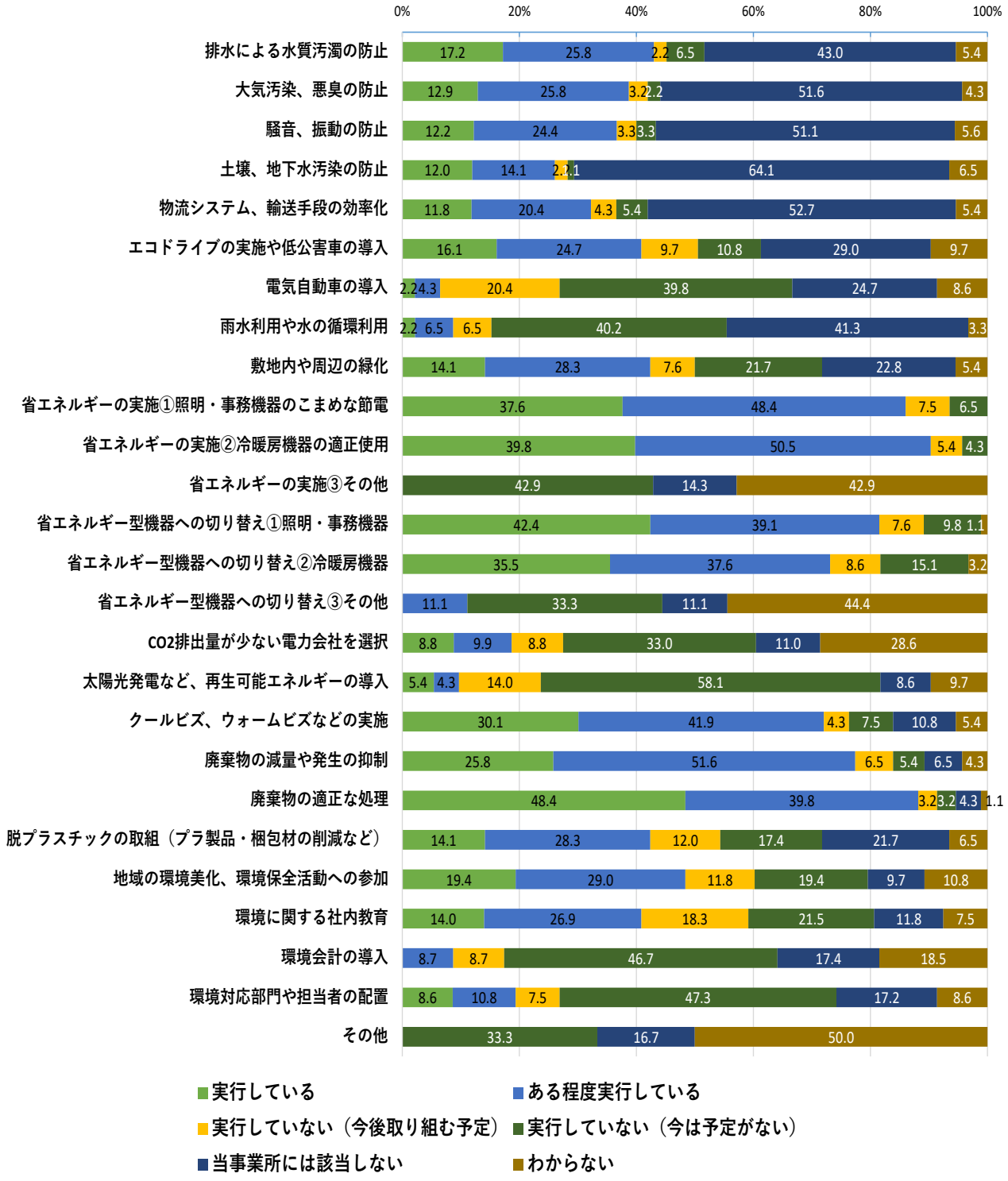
図 24　取り組み



問 4　以下の項目について貴事業所での取り組みをお答えください

「電気自動車の購入」「省エネ機器への切り替え」「CO2 排出量が少ない電力会社を選択」「再生可能エネルギーの導入」など、省エネや創エネに関する項目への取り組みが少なかった。

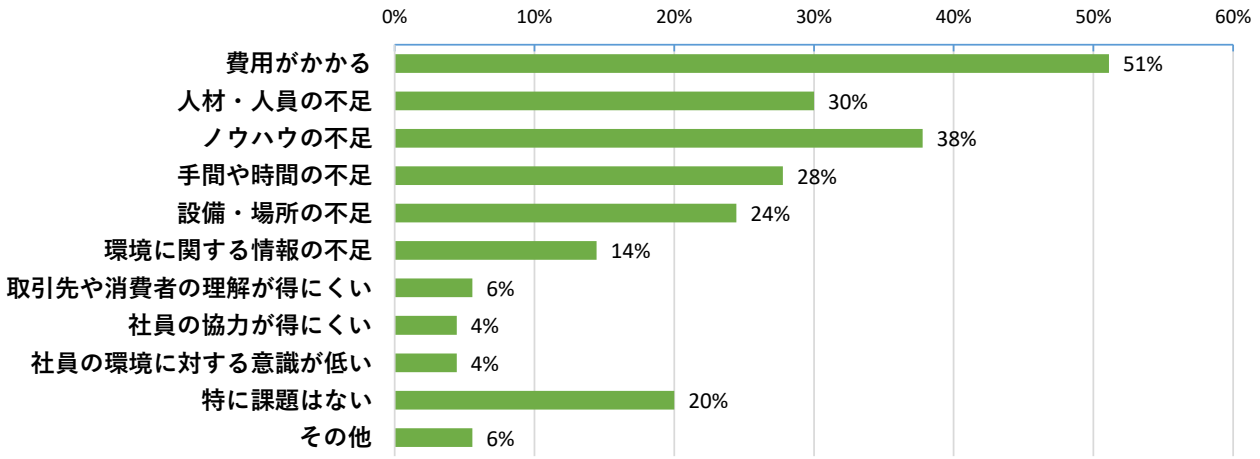
図 25　環境問題への取り組み



問５　貴事業所が環境問題への取り組みを進めるうえで、課題となっていることはなんですか。（３つまで〇印）

環境問題に取り組む上での課題は、「費用がかかる」が 52%、「ノウハウの不足」が 38%と多かった。環境課題の解決に向けては、そこを支援していく仕組みが必要である。

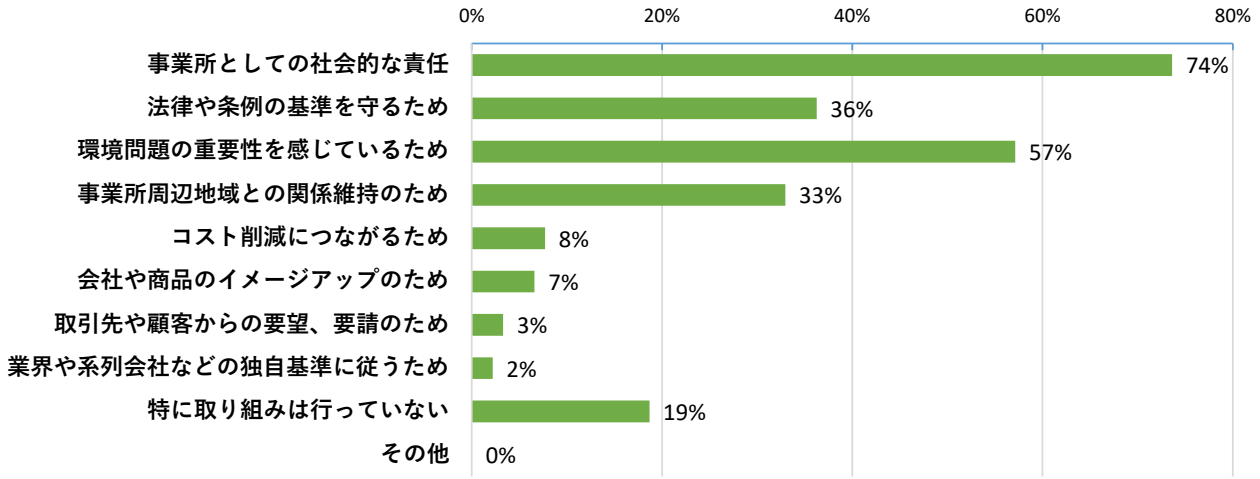
図 26　環境問題に取り組む上での課題



問６　貴事業所が環境問題に取り組む理由はなんですか。（３つまで〇印）

環境問題に取り組む理由としては、「事業所としての社会的な責任」が最も多く 73%、「環境問題の重要性を感じているため」が 57%と多かった。近年サプライチェーン全体での環境配慮、「業界や系列会社などの独自基準に従うため」は 2%と少なかった。

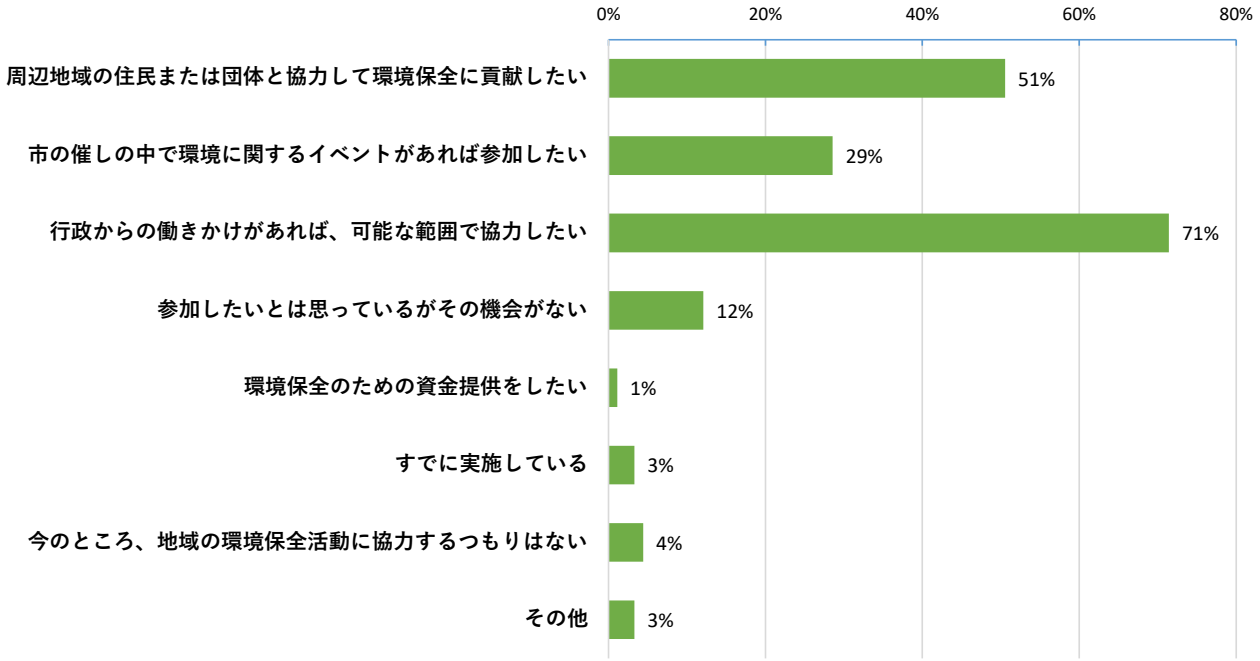
図 27　環境問題に取り組む理由



問７　貴事業所では、地域に対する環境保全活動についてどのように考えていますか。（あてはまるものすべてに〇印）

「行政からの働きかけがあれば、可能な範囲で協力したい」との事業者は 71%、「周辺地域の住民または団体と協力して環境保全に貢献したい」についても 51%と、行政や市民団体との協力体制については前向きな事業所が多かった。

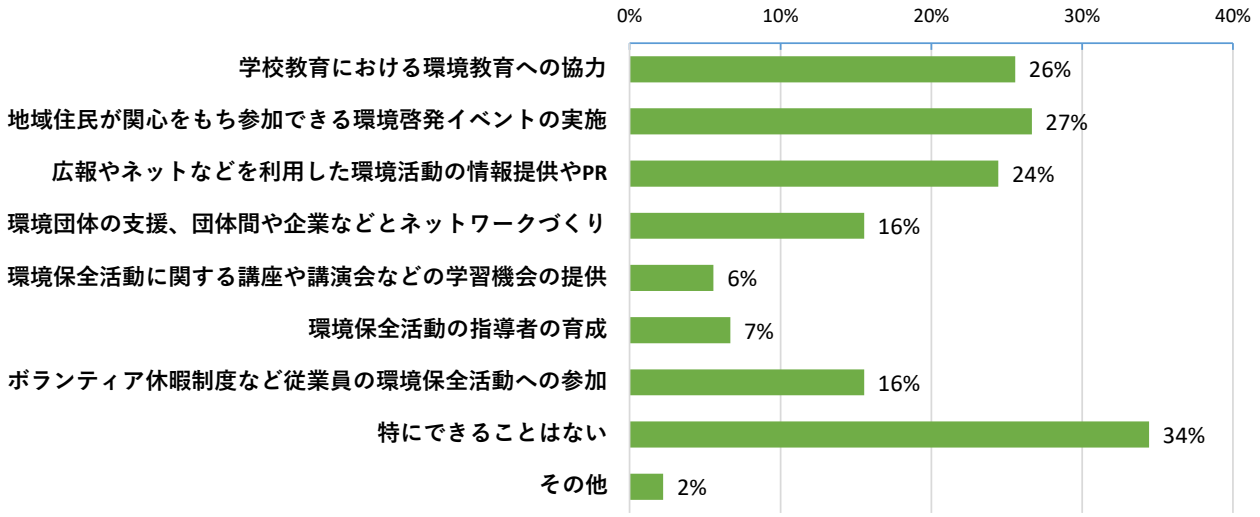
図 28　環境保全活動についての考え方



問８　貴事業所が、今後市民とともに環境保全活動を推進していく場合、どのようなことが実施可能だと考えますか。（３つまで○印）

「学校教育における環境教育への協力」「地域住民が関心をもち参加できる環境啓発イベントの実施」など、学校や住民と一緒に行っていく環境教育には３割弱の企業が実施可能との回答だった。一方で「特にできることはない」との回答も 34%あった。

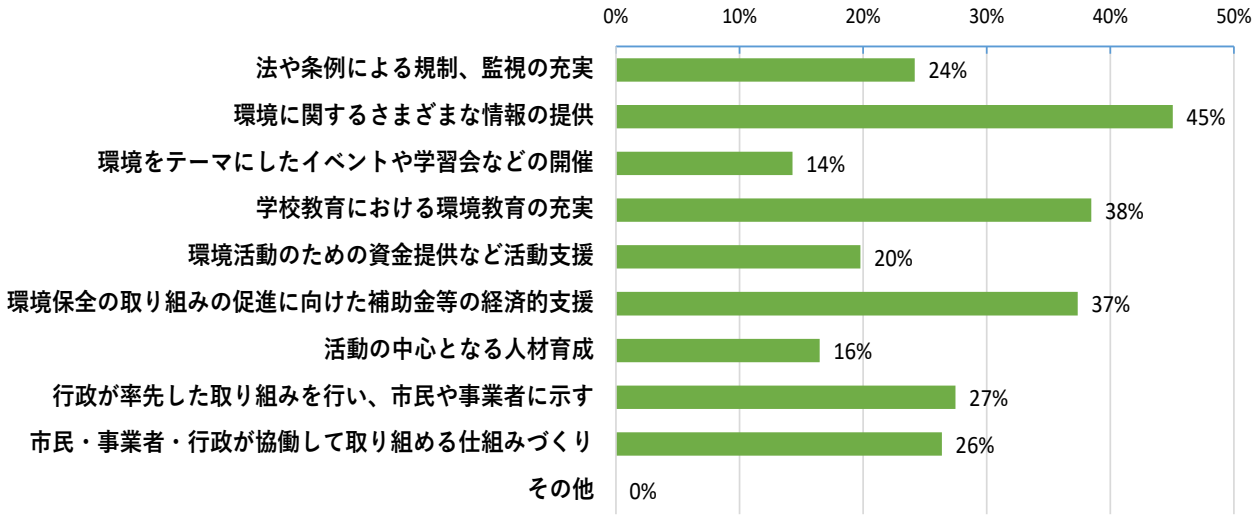
図 29　実施可能な環境保全活動



問９　行政は環境保全活動をより活発にするためにどのような取り組みを進めるべきだと思いますか。（３つまで○印）

行政が行うべき取り組みについては、「環境に関するさまざまな情報の提供」が 46%と最も多かった。

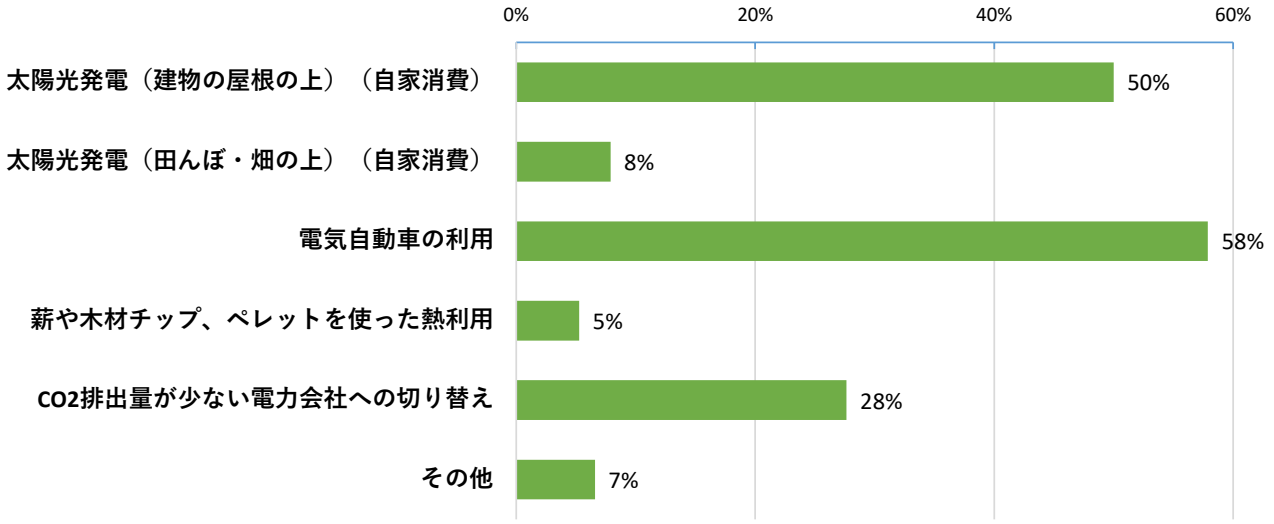
図 30　行政が行うべき取り組みについて



問 10　下記のうち、採算が合えば導入したいと考えているものはありますか。
（あてはまるものをすべてに〇印）

電気自動車の導入が最も多く 68%、次いで太陽光発電設備が 50%だった。

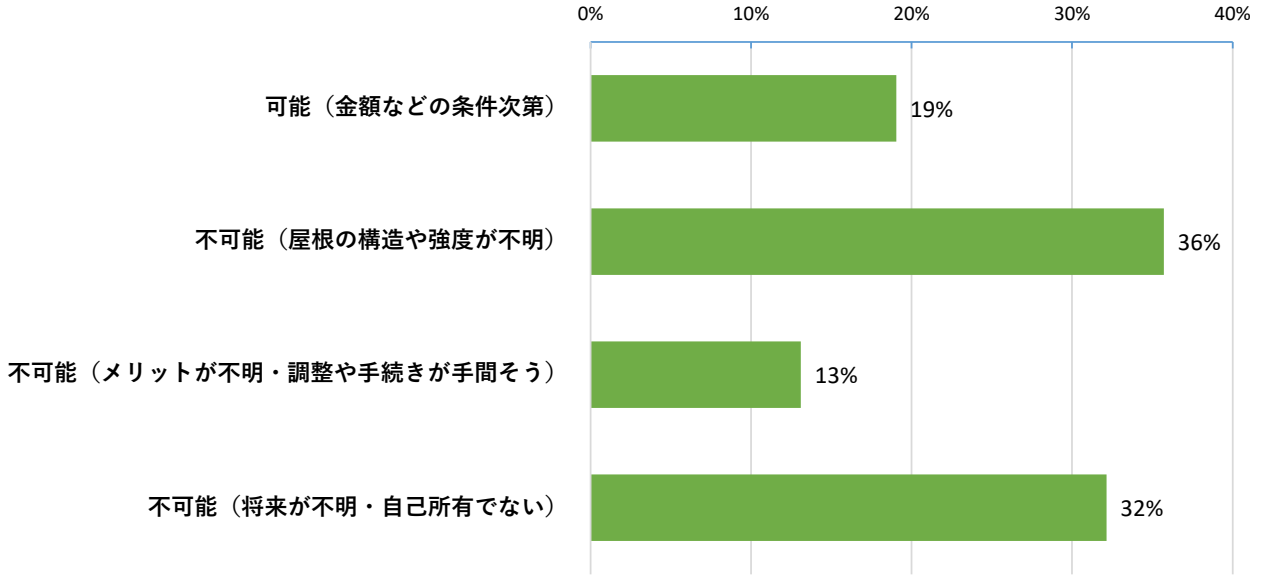
図 31　採算が合えば導入したい機器



問 11 貴事業所の屋根を第三者に貸して太陽光パネルを設置すること（PPA モデル）は可能ですか。（PPA モデルとは：初期投資・メンテナンス費用は不要、電気代の節約が期待できる、契約期間は長期（15 から 20 年間程度）、契約期間満了後、太陽光パネル設備は無償譲渡されるなどと言われています。）

PPA モデルの導入については、19%の事業者が条件次第で可能との回答だった。

図 32　PPA モデルによる太陽光パネルの設置の可能性について



問 14　最後に貴事業所についておたずねします。

図 33　従業員数

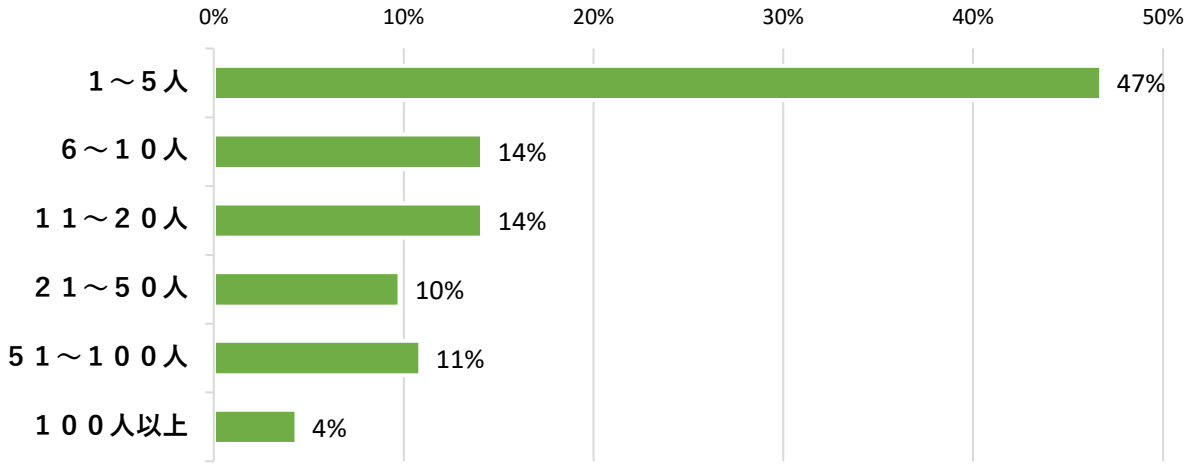
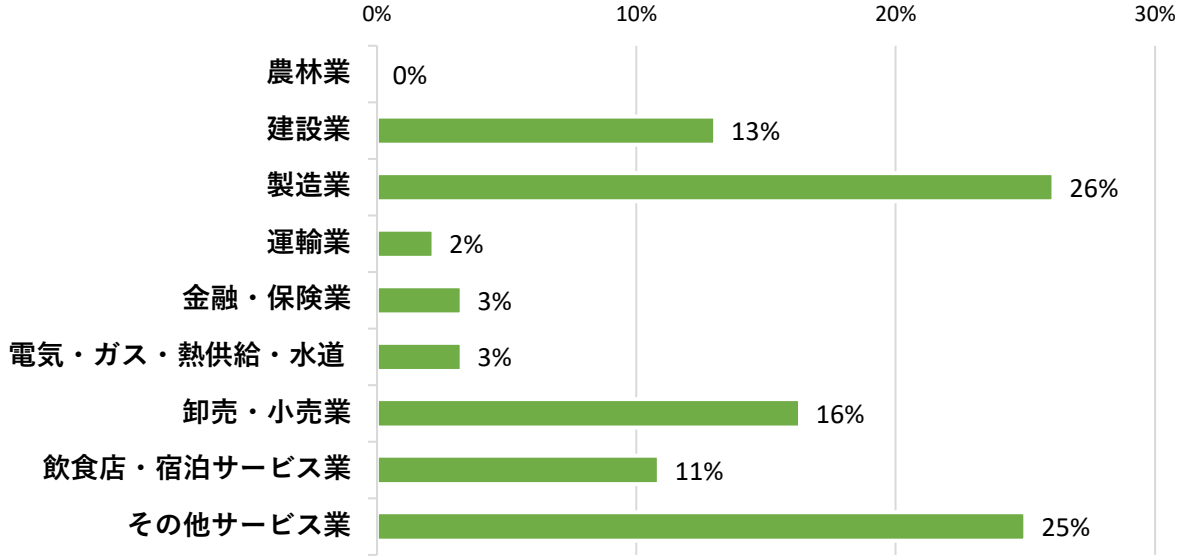


図 34　業種



市民アンケート自由記述内容

問 13 最後に、交野市のより良い環境をつくっていくためにご意見があればお聞かせください。

エネルギー

- 山林を造成してソーラーパネルを設置すると、大雨が降った時に土砂災害の原因となる可能性が高いので、してはいけない。
- メガソーラーは作らないでください。
- 今の自然環境を、守っていきたいです。交野市が、再エネ 100%の自治体になればいいなぁと思っています。そして、環境分野をリードする自治体となってほしい。
- 木質ペレット発電や太陽光、風力などの脱炭素のエネルギー生産を市として推進することは、市の大きな魅力となる。この点に意識の高い住人をひきつけることができる。小さな町だから、やりやすいとも考えられる。
- 太陽光発電は山の緑を切って行うのは本末転倒。さらに土砂災害リスクを高める、使用後（耐用年経過）の廃棄物も大問題であり、愚策。風力発電は景観をこわすので良くない。超高効率石炭火力発電や、小型原子炉など技術革新により解決すべき。リサイクルは重要。
- すべての地域で都市ガス化。２年以内に実現公約として宣言すること。
- 市役所でまず再生エネルギー、LED 照明などの実施例を示す。（市役所建物）
- 太陽光発電にも欠点があるので、総合的に選び環境破壊なく再生エネルギーを進めて欲しい。
- 化石燃料をできるだけ少なくするために、原発への依存をどうするのか市に直接かかわりがない問題だが、避けて通れないと思います。また廃プラの処理、再生ができないものが多く、結局燃やしているのが現状だと聞いたことがあります。国の政策ですが、将来廃プラ処理をどうするのかも考える必要があると思います。
- 二重窓をつけたことにより、いいことが多くて、なぜもっと普及しないのか…と思います。夏も冬も快適です。もっと早くつければよかったとおもっています。知らずにいたのでしかたありません。
- 地球温暖化対策を市民一人ひとりが意識し小さな事でも実行して行く事が大切だと思っています。

廃棄物

- ゴミのカラス対策をした方が良い
- プラスチックの「ごみ」をゼロにするのではなく、プラスチックの使用をゼロにしないと不可能である。レジ袋だけ「0」にしても意味がない。ナンセンス。
- ゴミ箱、吸いがら入れなどゴミを捨てる場所が無く、自宅がゴミ屋敷になっている。ふざけるな！
- ペットボトルや空き缶を回収する所を増やしてほしい。
- プラゴミになる容器・包装に課税する。
- 最近でいうとエコバック等の国全体のエコ活動等をもっと増やして地球に優しい町になってほしいです。
- プラスチックごみの区別ができていないように思います。商品にプラの再生マークが入っていたら皆さんプラに入れてしまうようですが、きれいに洗っていなかったりよごれが残っていると再生できないとききました。においや汚れが残ったりとりにくいものは普通ゴミ（可燃ゴミ）で出すこと

が市民全員に徹底されればプラの再生率が上がることと思います。

- ゴミすての日を守ること
- ポイ捨てが多い。条例で不法投棄含め取り締まってほしい。ビン、缶を回収スポットでポイントとかもらえるようなしくみができたらいい（外国みたいに）
- プラスチック　いらない　不要
- ゴミが道や山、川、池に捨てられている。
- 私市の奥にあるゴミ処理場の環境への影響について、定期的にチェックしていただきたい。
- ペットボトルなどの回収ステーションを増やしてほしい。生ゴミなどを堆肥にする講習会やコンポストなどを貸与してほしい
- 再生利用のため分別置場の大集積場を作りつねに搬出できる建家（ダンボール、古着、ビニール他とビンカンとか（大型ごみは別として））
- 紙の利用に頼りすぎている。市役所での申請などはタブレットでサインする等、工夫していくとよいのでは？学校のプリントも、もったいないと思うことが多い。ネットやメールなどの活用を進めてはどうか？小中学校の ipad 導入は素晴らしいと思いました。そこに学年だより、その他のお知らせものせていくと紙の使用量が減ると思います。
- 普通ゴミの戸別回収を行って欲しい。
- 市の中の不法投棄などのごみを取り除いていただきたい

食品ロス

- フードドライブを普及させてほしい。
- フードドライブの活動がより市民に定着し、誰でも参加しやすい環境になるようにより詳しい情報を入手できるようにしてほしい。活動についてあまりよく知らないため。
- 交野市は小さいが、独自の環境改善活動をしてほしい。例えば、食品ロスを少なくするために、コンビニなどに警官を立ち寄る時間を作り、余りの食材（期限切れになるもの）をある場所で分け与えることもしてほしい。
- 近年、フードロス削減がグローバルな課題となっていることから、地域の市民団体と学校が連携し、フードバンク活動や子ども食堂、フードフェスタ、コミュニティレストランなどの活動を行っていくことが大切だと思う。市域全体を取り込んだ活動へと発展できれば食品ロスの削減及び地域活性を含めた有効活用効果を高めることができるのではないかと考えました。

自然

- 田・畑が住宅や倉庫街に変わってきています。今までは緑が多い交野市で良かったのですが、税収を増やす為に開発が進んで環境が悪くなっていっている様に思います。自然をちゃんと残して開発するようにお願いしたいです。
- 交野は自然が残った住みやすいまち。文化財の重要なものが多い。巨岩など自然遺産を大切にする取り組み特に交野山の観音岩、岩船神社の四礼明神をシンボルとした取り組みをして欲しい。指定文化財になど。

- 交野市は自然豊かな街で、住み心地が良いです。
- 緑の多い街づくり
- 里山はのこしてほしい！
- 自宅近くの天の川沿いの遊前道の散歩は快適で、サギやカワセミも見かけることもあり、市大植物園の往復コースは最高！
- 緑が少ない。
- 交野の山、川のさらなる整備　交野の山への登る道の整備　整備の為のボランティアの利用、活用
- 天の川を整備し、アユの放流、アユ釣り場、他釣り場を整備する。
- 豊かな自然と静かな住環境が魅力的な街だと思うので、それらを守るために活動してもらえれば幸いです。
- 天野川の川の中をきれいにしてほしい
- 生物の生態系の維持にももっと取り組んでほしい。
- 人間が造った自然環境に関わるものについてですが、管理が難しく、経費力、安全維持力、デザイン工夫力、人をひきつける力が交野市は乏しいと感じている。表面だけ・上部だけに税金を投入せず、人間が生き続ける自然力を評価基準にほしい。子育て家族がライフワークをのんびりできる点が交野の環境です。
- 緑の多い交野が好きで、引っ越してきました。この環境をこわすことなく、これからも自然豊かな交野であることを願います。（田畑が減り、建物がどんどん増えていることが残念でなりません。）
- 里山の整備
- 交野市の自然を見て、自然の大切さを感じる様になって欲しい。他の市と連携し、交野市が他の市を含めた自然の勉強の場になれば良いと思います。※他の市よりサポートを頂く。
- 交野市の良い所は自然が豊かであり、水のおいしさ、安全なところと思う。環境や自然などの良い所に対しての広報が充分でないので発信力を高めるのを求める
- 私市からの津田あたりにある山すそを除けば、もはや、昔のような「緑がいっぱい　夢いっぱい」の交野は失われた。道路や、倉庫で、利便や、経済に主軸を移したのだから、良い環境とは、空気、水、音などこれから出てくる被害に対して行政がいかに誠実に、確実に、具体的に対応するシステムを作ることが出来るかにかかっている。環境を守るための人材確保 ICT などの市民の声を聞いて対応するためのシステムの整備を早急に進めていただきたい。
- 里山整備→バイオマスの利用
- 交野市周囲の枚方市や寝屋川市など都会的な市に囲まれて環境整備は難しいと思いますが、より優れたクリーンな市に成ります様に願っています。大変困難な問題とは思いますが、より良いまちづくりを望んでます。これからも宜しくお願い申し上げます。
- 緑を大切にし、鳥や生物の環境を守ってほしい。
- 宅地開発するにせよ、もう少し自然を残してほしい。
- 孫が大阪市内のマンション暮らしをしているが、交野に来ると、クワガタ、カブトムシ、ぶどう狩、チョウチョ、ザリガニ等、自然に触れ、「交野大好き」と言います。この自然を残して行って欲しいとつくづく思います。

- 交野市は山林環境に恵まれているのに、その利点をうまく活用できていないと思います。その理由の一つには山林の土地が民地である事があると思います。民地の方もすでに管理できない方が多いと聞きます。それらを一元的に管理する団体や組織をつくって、現在の交野市のトレッキングロードなどは、市の住民より他市からの利用者、とくにコロナの状況になってからは顕著です。他市の利用者のために交野市民の税金（し尿の回収費や道の整備、管理費等）が毎年かさんでいっている現状にも対策が必要だと思います。その上で、他市から訪れる方々にお金を落としていってもらうしくみをつくり、交野の環境整備を行っていったらどうかと思います。これほどの環境がありながら、宿泊施設（キャンプ場含めて）もないですし、もう少し天野川、山林、観光等の横の連繋があって循環型（交野モデル）社会になるのではないでしょうか。
- 緑があり、水もおいしい、自然豊かな環境をこれからも守っていってほしいです。小学校でも交野市の取り組みを教える場を提供してほしいです。人口比もあまり高くないので、市民全員で取り組みができる SDGs 活動を行っていってほしい
- 今の緑を維持し、住み良い街を願います
- 緑豊かな自然を守って欲しい。
- 桜の木を植樹する。
- 緑は多いと思いますが、放置されているところが多く虫、害虫が多いことを理解していない　緑が多い街とするならきちんと整備してほしい。ずっと要求していても全く何のうごきもない。税金をもっと活用して住みやすい街にして下さい。環境事業部？の方の一部の方の対応が悪すぎます。見回りをしていると思いますが見てるだけで何も考えずに行ってるのではないですか？もっと自分の街と思って働いて下さい。
- 今の市民よりも未来の子供たちのために、交野の自然を守る活動をよろしくお願いします。
- せっかく緑豊かな環境が市内に多くあるのに整備があまりされていないように感じている。「ただの田舎」でなく、整備に力を入れて、市民もその環境を守っていきたいと思えるような市にしていってほしい。
- 公園内や街路樹の剪定や消毒をしてほしい（できたら 5～6 年に 1 回）
- 自然が多く残り良い環境にあると思います。
- ここ数年の間に、交野市には多くの家が建ちました。これ自体は、若い人が増え、町が活気づくため良いことだと思います。しかし、建設工事が行われると、その周囲にある川（用水路を含む）や池の生態系が壊れてしまいます。今、私の住んでいる地域では、数年前に、アパートが 2、3 個建ちました。すると、その近くにあった池にいた生物が、建物が完成した頃には、全て消えていました。1 つの生態系が失われました。今現在、また私の地域では、大規模な建設作業が行われています。その作業が行われている場所の近くには、サワガニや蛍の生息する美しい生態系があります。上記でも述べたように、家が建ち、人口が増えることは良いです。しかし、SDG s を掲げるのならば、人が増えることで失われていく生態系についても、きちんと目を配り、対策を考えるべきではないでしょうか。交野市の目指している「良い環境」とはどのようなものか、今一度具体的に示してほしいです。　それ以外では、町の景観が悪くなるため、街路樹の剪定をこまめに行っていただけると嬉しいです。

- 人口の増加も大切な事だと思うが、開発のために里山や公園になっている様な空地を潰すのはやめた方が良いと思う。

公園

- 大切な広場を失いました。人口を増やすのも大事でしょうが住宅が増えるばかりで公園や広場が削られるのはどうなのでしょう。子どもの安全に遊べる場が少ないです。囲われている公園ばかりが遊び場ではないと思います。住んでいない住宅をどうにかしていっても良いんじゃないでしょうか
- 公園が少ないので増やしてほしい　また、今ある公園もハチが飛んでいたり安心して遊ぶことができないので改善してほしい。また、ベビーカーや車イスでも入ることができるようバリアフリーにしてほしい。（近くの公園が階段で入ることしかできず赤ちゃん連れには入りにくいです）
- 公園を整備してほしい。雑草も多い。
- 子どもが安心して遊べる公園が少ないと思うので増やして欲しい。
- 公園の整備　実施して下さい。
- 公園や里山遊びができるこども達の居場所づくりにももう少し予算をかけてほしいです。宜しくお願いします。
- 大きな公園を作って欲しい。子どもたちの安全な遊ぶ場所が少ないと思います。どんぐり公園までの川沿いの道がデコボコしているので危険です。川のそばにフェンスなどを付けてもらえたらありがたいです。交野が好きです。子どもたちも大人もみんなが喜ぶ町にしてほしい、したいです！
- ウォーキングなどできる公園が少ない。天野川沿いなど一部地域のみに遊歩道がある程度で少ない。
- ボール禁止などで子どもたちの外遊びが制限されず、子どもだけでなく、どの世代も利用できる公園。→最近よく「ボール遊び禁止」などの貼り紙をよく見て、みんなが楽しく過ごせる公園というものが減ってきている気がするので、体力づくりや、健康維持のためにも、ボール遊びができたり、おもいっきり走り回れる広場のような場所があればいいなと思いました。
- 公園では、年配者が子どもたちを追い出す。
- 若い人も入ってきているが、駐車場付きの公園や子供たちが安心して遊べる広場が少なすぎる。魅力がある町、可能性があふれているのに、とてももったいないと感じている。（小さな公園の管理、草むしり等を自治会任せにするのも高齢地域では大変な負担となっている現実あり）
- アスレチックや子どもがあきずに半日以上はあそべる遊具のある公園が近くにほしいです。外あそびは大切。でも近くの公園では、すぐ帰りたがります。山田池や深北緑地はずっとあそべます。
- 現在、市内にあるグランドは面積がせまく、その数も少ない。幅広い年代で利用ができる様になって欲しい。現在は野球。ソフトボールなどは場外に球が飛びださないか心配する様なグランドばかりです。改善して欲しい。
- 公園を増やして欲しい。

田畑の減少

- 田んぼを減らさず自然豊かに
- 高齢化に伴い、田んぼが売られ住宅ばかり増えていき、自然豊かな交野が失われていくのではない

かと不安になる。有効的な活用をする為にも担い手不足の解消等市も積極的に取り組んでほしい。

- 住宅開発、トラックターミナルの開発は程々にし、みどり・田んぼを残さなければ環境の良い交野市は存在しない。
- 今の市政で気になっていることの１つに、田畑を商業地、住宅地へ転用するのを盛んに進めていることがあります。もっと田畑を大切にして下さい。交野の良さを守って下さい。
- 最近、かなりの面積の田畑が開発によってなくなっているように感じます。建物ばかりをたてるのではなく、‘緑あふれる市民の憩いの場’などを作って欲しいです。10 年、20 年と先を見て計画的に自然を大切に、まちづくりをして欲しいです。
- 交野市の現況に大きな不満はないが、さりとてとても良い環境とまでは言えない。年々耕作難（高齢化のため？）で、田んぼが住宅等に変わっていくのも、街全体の整備に生かせる道があるといい。
- 最近は新しい住宅がたくさん建ち、交野の田んぼや自然がどんどんなくなっている気がする。そんなに家を建てる必要があるのか？交野の自然を守ってほしい。農業への支援とかも含めて田んぼや畑を守ってほしい。むやみに宅地開発ばかりしないでほしい。どうかお願いします。
- 田んぼ（緑地）が少なくなりました。
- 田畑が次々と埋立てられ宅地になりその反面空き家が目立つのが寂しいのと将来に希望が持てない。・若い人達にとり住みやすい町を作ってほしい
- どんどん宅地化が進み、田畑が減ってきています。人口が増え、活気がある町になる事も重要ですが、大阪の中でも都心に近くて自然豊かな交野がいつまでも続く町作りをして欲しいと願っています
- 水田の跡地に住宅を作るのを減らす必要があります。災害時、液状化現象が発生する恐れもあり、また新たな災害の引き金にもなる可能性があります。大阪市内では、出会うことが出来ない生き物ともこれからも共存していく必要があります。
- 駅近くの田んぼの宅地化が進んでいるが、交野らしい豊かな自然を維持して欲しい
- ここ数年、開発が進み、田畑が減ったことで、交野市は変わってしまったように思う。
- 子供の頃から住んでおります。田んぼがどんどん減ってきて寂しいかぎりです。保てるよう何かいい方法があれば…と願うばかりです。
- 最近、交野市内の田・畑がどんどん埋め立てられて、住宅・工場など増えています。豊かな自然環境がどんどん減ってるようにおもいます。非常に残念です。
- 10 年頃前と比べて、田畑や緑地の場所が減り、住宅が急速に増えたように思える。その結果として、景観のよさ等の交野市のよさが損なわれてしまっていると思う。また、田畑や緑地がコンクリートに変わったことで、水はけが悪くなり、洪水が起こりやすくなる心配もある。
- 地産地消のものをと言う割りに、畑が失われてるし、次世代の人に受け継ごうとする（若者への支援）サポートもない。
- 農地（田んぼ）を潰して住宅地に転換するのをやめて欲しい。
- 田んぼを減らすのはやめてください。

星田区の池を埋めたり農地をなくしたりしないでほしい

教育

- 個々の施策も当然大事だと思いますが、その施策を実行、実施していく、継続させるためには、まず、基本的理解を共通にしていく深めていく必要があると思います。今すでに大人になっている人はさておき今の子供たちに教育を通じてその理念を深めることやくり返し学習して心に留めておけるようにすべきと思いますが、果たして、先生方がそれに一枚岩で対応できるのか　まずは先生方への教育や理念の一致が必要ではないかと思います。
- 高度な学習環境を子供達に供給し、子供達の成長を目指すべきだと思います。学習できる図書の部屋を増やすなど、子供達が自己学習できる環境作り、子供達が遊べる場所の増加、子供達の過ごせる場所を増やして欲しい（老人ばかりじゃなくて）
- 子どもへの環境教育大切。何年か後に、直接彼らの生活に影響するから。
- 子どもたちの豊かないきとどいた教育環境を守るためにも小中一貫校はやめてほしい
- 教育環境の充実が重要だと考えます。ご承知の通り社会の老齢化並びに少子化対策が重要課題になっています。交野市で義務教育を受けた子供達が進学・就職・結婚等で他市に流出した人たちが、自身の子供もふる里である交野市で育てたいと思える様な環境であるべきです。老親のそばで若い世帯が生活することで経済の活性化及び介護問題の解決の一助にもなると思います。

学習会・イベント

- コロナ禍でイベントが中止続きですが。過去に里山大好きウォークラリーのボランティアを3年程させてもらいました。子供さん連れや外国からのグループの方も多くて、いつも1時間程で定員に達する程多くの方が交野に来て下さっています。里山を守っていく学習会があれば参加して又、ボランティアで参加協力したいです。働いてる世代は平日参加できないので、土・日の学習会を希望します。
- 住民が参加しやすい（気軽に）活動等、もっと増やして、環境問題に取り組める様する事で、住民の意識も高まると考える。
- 環境だけに特化する（事、イベント）を考えるのではなく、様々な事と、からめて（交野市の自治体PRなど）宣伝になるような、見立った事を行えば、より多くの人の興味をひき、環境について考える機会を与えられ、一石二鳥だと思います。もっともっと、若い人を取り込んでやるべきだと思います。(例）ロハスフェスタなど（枚方市の五六市→（環境とは大きく関係ないとは思いますが少しは関係する）のような大きなイベントのように、定着すればいいなと思います。)
- 交野マラソンみたいな有名なイベントをもう1つくらい増やして、交野の環境についてもっとみんなの興味をもってもらう。
- 大学生や高校生が積極的に参加できるボランティア活動などがあれば、環境教育や学習の機会になったり、若者の環境問題に対する関心度が高まるのではないかと思います。

生活環境

◆騒音

- 第二京阪のバイク騒音を厳しく取締って欲しい。

- 夜に暴走族が走るのを止めてほしい
- 第二京阪道の騒音（トラック、ヤンキーバイクなど）対策をぜひともお願いしたいです。排気ガスのリアルタイム監視へのアクセスのしやすさ、街中で目にする機会の充実もあればなおよい。
- 警察と協力して夜間バイク騒音対策を行って欲しい。
- 暴走族対策を行っていきたいです。

◆ルールの徹底・マナー

- まずタバコのポイ捨てが多すぎるのでマナーを徹底だと思います。
- 犬のふんなど、ルールを守れない人がいるので、小さな事からルールを守る市づくりをして頂きたい
- 犬のふんゴミがいっこうに減りません。一番悪いのは飼い主だと思いますが、家の前などにされると、そうじがとてもいやです。何か良い方法を考えていただけないでしょうか？
- 犬のフンゼロを目指してほしいです。
- 雨の日に第二京阪道路の下に車で犬の散歩に来られる方々を見かける。雨に濡れないので便利かもしれないが、近隣住民にとっては生活の場なので失礼だと思う。その場所は犬のトイレではない。
- コロナで中止になっている清掃活動を再開したい。犬のフン放置を許さない。
- 車・自転車・歩行者の交通マナーの向上を目指して欲しい。
- 草刈をしてそのままにされているので風で飛んでいき道や家などに草が入る。草の放置をしている所が多いと思う。
- 土曜日になると農園及び個人事業者の野焼が多い。
- 野焼きが多い（田畑）市の方でやめるように声掛けをしてほしい。
- 個人が屋外でゴミを焼却する事を規制して欲しいです。
- 山林や川への不法投棄をなくしてほしい。監視カメラの設置や不燃ゴミを勝手に持ち去る業者への取り締まり。
- ハトにえさをやっている人がいる
- 星田交差点前のプレアール星田のゴミがよく散乱していて子供の通学等に影響している。

◆地産地消

- 地産地消を意識した、地元の野菜などが買える場所の増設希望
- 地場産の食材（ex：交野ルビーや交野で採れた農産物）がスーパー等で購入することが出来れば、より地域の活性化につながると思います。
- 交野市も近隣自治体の様に地産地消を重視し（産地直売所）を JA と共存し地元農家との連携を図り取り組むべきと思う。
- 学校給食に地元農家さんを応援する為にも地元野菜、米を使って下さい。

◆自然災害対策

- 災害が心配です。災害に強い街にして下さい。応援しています。

- ゲリラ豪雨、大雨による洪水など災害時に備え、体育館にもっと災害時の時に役に立つ設備があったら良いと思います。
- 気候変動による降雨量の変化ともなうゲリラ豪雨、大雨による洪水の危機に対する施策が最重要であります。
- 環境と関係ありませんがー。近年の猛暑は、災害レベルと感じます。風水害の避難場所を、エアコンの整備をして猛暑日に（昼・夜）開設したらどうかと思います。
- 雨で床下浸水地域の改善、解消。
- 災害に強い町づくり。体制づくり
- 熱海の災害のように、開発における、災害への被害に直結するような事象がおこらないように検討をしっかりとしていただきたい。
- 大雨等による災害を防ぐ（山の安全、河の安全）

◆利便性

- 利便性が悪い　道がせまい　役所や、店が遠い　本屋が無い
- 環境→関係ありませんが…交野市内にコンビニ（小さなものでも）が増えるとありがたいです。交野市のことが大好きです。いつもありがとうございます。
- 交野内だけでの生活や娯楽施設がないので、大きなショッピングモールなどを作ってほしい
- 星田の市民センターがなくなり、大変不自由しています。今ではすぐに本館にいって下さいと言われますが足の便が悪く、行きづらいです。出来れば前のような市民センターを作って下さい。お願いします。
- 店が少なく非常に不便

◆防犯・安全

- 環境対策を支持しますが、同時に住みやすい街づくりをお願いしたい。例えば、道沿いの並木が成長し過ぎて、運転中の死角になっていたり、街灯が無い為、横断歩道の無い道を横切る人の発見に遅れたり、防犯上もよろしくない。交通量の多い道路から順にやって頂いているのかもしれませんが、300m間隔でLEDライトたった1つでも、予算的に無理なものですか？
- 自然や環境も大切だと思いますが、交通事故や犯罪を未然に防ぐ街づくりも考えてもらえたらと思います。
- 今現時点での治安の悪さは感じませんが、子どもを育てる世代として安全か…と問えば、決してそうは言えない環境（人的・物的）も懸念されます。交野の良さも残しつつ子どもが安全に育ちゆくシステムや交通、治安…様々な角度から安心できる街づくりを願いたいと思います。

交通

◆国道や第二京阪道路

- 第2京阪国道の側道の二車線化（渋滞緩和）
- 国道 168 号の交野四中～植物園間の交通量が増加しています。（奈良方面よりの朝夕の通勤ラッシ

ュ）車線を広げるか？バイパス道路が出来ればよいのですが。私市の住民の出入がしにくくなってきています。

- 第二京阪の一般道部分は交野市付近を 1 車線にしたため渋滞が常態化して、大気には悪いのではないかと思う。信号機の制御を工夫してスムーズに流れるようにしてほしい。
- 第二京阪と R168 の交差点が慢性的に渋滞を起こしている。あれでは空気も悪くなるし、環境にもよくないと思う。車線を増やすなどし、渋滞の解消をすれば、環境も良くなるだろうと思う。
- 住宅地を増やすなら、道路の整備・拡幅も併せて行って欲しい。少なくとも第 2 京阪と並走する 1 号線バイパスの 2 車線化は急務と考えます。（渋滞解消してきれいな空気を取り戻してください）

◆道路整備

- 道路が狭い。ガタガタ道が多い。
- 狭い道路が多く、歩道もないところが多い。歩くのに大変移動しにくい（特に小さな子供には）。
- 道路の整備　実施して下さい。
- 神出来交差点から藤が尾小学校間　1. 歩道に草木が植わっていて、子供が危険である。2. 歩道に大型トラックが乗り上げて駐車のため危険がある。
- 少し気になるが、交野駅前のイズミヤからエユレン間の歩道幅が狭く、歩行時の自転車対策が心配。できれば、狭い区間のみ、自転車走行をやめ、手押し歩行できればいいな…。あわや、の経験もありますし。
- いつもお勤めご苦労様です。住み良い街だと感じておりますが、一部、歩道のない道路等安全面が気になる所もございます。安全で住み良い街になるようお願い致します。
- 細い道も多く、ベビーカーや高齢者が安心して歩けないところも多い。18 号線と郡津駅の間に住んでいるが、日により、空気に臭いがする（排気ガス臭）
- 狭い道に歩道もなく、大型車（バス、トラック）が走るそばを歩いていかねばならないところが多い。→道を広げ歩道を作ってほしい。
- 道路整備　補償を増やす
- 遊歩道などが整備された為、他地域からのマナーの悪い人達が多く自宅周辺にあふれ迷惑しています。住宅地隣接のところにこのような遊歩道やサイクリングロードは作って欲しくないし、撤去していただきたい位です。（向井田地区在住です）交野も以前は自然豊かでしたが、開発がすすみにぎやかになり、以前から住んでいる者からすれば住みにくくなりました。交通の利便性も落ちました。
- 歩道少なく、車イスで通行難の場所が多い。
- 家の前の道路、ダンプカーやトラックがスピード出して走行していて、危険！ちびっこ広場の周辺、休日や雨の日は、路上駐車がたくさん。夏場、雑草が育ち過ぎて運転の際、見えにくい。これら、連絡して対応してくれる場所を作るべき。市へメールしても返事はあるが対応してくれない。
- 子供や老人が安心して歩ける道を整備してほしい。狭い道にも車が入ってくる。駅周辺も力を入れて開発してほしい。四季のわかる良い街なので環境に優しい交野市を作って下さい。
- 交通量の割に道幅が狭い。

- 交野市にはまだまだ細い道や整備されていない場所も多く、歩行者、自転車が安全で通行しやすいように整備してほしいです。
- 郡津駅に行く時、歩道がなく、車の数だけが増えて、歩くのに非常にこわい思いをする。住宅が増えても、道幅は変わらない。交通量の多さだけが、増えている。
- 交通安全の面から目線をしっかり引いてほしい。河内森の駅前に車送迎場を作ってほしい。ヤマヤ前の道路が雨の日の朝と夕方の 17 時から 19 時頃まで混みすぎて困っているので渋滞緩和の対策をしてほしいです。
- 砂埃の影響、多くのトラックにより、空気も悪くなった。仕方のないことかもしれないが、残念でならない。
- 歩道の整備をしてほしい。路面がボコボコなので、自転車で走りにくい。
- 京阪バスが人の流れを助けているが、排気ガス、振動がある。通り抜けの車やバイクが、スピードを上げ走る。
- 歩道と自転車専用道が整えば家族でサイクリングやランニングがしやすいと思います。
- 夜が暗いので街灯増やすこと！私の家の前を一方通行にするべき！（車一台しか通れないのに）
- 道幅を広くする。
- 河内森、私市駅周辺の整備（道路等）

◆公共交通機関

- 妙見東地区に住んでいますが、数年前から星田駅行きのバスが 1 日 2 便になりました。今は自転車や歩きでいくことができますが、高齢者は、無理だと思います。車の運転もできなくなると、外出することが困難になり、市役所・銀行・病院に行くことができません。体が自由にうごけるときに、便利な所に引越しする方がいいのではと考えています。
- 老人が多い町なので、駅周辺で生活に必要な物や事が歩いて済ませることが可能で、バスやタクシーが利用しやすいように発展させて欲しい。
- バスを利用しやすい市にしてほしい。
- どんどん新しく住宅が建っているが、バスなど交通機関に不便な場所が多い。例えば、駅までの距離が長く、夜道も人通りがなく危ない。安心して住みやすい市を目指してほしい。
- 市内見て回る、バス等が近くにない。
- バスを小さめにして、便数を増やす。
- バスの路線廃止で困っているお年寄りの方がたくさんいます。北開発の方ばかりに目を向けず、市民の不平等を無くすことに目を向けてほしい。
- 3 中地域は電車が通っていないので、もっとバスの本数がほしい（おじいちゃんおばあちゃんが車の運転させるのはキケンだと思うため）
- 私は車を持っておらず、電車、バス、タクシーに頼る生活です。電車は便利だなと思いますが、バス・タクシーは本数、行き先も少なく、常時タクシーが居るわけでもなく、途方に暮れる時もあります。駅から家の近くまでバスがあれば良いのに。
- 便利に利用出来る公共交通網と交通費の低価格化。

- 交通関連に不満　バスの便が悪い。大きなバスが細い道路を占有。（私部１丁目住吉神社近く）歩道が整備されてなく、仕方なく自転車は車道を走る。鉄道の高架化が進まず、踏切事故が多い。星田駅南側の区画整理が進んでいない。交野市駅近くの有効活用。

空き家、開発、住宅

- 倉治地区はお年寄りの世帯が増えて、空家も増えています。歴史ある街並みが保存されたらうれしいです。
- 空き地を減らし有効活用する
- 小規模住宅開発はしないで欲しい。
- 人口減少に合わせて、新規開発を抑え既存宅地の活性化策を進めたらいいと思います。
- もうこれ以上新しい住宅地は要りません。古い空家を買い変えるだけでも若い世帯は入ってきてくれると思います。仕組みを考えて下さい。
- 住宅が多くなりすぎている様に思う。
- もう少し村の中の区画整理を進め住み良い町作りを目指してほしい。（道幅が狭く、火災がおこった場合大火災のおそれがある為）
- せまい道ぞいの家の建築やめてほしい。歩道をきちんと整備してほしい。
- 子供の憩の場である広場、空地など地元の住宅業者により少しずつ潰され戸建住宅になるのを目のあたりにします。これから益々高齢化が進み空き家が増えていく中で宅地造成は不必要です。宅地造成のためのトラクターやトラック、etc があちらこちらに置かれ景観を悪くしています。交野の街がより良くなる為に必要なことは魅力ある街にすること、市民がこの街に住み続けていきたいと思うことです。次世代の為にも目先の“金”にとらわれる事なく、100 年単位の街づくりを目指してほしいものです。
- 景観にそぐわないような住宅地の建設をどうしにかして欲しい　日本の風土、景色に合った物を建てて欲しい。
- 開発が進み住宅が増加しているが、バスも通らない自家用車がないと住めない老人にとってはとても住みづらい町です。最近は転出する人も多くいます。できるだけ住みつづけられる町にしてほしいです
- 住宅地がたくさん増えていっているが良い自然、景観をなくさず開発してほしい。
- 住宅建築許可は高級住宅にする（宅地を広く）
- 高齢者、一人暮しに対する家屋維持の支援（庭の維持 etc）

情報提供・広報

- 関心がない人にでも、目・耳に入ってくる程の宣伝・アピールが必要では。
- 広報などで参加募集し、若い世代が環境問題に何か参加できる場が増えればいいな。
- 環境問題に興味はありますが、交野市の取り組みについては余り知りませんでした。公報交野やパンフなどでこまめに情報を届けてもらうとありがたいです。
- 交野市は、自然も多く、空気もきれいで、お水もおいしいです。とても好きな街ですが、ところど

ころ廃車した車が放置されていたり、工務店か何かの資材置場からの騒音に悩まされています。どこに相談したらいいのかわかりません。情報を下さい。

- もっと地域のために行っている取り組みを交野市民に提示すべき
- ホームページもっとわかりやすくしてほしい
- 知らない事が多いですので、どんどん発信頂ければ、協力していきたいと思います。
- わからない言葉が多くでてきて（市報などを読んでいるが）もうすこし市民に働きかける方法を考えてほしい。
- 今回の「交野市環境基本計画」の目的（狙い）、目的達成すると、どんな幸せな世の中になるのかが伝わるようなストーリー、目的達成に向けた具体的なスケジュールとその進捗が見えるようにしてほしいです。
- 広報や自治会合などで詳細に発信が必要。環境のことだけでなく今はコロナだったり、行政全般
- 交野市は、行政は色々と取り組んで頑張っているかもしれませんがそれが市民の方には届いてないような気がします。広報活動（SNS）等、もっと頑張って欲しいです。自分が育った所なので、できれば交野から出たくないですが、将来的にリアルな事を考えると、近隣の市の方が魅力的で、やっぱり交野はいつまで経ってもイモっぽいなーという感じがします。せっかく自然豊かな大きい山があるのに、もっともっと宣伝するところがあると思います。（星のブランコ以外にも）
- 自分達が住んでいる交野市ってどんな市なの？小学生にもわかりやすい広報を作ってもらえたら！（時にしか行こない孫に聞かれてこまる時ある？説明がヘタだから、イヤがられる、家帰ってお母さんに見せてもらいなと？）
- 広報などで、環境に関する関心を高め、良いものも悪いものも公開し、意識を高めることが大事と思う。

◆観光

- いい山、文化財があるので、観光に力を入れる。
- 星のブランコなど自然を感じられる観光スポットもあるが、駅から遠く、バスでのアクセスもできない（往復１本のバス）のはひどい。また山登りスポットもあるが最寄り駅からの案内も乏しく（あってもボロボロ）初心者泣かせでした。自然との調和が取れる開発と、自然を感じられる観光スポットへの導線を何とかしてほしいです。
- 星のブランコをもっと有効活用。
- 星のブランコなどの観光地をもっと開発して、私市駅のまわりとかにもっとお店ふやしたり、ぶどう農園とか歴史のあるものを活用して活性化さっせるべき！（ex:地域の特色のあるインスタ映えスイーツみたいな！）　・交野カンヴァスもっとコロナおさまったら活発にすべき！　・インターネットフル活用すべき！

税金・財政

- 税制を見直し税金の増税ではなく税金の使い方から考え直して、交野市のより良い環境をつくっていく用途に税金を使って欲しい

- 環境に対する透明感ある予算執行　何故その予算が必要なのかを、徹底した説明責任を果たすこと
- 多くの税金を取るなら住民も納得する使い方をしてください。
- 無駄な費用が有った場合　見直していただきたい
- 交野市の財力に見合った取り組みを行うべきだと考える。しかし、それ以前に、小、中学校等のトイレの整備、市の施設の整備を優先して行うことが重要だと考える。環境整備よりも、現状の問題抽出～解決を本気で行う必要があると考える。
- より良い環境をつくるのは重要だが、それに向けた計画・お金の使いどころも重要になってくる。無駄遣いなく良い環境つくりを求む。
- 市の厳しい財政状況で、どこまでの予算で環境問題に取り組むか。将来を見据えながらも、現状を如何に維持していくかの視点も重要だと思う。教育やインフラなど、他にも多くの重要な分野との配分バランスを意識しながら取り組んで欲しい。継続は力なり。
- NPO 法人に税金つかうな

子ども・高齢者

- 高齢化社会なので、気軽に参加、取り組めるようなシステムを作ってほしい。
- 子供や、高齢者が楽しく過ごせる街を造ってほしい。子供が公園を使う為のボール投げは駄目、あれは駄目など、高齢者がスポレク、ゆうゆうセンター、その他に移動したくとも便がなく、タクシー利用などでは毎々通えない。病院も同じです。市内交通システムを構築すべきです。もちろん（有料で良い）
- 子育てがしやすい、子どもが安心安全に育つことのできる街にしてください。子育てや教育に積極的に投資してください。道路の整備や、空き家問題など、環境を整え、子どもたちにとって自慢の街であってほしいです。

アンケート

- I believe the questionaire should be simpler. Finally,it will be great to have the English version of it.
- この時代に記入式のアンケートをすることにおどろいています。マークシートならまだしも…QR コード読みとりで携帯で返信する方法がよいです。この人件費がもったいない
- 紙資源の使用削減のために、このようなアンケートは web 入力にしてはどうでしょうか。
- 紙の回答より Web での回答にした方が環境にもやさしく、労力もかからないと思います。高齢者の IT リテラシー向上を支援することも必要だと思います。使えないから、使わない方を考慮するのは当人の成長も阻害すると思います。
- もっと他の住人にもアンケートを取り意見を聞く　アンケートの電子化
- 老齢の為、アンケートにご協力できません。
- もっと分かりやすいアンケートにして下さい。
- 年寄りにこんなむずかしいアンケートはいらん　うごきやすいかんきょうがほしいだけ

- アンケートに紙を使わず、ネットでやるべき
- このアンケートによって、交野市の環境への取り組みのことを知りました。もっと多くの市民に広まっていくように、知らせることができる様な、工夫してほしいと思いました！
- 継続性のある取組みを希望。常に感じるのは本気で取組んでいるのか不信感をもつことが多い。また市の財政力の柱を構築することが必要と思われる。このアンケートについてもNPOに丸投げされている。まず、自ら汗と知恵を出してはどうかと思う。封筒はのりづけしたもの使用してほしい。心がこもっていない。
- 市民により、環境を守る活動に関する取組みについて、市が積極的に援助する。集計についてなぜ他県で行うのか？交野市の団体にたのむべき。

その他

- I think it is very important to organize small workshops where Katano citizens can discuss,learn,and share ideas about how to keep Katano beautiful and raise awareness of the importance of working together toward the same goals. In the long run,not only Katano citizens will benefit,but also all living beings.
- 農地維持活用＞宅地化など　土・緑が消える　→ex　太陽光　人材・継承策など…　⇒カーボンゼロ社会
- あまり徹底しずぎると生活が窮屈になるので、程々が良い。今の分別さえ、まともにできていない人もいるので、今できることをするべきかなと思います。
- 10年前に交野市へ引越しして来ました。とても静かで環境も良く住みやすいです。これからも環境を保って下さい。
- 外国人移民がふえる、ふやすようなことはしないでほしい。
- 環境問題、これまで積極的に向き合って来ませんでした。知らない事も、たくさんあります。生活に密着した詳しい情報に気楽にふれる機会がもっと増える事が、大切かも知れません。コロナ禍中、持て余している時間等を、もっと環境問題に向けて行ければ良いですね～
- さくらねこの事業を後押しする。
- 自分は交野市が大好きです。
- 交野は田園文化都市を保持すべきだと思う。従って、良好な自然環境の保持、文化都市としては、スポーツ、文化活動の活発さを推進するような環境の整備などに努めること。
- 枚方市より引越して、4年強、初めは時計が止まっている様な感じがしましたが。間違いでした。大変今の儘で結構です。いい市へ引越して来たと思っています。今後共、宜しく御願いします。
- 障害者福祉の充実を図って欲しい。
- 市内のゴルフ場等、市民優待を行う。
- 家庭での環境に対する取り組みの支援の増加。緑化の支援や、太陽光等の補助金
- 問10　より良くなっている事を書くべきでは現状維持だけなのか？
- 10年後、現状が保たれているではなく、より良い市内環境が実現できるような市政をお願い致します。

- コロナ対応を見て、今、交野に優秀な人材は少ないことがわかったので将来住みつづけていいか不安です。このアンケートの集計の労力もムダです。他にすべきことがあるでしょう。
- 言葉にする事は簡単な事だと思いますが交野市をこれからも良い環境で生活ができる事を望みます。
- カラスが多い
- 交野は、日常生活を送る中で自然を感じる事が出来る素晴らしい町である。近年ビジネスのリモート化により、郊外の田舎暮らしがブームで有るが、交野の場合、TV で見る様な極端な田舎では無く老後の生活レベルにおいても不自由のない便利さが確保されている。自身の経験から、子育て環境では安全・安心も保たれており、人に自信をもって勧める事が出来る。この様な町　交野を将来に向け持続させて行く為には、生産世代である、若者世代への居住推進に力を入れて頂きたいと考えます。開発に於いては、自然環境保護の基本を崩さず推進される事を希望します。
- 私は交野のまちがとても好きなので、妙見坂の桜並木や蛍、交野山などの自然を一緒に守っていきたいです。このような貴重な機会をいただき、ありがとうございました。
- 環境の取組をする前に市役所別館のいたるところにポスターを貼っている。はがれてもいがんでも気付きもしない。期限切れも気付きもしない。ただの風景になっている。環境啓発のものが多いが、そんな事にも気付かないものたちがこのアンケートの内容を問うとは片腹痛い。反省して下さい。
- いつもありがとうございます。交野に住むことができてうれしく思います。
- パチンコ屋を建てさせないこと。現有パチンコ屋は撤去させること。
- 地上デジタル放送中継局を河内森、私市周辺に建て、放送の恩恵を公平に受けられるようにすること。（テレビ大阪）
- 5～6 年前、大阪の鶴見緑地でキャンプをした事がありました。交野に住んで 25 年になりますが、大阪市内の空気の悪さに驚きました。交野に住んで本当に空気はちがうと思いました。水もまずくて飲めません。自然の環境は、人々が守らなければならないと思っています。交野市内の道にはゴミを見かける事は少なく、大阪市内にはゴミの吹き溜りのような所がたくさんあります。ゴミの多い町は人々の心もすさんでいて、優しい人も少ないです。環境は人の心を育てる為にも大切な事だと考えています。美しい交野の街を孫の世代まで、残すため環境問題を考えたいです。
- 質問よりもっと身近な事から取り組むべき。市からの声は、全市民に全く通っていない。住みたい町は、住んでいる人たちが作るもの。市民と力を合わせるためにどうすれば良いのか。そこから市民と話し作る努力を期待します。
- 他市より交野市民は意識が高いと思います。様々な取り組みをされていますが、感心が低いやるべき事をやっているだけ次の段階に導きやすいとは思います。もっと広報活動が必要。物を販売する企業側がプラを使用しない様にする必要大。私達に出来る事をもっと具体的にしめしてほしいです。
- 交野市の良い所が今後も残っていってほしいです。
- 将来の目指す姿を明確にして、街を再開発して欲しい（10 年、20 年先を見据える）
- 交野市は自然環境が保たれ、交通の便も良く、とても住みやすい都市だと思います。休日には多くのハイカーが訪れています。環境汚染につながるような事業や企業の誘致は行わず、市民の環境問題に対する意識や意欲を高めるような取りくみを活発にして欲しい。学校・ゴミの分別ボックスを

各階に設置する。・給食の残食を少なくする。・子ども達自身が不要になった文具や服などを持ち寄りまとめて寄付する。・宿泊学習でレクリエーションセンターで宿泊し、星空の観察や吊り橋へのハイキング、川遊びなどを行い、交野市の良さをみんなで感じる。など

- 早くワクチン打たせてください。
- 緑もあって、すぐ都会にも行ける利便性もあって、良い街だと思います。開発事業などは環境に配慮されたものになってほしいですが、かと言って時代に取り残されてほしくもないです。発展と、次の世代に残さないといけないものと両方のバランスを重視しながら持続可能な社会（街）にしてほしいです。
- 子育てを支援する課だけが何故あんな不便な所にあるのか、わからない。長期的にみて、現役世代や、その次世代が住みたくなる又は住み続けたいと思える街造りや支援を行わないと、他市の様な財政難におちいってしまう。意見を伝える機会を与えていただき、ありがとうございます。
- 若い人たちに班長などの重役を押しつけない。歳を言い訳にして、何もしない人がいるので、積極的に高齢者関係無く仕事はみんなで分け合う。
- 市民の意見や要望をよく聞いて答える努力をしてほしい。市長も議員の多数にもやめてほしいと思っている。環境も悪くなったり市のゆうゆうバスも廃止され市民はいかっている。小中一貫校も反対‼子供たちがかわいそうだ
- 国の方針同様に出来ない計画ばかりで、今出来る事を進めてほしい
- 花の苗を格安で。高齢者の家庭に配布してほしいと思います。理由　1.私も花作りが大好きです、理由は　2.①花が咲いた時。達成感を味合う事が出来ます。花はどんな時も美しいです。 3.花が咲くと、近隣の人が見に来ます、嬉しいです。 4.②花の世話をする時。水やり、草取り、植え替え等、良い運動になります。
- 1970 年代に 10 才代だった頃から交野市に住み始めましたが、当時は日本は高度成長期で、企業による公害、浪費を美徳とする PR に導かれたゴミ廃棄等が日常的でした。遊んでいた「天野川」を子供同士で「七色の川」（上流から様々な廃水が流されて、色が変わるため）と呼んでいたこともありました。当時に比べると企業の環境規制が強化され、交野の自然もだいぶ回復したように見えます。一方、以前にも増して様々な化学物質が用いられ、遺伝子技術利用など、一般市民には感知しにくい要因が増加しているのに、かつてのような消費者運動は下火となり、充分な情報を持たない個人の嗜好が優先される環境（例えばネットで安全性のよくわからない食料品や日用品を個人輸入したり、知識不足で有害な薬品をコスメや洗濯、あるいは猫よけに使う等）は放置されています。グローバル化で外国人も住民として多数生活する今日、新しい時代の市民への啓蒙が求められます。
- 何に対しても、他市よりも遅れをとっている気がする。
- 交野市の環境をよくするため頑張って下さい。
- 電柱、電線を埋設してほしい　人工音声の気持ち悪い広報をやめてほしい　市長の声のくり返しもイヤだった
- 無電柱化をすすめてほしい。

事業者アンケート自由記述内容

問 12　貴事業所で実施している環境活動・省エネ・SDGｓを意識した取組などがあれば教えてください。

エネルギー

- 省エネ設備の導入や具体的な管理
- LED 照明器具への切り替え
- 人感センサーによる人の不在時の消灯
- 環境活動につながっているかどうかはわかりませんが、節電
- 大阪ガスが取りまとめしている　デマンド・レスポンスへの参加
- LED
- 電気、水道など細やかな節約など
- 駐車場をなくし、車での来店数を減らす
- 社員の車通勤禁止
- エアコンの使い方の工夫
- ハイブリッド車の導入
- 太陽光パネル設置

廃棄物

- ゴミの分別による削減　省エネ製品の開発
- 産業ゴミの分別
- プラスチック再利用
- 産業廃棄物を細かく分類して、分別処分場、契約処分業者に依頼　綱材・電線ケーブル、空ドラム等はリサイクル業者に依頼　雑産廃は処分用コンテナ設置してあり、定期的に業者引取り
- 紙パックのリサイクル促進
- 環境活動につながっているかどうかはわかりませんが、エコバックの推進 etc
- リサイクル BOX の設置
- ペーパーレス化…給与明細や年末調整申告書、電子化
- レジ袋の有料化
- 食材の廃棄を少なくする（冷凍保存など）
- 生ゴミはできるだけ水分がないようにしている
- 通常の店内営業で割りばしを廃止・テイクアウトの際は割りばしを使うが、いるかいらないか聞く。
- ムダをださない・売れそうな量だけ作る（天候などに合わせて）

地産地消

- 地産地消…地場野菜コーナーの設置

教育

- 子ども環境学習（エコピースクラブ）…小学 3~4 年対象、※コロナ禍の中未実施

その他

- エコアクション 21 加入 10 年以上
- 極力ムダな生産活動を削減
- 排水量の削減（出来るだけ再利用）
- 省エネ　SDGｓが、真に人間にとって有益であるかの情報収集
- （新型コロナの影響で現在実施していないものも含みます。）SR（社会的責任）環境宣言（平成 24 年 6 月 1 日制定、平成 28 年 6 月 1 日改定）に基づき、SR 課題、環境改善計画書兼進捗管理表に基づいた各施策の実施　目標項目①地域コミュニティへの参画　②地域の美化・清掃活動の実施　③環境配慮型金融商品の開発、販売　④子ども服のリサイクル活動の実施　⑤健康診断の二次検診受診の促進　⑥事務用紙使用量削減　⑦地域の環境保全活動の実施
- グリーン経営の取得、継続

問 13　交野市の環境行政についてご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

エネルギー

- 太陽光パネルの下の土地には、太陽光が届かず、草木や虫もいなくなるような気がしますが、これは誤った認識なのでしょうか。一市民として「環境政策」に疑念を持っているのは事実です（交野市という意味ではありません）
- 太陽光発電など導入したいと思うが、初期投資が今の状態では不可能、助成金制度などあれば知りたい
- 最近の水害（土石流）で太陽光パネルで山の木を切ったりするのが原因とか。省エネもいいですが、考えてほしいです。前から、山の中のパネルを見て、おかしいと思ってました。交野は山がありますので緑を守ってほしいです。ビルのかべ、屋上などにパネルを置くのは良いと思いますが山の木を切って置くのは、草もはえるし、環境の悪化になると思いますので反対です。
- 太陽光発電は費用対効果がないように感じます。

廃棄物

- プラスチックゴミの分別は意味があるのでしょうか
- 廃棄物処理について適正でない部分がある様に思う

自然

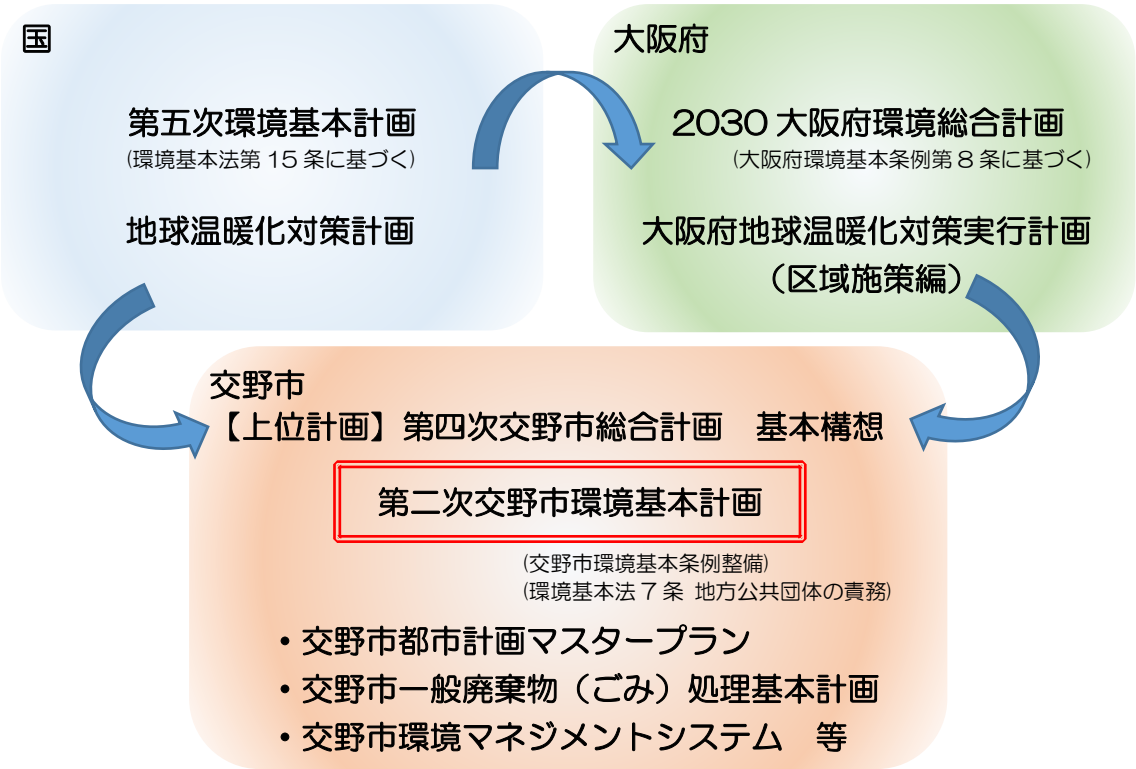
- 交野の豊かな自然を守りながら取り組みをお願いします。自然を守ることも CO2 を抑制する事につながると考えています。

その他

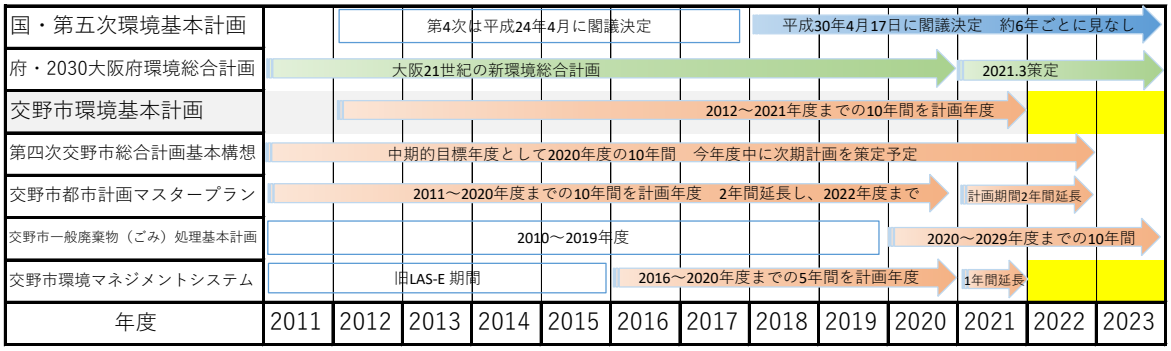
- 現在、行われている行為、作業が本当に環境の為にベストであるのか、再度考えてみるのも必要なのでは…　現在行っていることの為に見過ごされている部分の方が大きな効果を生むということはないのだろうか。小手先ばかりでなく根本的なことからしきりなおすことも大切な事ではないかと思う。
- 問９　の実施（全て同時に。）
- いつも市民の為にご尽力下さいまして感謝しております。小さい事業所（商店）ですが、何か協力させて頂けることがあればぜひさせて下さい。
- あまり知られていない部分も多いと思います。市民に伝える機会が多くあった方が良いと思います。イベントなどでそういった機会があれば場所の提供など御協力させていただきます。
- 市民へ環境行政の認知度、重要性をもっと強調し、市民意識を高める必要あり。
- 住みやすくきれいな交野市を守ってくれている行政には本当に感謝しています。ありがとうございます。
- 自分達の商売で協力できることはあまりわかりませんが、出来る限り協力していきます。お願いします。
- 敷地はたくさんあると思うので、良い活動を広めるべき

次第４　２０３１年のビジョンについて

第二次交野市環境基本計画の考え方（案）



関連計画の計画年度の状況



環境基本計画の方向性。

①長期的ビジョン　　2050 年度までにゼロカーボンシティを目指す。

②計画期間　　2022 年度～2031 年度までの 10 年間

③目標　　指標例　CO2 の排出量の削減等

④想定する施策　　・再生可能エネルギー設備の導入の促進

・市独自支援制度の確立

・森林整備推進による CO2 の吸収促進

・次世代を担う児童、生徒を対象とした環境教育の充実

⑤アクションプランの方向性　　持続可能な開発目標(SDGs)国際目標に沿った取組の展開。

（17 ゴール・169 のターゲットの内）

国　第五次計画　「環境基本計画」平成 30 年 4 月～

（経過）第一次計画　「環境基本計画」平成 6 年 12 月、第二次計画　「環境基本計画－環境の世紀への道しるべ－」平成 12 年 12 月、第三次計画　「環境基本計画－環境から拓く新たなゆたかさへの道－」平成 18 年 4 月、第四次計画　「環境基本計画」平成 24 年 4 月

温室効果ガスの削減目標

2030 年度 26%削減　2013 年度比（2005 年度比 25.4%減）を中期目標として掲げている。

2020 年 10 月には、菅内閣総理大臣が、所信表明演説の中で「2050 年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち 2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すこと」を宣言される。

重点戦略として次の 6 項目を設定

⑴　持続可能な生産と消費を実現するグリーンな経済システムの構築【経済】
⑵　国土のストックとしての価値の向上【国土】
⑶　地域資源を活用した持続可能な地域づくり【地域】
⑷　健康で心豊かな暮らしの実現【暮らし】
⑸　持続可能性を支える技術の開発・普及【技術】
⑹　国際貢献による我が国のリーダーシップの発揮と戦略的パートナーシップの構築【国際】

上記重点戦略中「⑷ 健康で心豊かな暮らしの実現」は、本市の環境課題と関連が多く有ると考えられる。

キーワード　・持続可能なライフスタイルと消費への転換
・食品ロスの削減
・低炭素で健康な住まい
・徒歩・自転車移動等による健康寿命の延伸
・テレワークなどの働き方改革等の推進
・「新・湯治」等による健康寿命の延伸
・ペットの適正飼養推進による生活の質の向上
・自然体験活動、農山漁村体験等の推進
・森・里・川・海の管理に貢献する地方移住、二地域居住等の促進
・新たな木材需要の創出及び消費者等の理解に醸成
・健康で豊かな水環境の維持・回復
・良好な大気環境の確保
・廃棄物の適正処理の推進
・化学物質のライフサイクル全体での包括的管理
・マイクロプラスチックを含む海洋ごみ対策の推進
・快適な感覚環境の創出
・ヒートアイランド対策

大阪府　「2030 大阪府環境総合計画」　～いのち輝く SDGs 未来都市・大阪をめざして～
2021 年 3 月策定
2050 年度のめざすべき将来像を見通し、2021 年度から 2030 年度までの 10 年間
（経過）旧計画　「大阪 21 世紀の新環境総合計画」平成 23 年 3 月
2020 年度までの 10 年間（将来像 2025 年度）
「大阪 21 世紀の環境総合計画」平成 14 年 3 月
長期目標を 2025 年度と設定　中期的目標期間を 2010 年度平成 22 年度

温室効果ガスの削減目標
2030 年度の府域の温室効果ガス排出量を 2013 年度比で 40%削減を掲げている。
大阪府地球温暖化対策実行計画（区域施策編）　2021 年 3 月策定より

目指すべき将来の姿（長期的視点）
・脱炭素・省エネルギー
○　脱炭素社会の将来像を見通しつつ、SDGs 実現に向けて温暖化対策（緩和策・適応策）が加速している。
○　気候危機※であるという意識や脱炭素化に向けた意識が社会で共有され、あらゆる主体がその意識のもと行動している。
○　再生可能エネルギー由来の電気など CO2 排出が少ないエネルギーの選択等が拡大している。
・資源循環型社会
○　サーキュラーエコノミーへの移行を見据え、少ない資源で必要な物が生産されるとともに３R の取組みが一層進み、廃棄物はほぼ全量が再生素材やエネルギーとして使用され、最終処分量が必要最小限となっている。
○　府民誰もが食品ロス削減のための具体的な行動をとっている。
○　海洋プラスチックごみの削減に向けて、使い捨てプラスチックの削減・適正処理、プラスチック代替素材（紙、バイオプラスチック等）への切替等が一層進み、大阪湾へ流れ込むプラスチックごみが減っている。
・全てのいのちの共生
○　生物多様性の保全や自然資本の持続可能な利用の機運が醸成され、多様な主体が連携し、府域の自然環境の保全及び回復活動が進んでいる。
○　府民、事業者、民間団体などあらゆる主体が生物多様性の重要性を理解し、日常生活の中でも自然環境に配慮した行動をしている。
○　希少な野生生物について生息状況のモニタリングが進むとともに、関係者が連携して特定外来生物の防除対策が進んでいる。
・健康で安心な暮らし
○　澄みわたる空や澄んだ川、豊かな海や里山がある大阪が実現している。
○　環境リスクが最小化され、良好で安心して暮らせる生活環境が確保されている。

○　環境に関するリスクコミュニケーションの普及により、府民、事業者、行政機関等が信頼しあい安心できる暮らしが確立されている。

・魅力と活力ある快適な地域づくり

○　府民、事業者、民間団体、行政など各主体が積極的に参加し、自ら行動する社会となっている。

○　みどりが多く、豊かな水辺や歴史・文化が活かされ、多様な働き方が普及するともに、安全・安心で持続可能な「暮らしやすい」「働きやすい」「訪れたくなる」都市となっている。

○　ヒートアイランド現象が緩和されるなど、快適な生活環境が確保されている。

目標 6.　すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。

ターゲット 6.6　2030 年までに、山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う。

目標 7.　すべての人々の安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。

ターゲット 7.2　2030 年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。

目標 11.　法節的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。

ターゲット 11.6　2030 年までに、大気の気質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。

目標 12.　持続可能な生産消費形態を確保する。

ターゲット 12.2　2030 年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。

ターゲット 12.3　2030 年までに小売り・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。

ターゲット 12.4　2020 年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。

ターゲット 12.5　2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、破棄物の発生を大幅に削減する。

ターゲット 12.7　国内の政策や優先事項に従って持続可能な公共調達の慣行を促進する。

目標 13.　気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。

ターゲット 13.2　気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。

ターゲット 13.3　気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人間能力及び制度機能を改善する。　　等

＜暮らしの夢から“かたのサイズ”をめざす像までの流れ＞

暮らしの夢

6. 身近な緑を愛し、守り、育て、自然との共生を楽しむ暮らし

僕は、お父さんやおじいさんによく釣りに連れて行ってもらった。中学生になってからはクラブで忙しくて、あまり行かなくなったが、それでも時々、自転車で田んぼの中を走ってリフレッシュする。
夏休みに小学生のキャンプのお手伝い募集があった。「釣りが好きな中学生」と書いてあったので、思わず申し込んだ。キャンプの前に川掃除の日があったり、小学生に釣りを教えるのは大変だったけど、久しぶりに楽しい一日だった。

（中学生）

私は、小さい頃祖父に交野の山や川に連れていってもらい、カブトムシとりや魚つりをしていた。
社会人になって久しぶりに「交野自然体験プログラム」に参加した。
以来、時々休みを利用して、農業や里山管理、地元の食材キャンプなどのお手伝いしている。ここで実践をつむと、交野環境マイスターに登録することができる。
趣味が地域のためになっていると思うと、ついつい本気になってしまう。

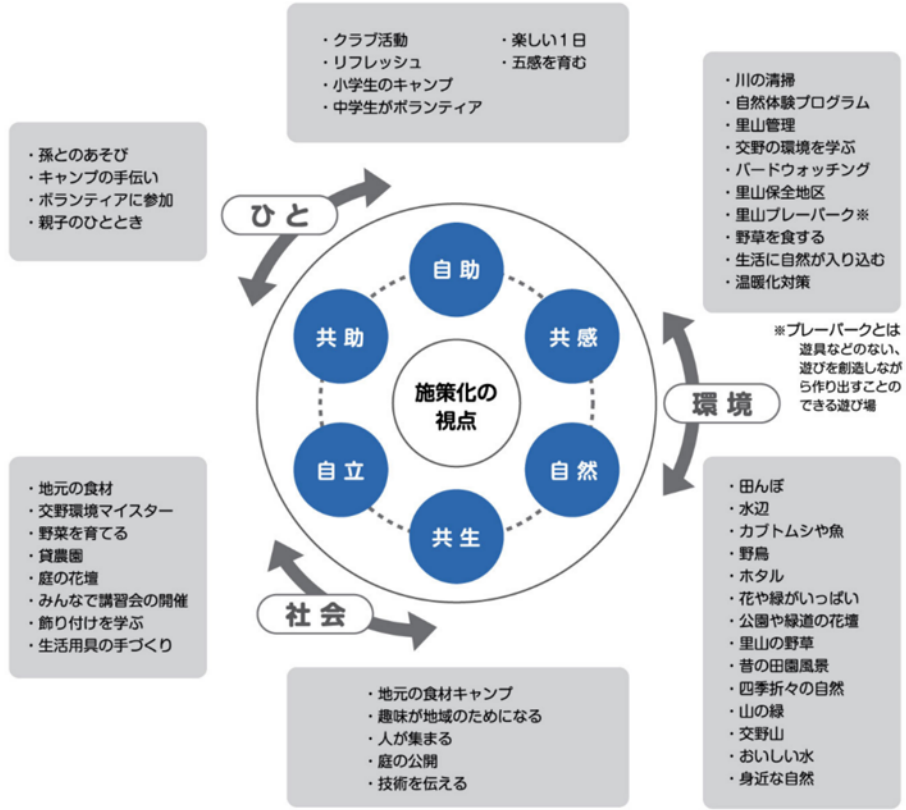
（30歳代男性）

私は、家の近くで貸し農園を借りて野菜を育て、ボランティアとして、天野川の清掃活動や星田山の間伐などに参加している。その成果もあって、ハイキングをしてもとても気持ちが良く、バードウォッチングやホタルの乱舞も楽しめる。
里山保全地区に里山プレーパークをみんなでつくった。昔をなつかしむ人があつまればよいと思っていたが、最近は親子で参加したいという人も増え、体験プログラムを実施している。

（高齢者）

地域の花好きの人が集まって、各家の庭だけでなく、公園や緑道で花壇づくりをしている。みんなで講習会を開催して、美しいディスプレイの方法も勉強している。
最近は、交野の里山にある野草を育てて増やし、それを食する活動や昔の田園風景を再現してみようという学習会にも参加している。里山管理のお手伝いをしてクズカゴづくりを教えてもらった。
生活の中に、少しずつ交野の自然が入り込んできた。ヒートアイランド対策にも役立つようだ。

（緑が好きな方）



パターン化

No.	“かたのサイズ”をめざす像
9	五感を大切にして、情緒豊かな時間を味わっている
26	いつでも身近なところで学びや活動、体験ができる
44	農園で、土にふれ、野菜づくりを楽しんでいる
45	まち中の身近な空間で、うるおいづくりに取り組んでいる
46	毎日の暮らしの中に、自然の恩恵を感じている
47	川や池など水辺環境がきれいで、潤いがある
48	道路や公園など生活環境がきれいに保たれている
49	里山の植生が豊かで大切な憩いの場となっている
50	自然の中では多様な生き物と触れ合うことができる
51	山も里も四季折々の景観が楽しめ風情を感じる

＜暮らしの夢から“かたのサイズ”をめざす像までの流れ＞

暮らしの夢

9. 地球環境に思いをはせ、我がまちは我が手で守る暮らし

私の学校では、5年生になると植樹と散策路整備、施設の花壇づくりの活動をする。花壇には給食センターででる生ごみでつくった堆肥を利用する。散策路から持って帰ってきた枯れ枝は、学校の地域交流スペースにある暖炉の燃料にする。活動は楽ではないけど、山もまちもきれいになると同時に、省エネにもなるということを知った。
家でもできることをお母さんと一緒にやっている。

（小学5年生）

私は、今年、やっと自分の家を建てることができた。環境負荷を少なくするための工夫をいろいろといれてもらった。
自家発電もその一つだが、夏場に風をうまく取り入れる間取りにはかなり満足している。緑化にも気を配った。
わが家ででる生ゴミを堆肥にして花や野菜を育てている。

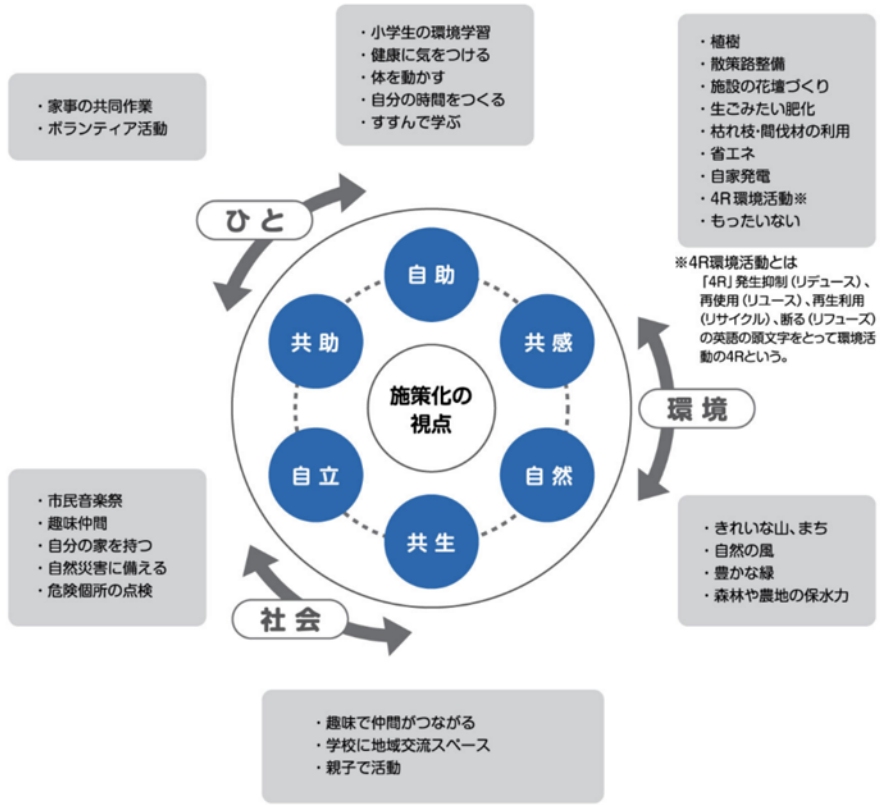
（40歳代女性）

私は、普段、家事を妻にまかせているので、せめてごみになるものを買わない、食べ残しはしない、電気はこまめに消す、などに気をつけている。
駅までは、歩くことにして、メタボにならないようにも心がけている。

（ビジネスマン）

会社を退職して時間ができたので、環境についての勉強を本格的に始めた。それとともに、ボランティアで清掃をしたり、里山の整備をする活動に参加するようになった。
清掃除は大雨の際のオーバーフローを防ぐ。里山管理は、森林の保水力を高め、ヒートアイランドの緩和につながる。危険箇所の定期点検の役にもなっている。

（退職した方）



パターン化

No.	“かたのサイズ”をめざす像
7	マナーを守り、周りに迷惑になることをしないよう心がけている
10	ボランティアや地域活動などに参加して、やりがいがある
45	まち中の身近な空間で、うるおいづくりに取り組んでいる
51	山も里も四季折々の景観が楽しめ風情を感じる
64	公害のない心地よく住める環境を守っている
65	地球の温暖化に気を配り環境にやさしい配慮をしている
66	災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている
67	火災や事故、犯罪が少なく安心である
68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている

"かたのサイズ"をめざす像

☆：推進‥自ら主体的に取り組む
○：協働‥目的を共有し担い合う
△：支援‥他者の実践を支援する

様々な活動の目的、成果指標として活用します。

No.	"かたのサイズ"をめざす像	活動の担い手（例）				
		市民	地域	団体	事業者	行政
1	家族や友だちが近くで暮らしていて、互いに心強い	☆			△	○
2	体の中から健康でいたいので、食を大切にしている	☆			☆	△
3	スポーツを通して、仲間意識を育み感動を分かち合っている	☆		○		△
4	運動を心がけ、健康が維持できるよう体力を養っている	☆	△	△	△	△
5	働くことと、家族や人生などとのバランスを大切にしている	☆			△	△
6	趣味や生きがいをもち日々楽しく心が充実している	☆	△	△	△	△
7	マナーを守り、周りに迷惑になることをしないよう心がけている	☆	○	○	○	△
8	地域がふれあいに満ちていて笑顔が自然とわいてくる	○	☆	△		△
9	五感を大切にして、情緒豊かな時間を味わっている	☆	△	△		△
10	ボランティアや地域活動などに参加して、やりがいがある	☆	○	○	△	△
11	困難を抱えている人をみんなで支えあっている	○	○	○	○	○
12	安心して子どもを生み育てることができる	○	○	○	○	○
13	住み慣れた家で暮らし続けることができる	☆	△	△	△	△
14	福祉施設や専門の支援によって、暮らしが支えられている	○	△	△	☆	☆
15	ご近所と日ごろから「お互い様」と思いやるつながりがある	☆	☆	△		△
16	病気にならないよう予防や衛生環境に気をつけている	☆	△		△	△
17	かかりつけのお医者さんなど身近な医療機関があり、安心できる	○			☆	△
18	子どもたちの未来に明るい希望がある	○	○	○	○	○
19	困ったとき何でも気軽に相談できるところがある	○	○	○	○	○
20	子どもたちが、しっかりとした基礎学力を身につけている	○				☆
21	様々な人の経験や技が、子どもたちの興味、関心を呼び起こしている	○	○	○	○	○
22	活動や資格取得など目的に合わせて多様な学びの場がある	○	△	△	△	○
23	地域や学校、家庭が協力して、子どもの健やかな成長を支えている	○	○	△	△	○
24	まちなかに元気な子どもたちの笑顔があふれている	○	○	△	△	○
25	自ら興味や問題意識を持ってすすんで学んでいる	☆	△	△	△	△
26	いつでも身近なところで学びや活動、体験ができる	○	○	○	△	○
27	いろんな世代の人同士が交流し、楽しく刺激しあっている	○	☆	☆		△
28	外国の人や異なる文化と交流し、理解と友好を深めている	○	△	☆		△
29	一人ひとりの違いをお互いに尊重しあい、差別なく暮らしている	○	○	○	○	○
30	いろんな活動をしている人が分野を超えて情報交換できる	○	○	☆	○	△
31	これまでに培った知識や経験が人の役にたっている	☆	△	△	△	△
32	遠くから多くの人が訪れてきて、出会いや交流がある	○	○	☆	○	○
33	暴力や虐待のない、思いやりのある暮らしをしている	○	○	○		○
34	新たな物語や話題などが、まちを舞台にして生まれている	○	○	○	○	○
35	まちの魅力が一層かがやくように、効果的に情報発信している	○	○	○	○	○
36	人それぞれにまちの魅力を語り口コミでどんどん広がっている	☆	△	△	△	△
37	歴史や文化財に触れてまちの魅力を再確認している	☆	○	○	○	△
38	まちをいろんな角度から学び、体験することができる	☆	○	○	△	△
39	地域ごとに豊かな個性があり、地元に愛着を持っている	○	☆	○	△	△
40	まちのあるものを探して、磨いて、魅力を生み出している	○	○	○	○	○
41	まち中に、心地よいおもてなしのしつらえや雰囲気がある	○	○	○	○	○

※これらの担い手や施策分野は、活用するときの参考とするための例示であって、基本構想として確定的に示しているものではありません。

No.	関連する主な施策分野（例）																
	平和人権	防災安全	福祉	子育て	生活環境	保健医療	教育	生涯学習	歴史文化	環境共生	都市計画	都市基盤	経済活動	都市魅力	情報広報	協働支援	行政経営
1											●		●	●			
2						●	●	●					●				
3						●		●									
4						●		●									
5				●	●			●					●				
6								●									
7	●				●		●			●	●						
8			●					●						●		●	
9					●		●	●									
10			●						●								
11	●		●	●		●							●				
12	●	●	●	●	●	●	●	●		●			●		●	●	
13			●	●							●						
14			●	●													
15					●											●	
16						●				●							
17				●		●											
18	●	●		●			●	●		●			●	●			
19	●		●	●	●	●	●								●		●
20							●	●									
21							●	●							●		
22								●	●				●		●	●	
23	●		●	●	●	●	●	●								●	
24				●			●	●						●			
25							●	●									
26								●								●	
27			●	●				●							●	●	
28	●						●	●	●					●			
29	●		●				●									●	
30													●		●	●	
31							●	●							●	●	
32	●												●	●	●		
33	●	●	●	●	●												
34									●					●	●		
35														●	●		
36														●	●		
37								●	●					●	●		
38							●	●						●			
39														●	●	●	
40									●	●	●			●		●	
41					●				●	●	●			●	●		

"かたのサイズ"をめざす像

☆：推進‥自ら主体的に取り組む
○：協働‥目的を共有し担い合う
△：支援‥他者の実践を支援する

様々な活動の目的、成果指標として活用します。

No.	"かたのサイズ"をめざす像	活動の担い手（例）				
		市民	地域	団体	事業者	行政
42	案内や散策ルートが多彩で、気軽にまち歩きが楽しめる	○	○	○	○	○
43	一年を通じてイベントがあり、それがつながりあっていて面白い	△	○	○	○	○
44	農園で、土にふれ、野菜づくりを楽しんでいる	○			○	○
45	まち中の身近な空間で、うるおいづくりに取り組んでいる	○	○	○	○	○
46	毎日の暮らしの中に、自然の恩恵を感じている	○	△	△	△	○
47	川や池など水辺環境がきれいで、潤いがある	○	○	○	△	○
48	道路や公園など生活環境がきれいに保たれている	○	○	○	○	○
49	里山の植生が豊かで大切な憩いの場となっている	○	△	○	△	○
50	自然の中では多様な生き物と触れ合うことができる	○	○	○	△	○
51	山も里も四季折々の景観が楽しめ風情を感じる	☆	○	○	○	○
52	地元の農産品が身近に売られ、食卓を彩っている	△	△	○	☆	△
53	農とふれあう機会があり、農業が身近に感じられる	☆		○	△	○
54	農業がまちの生業といえるほどに、みんなで支えている	○	○	○	○	○
55	交野ブランドを求めて、人が集まり、まちが潤っている	○	○	○	☆	○
56	もったいないという思いで限りある資源を大切にしている	☆	○	○	☆	☆
57	第二京阪道路の空間が暮らしの憩いの場となっている	○	△	△	△	△
58	第二京阪道路の沿道がまちと調和した新しい景観となっている	○	○	○	○	☆
59	まちなかの空き地や空き家をみんなで有効に活用している	△	○	○	○	○
60	第二京阪道路によってまちが活性化して潤っている	○	○	○	☆	☆
61	交通が便利で、どこへでも気軽に出かけている	○			☆	☆
62	安心して歩くことができる環境がある	○	○	○	○	☆
63	いろんなところで気軽に立ち話や道草が楽しめる	○	△	△	△	△
64	公害のない心地よく住める環境を守っている	△	△	△	☆	☆
65	地球の温暖化に気を配り環境にやさしい配慮をしている	☆	○	○	○	☆
66	災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている	○	○		○	☆
67	火災や事故、犯罪が少なく安心である	○	☆	○	○	☆
68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている	☆	○	○	○	☆
69	近くに働く場があり、時間にゆとりを持って暮らせる	○			☆	☆
70	まちで営まれている事業を、みんなで盛り上げている	△	△	△	☆	△
71	いろんな人が知恵を出し合って、新しいことが生まれている	○	○	○	☆	○
72	いろんな人や事業、活動がまちの魅力向上に一役買っている	△	△	△	△	○
73	事業をしている人同士が連携し、事業活動を活性化している			○	☆	△
74	暮らしに関する取り組みがビジネスを生み出している	○	○	○	☆	○
75	まちの魅力を一堂に集め、発信して、共感を呼んでいる	○	○	○	☆	○
76	市民も事業者も市の職員も、みんなで楽しく汗をかいている	○	○	○	○	○
77	暮らしに役立つ情報が、わかりやすく、すぐに手に入る	○	○	○	○	☆
78	気軽に話を聴いたり、したりする場が身近にある	○	○	○	○	○
79	おおいに誇れるおいしい水道水が毎日飲める					☆
80	一人ひとりの悩みや思いがつながってまちの施策になっている	△	○	○	○	☆
81	公共の施設がいろいろな市民の活動に利用されている	○	○	○	○	☆
82	公共の施設の窓口が便利でわかりやすく親切である			○		☆

※これらの担い手や施策分野は、活用するときの参考とするための例示であって、基本構想として確定的に示しているものではありません。

No.	関連する主な施策分野（例）																
	平和人権	防災安全	福祉	子育て	生活環境	保健医療	教育	生涯学習	歴史文化	環境共生	都市計画	都市基盤	経済活動	都市魅力	情報広報	協働支援	行政経営
42						●			●					●	●	●	
43										●				●	●		
44										●			●				
45										●				●			
46										●				●			
47										●	●	●		●			
48										●		●		●		●	
49										●				●			
50								●		●							
51										●				●			
52					●								●	●			
53								●		●			●				
54													●	●		●	
55													●	●	●		
56					●		●			●			●				
57					●							●					
58					●					●	●					●	
59					●								●			●	
60													●				
61					●							●					
62			●	●	●							●					
63		●			●					●		●					
64					●					●	●						
65					●					●							
66		●	●		●	●									●		●
67		●								●		●					
68										●		●					
69					●								●				
70													●		●	●	
71													●		●	●	
72													●	●		●	
73													●			●	
74													●			●	
75													●	●	●	●	
76													●			●	
77								●							●		
78								●							●	●	
79										●		●					
80															●		●
81								●							●	●	●
82					●											●	●

次第６　施策の検討「エネルギー」

第3回　環境基本計画策定ワークショップ

Copyright (C) Kino Eco NPO

本日の課題：エネルギー分野の具体的な事業を考える

交野市のエネルギー政策を考えるヒント

1　第2回ワークショップで出したキーワード

2　市民・事業者アンケート結果

3　社会の動き

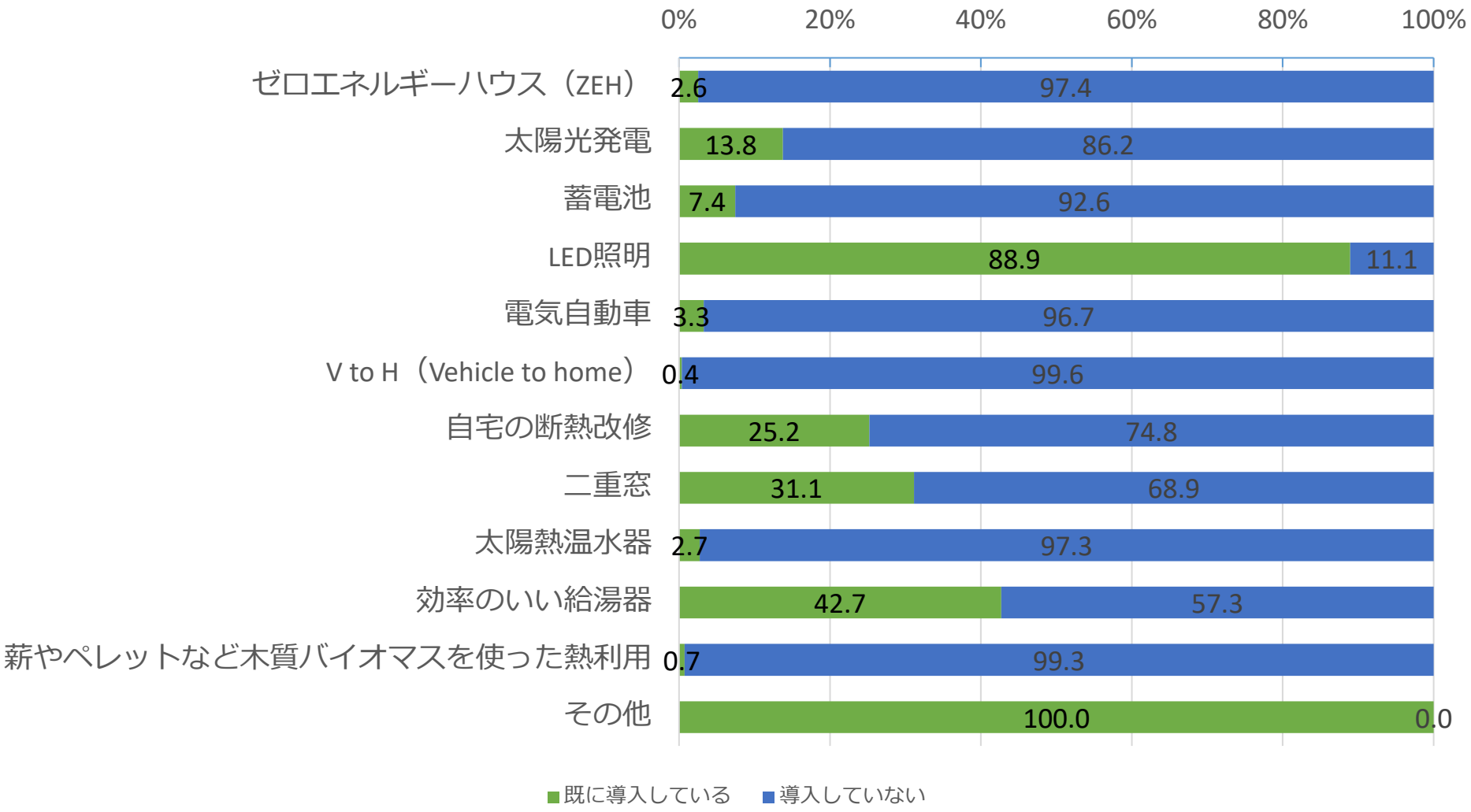
Copyright (C) Kino Eco NPO

第2回ワークショップで出たキーワード（エネルギー分野）

増やすもの	
再生可能エネルギー	ZEH・ZEB、太陽光発電・蓄電池、太陽光発電、蓄電システム（家庭おまかせではなく地域で）、再生可能エネルギー、太陽光発電のためのソーラーパネルの設置（公的施設は全て配置する方向で）、H_2の活用、小水力発電、再生可能エネルギー設置のための補助金、RE100の普及
省エネ	LED、家電の買い換え
交通	バスルートの整備、自転車の利用、公共交通の維持、EV車、電気自動車充電スポット、水素自動車、カーシェアリング、スマートモビリティ、ドローンで自動配送（運輸）、EV車の補助
減らすもの	
化石燃料の使用、ガソリン車・ディーゼル車、宅配便の再配達、残業、24時間営業、環境負荷の高い商品・サービスをあつかう事業者、原子力発電	
その他	
発電所見学、SDGsの浸透、資金面の課題、気温の変化で空調機を利用せずにいられない、電化製品の電気使用料に対するCO_2排出量を一覧化	

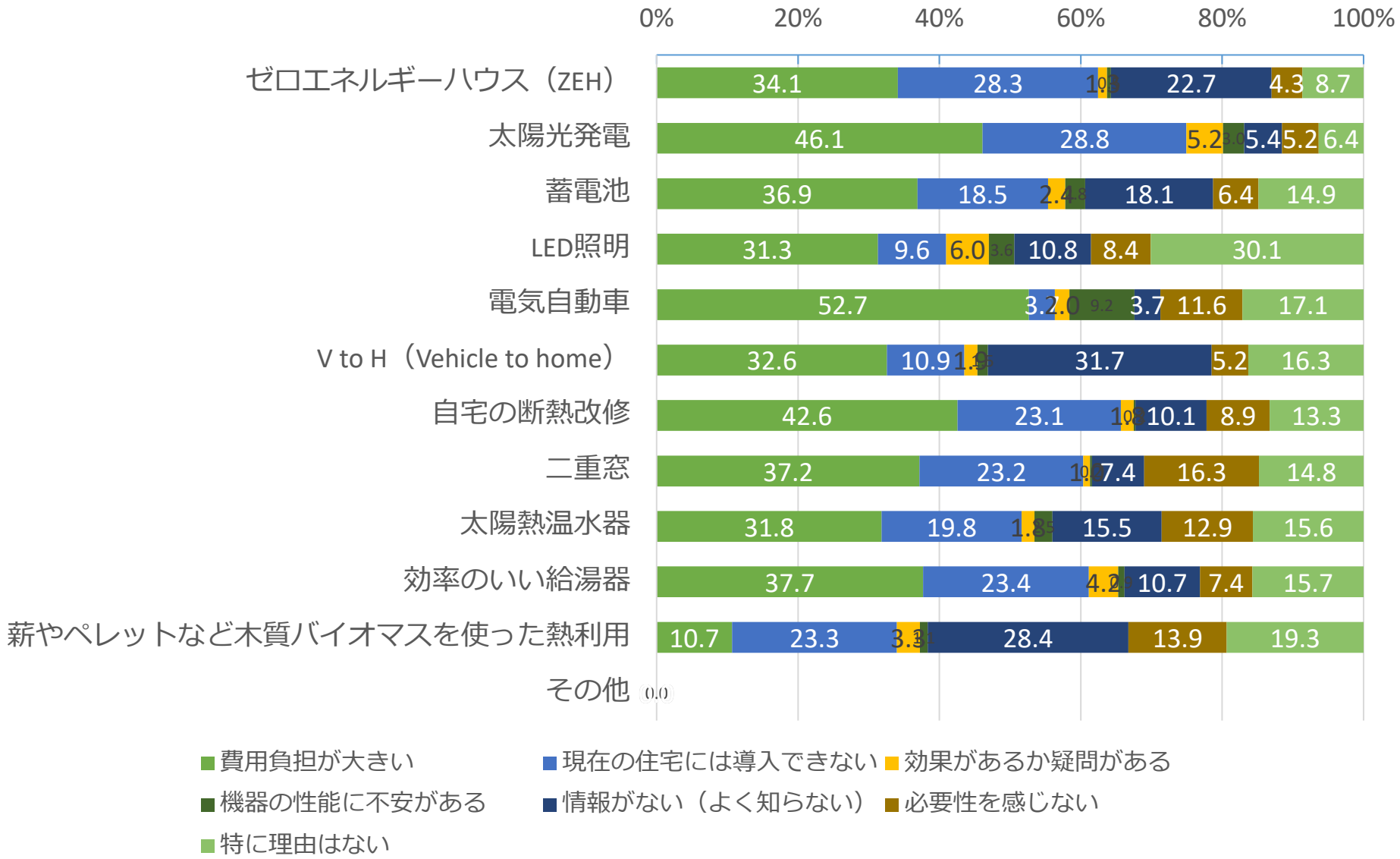
Copyright (C) Kino Eco NPO

市民アンケート：問6　導入している省エネ機器



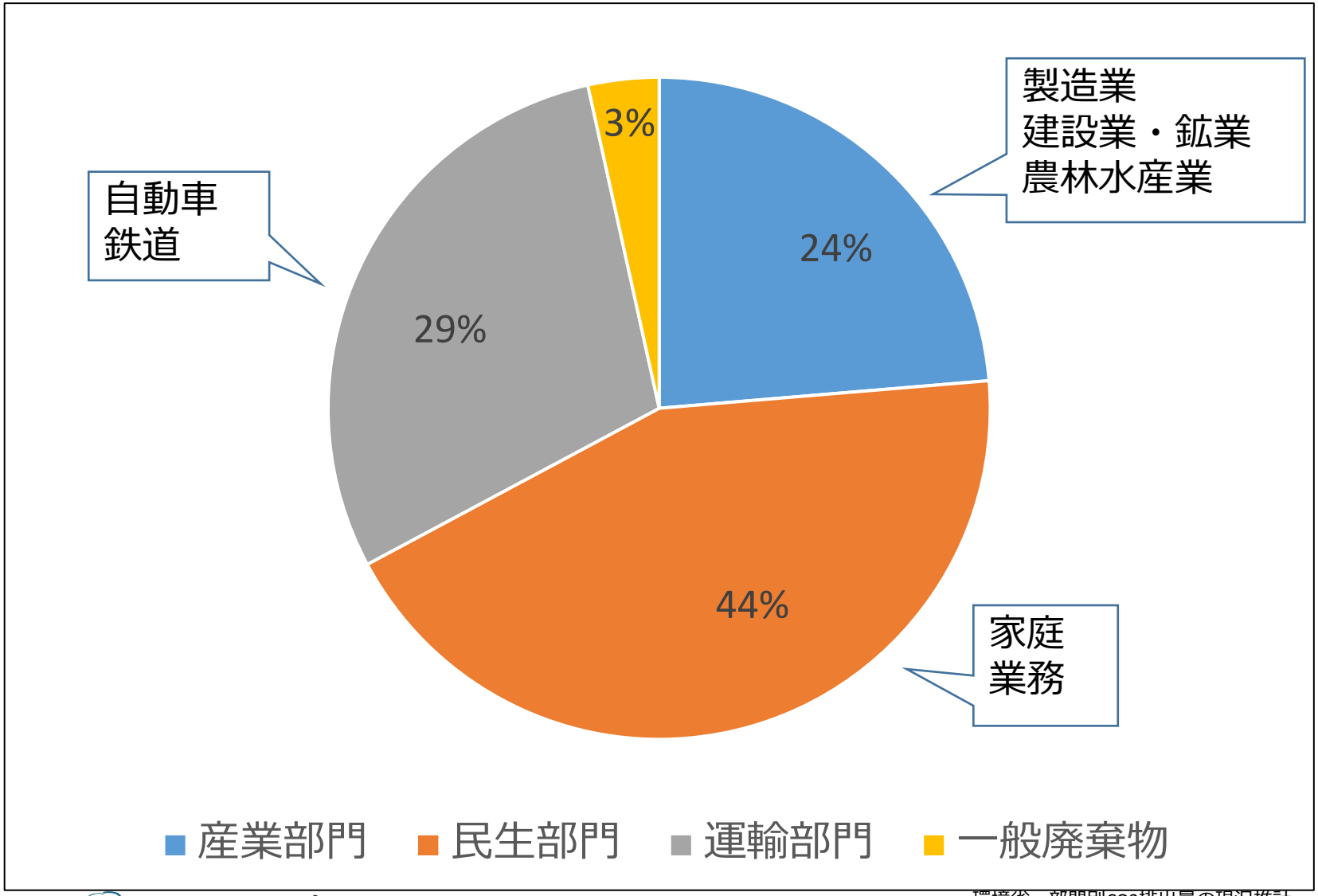
Copyright (C) Kino Eco NPO

市民アンケート：問6　導入していない理由



Copyright (C) Kino Eco NPO

交野市のCO2部門別排出量（2018年度）



環境省　部門別CO2排出量の現況推計

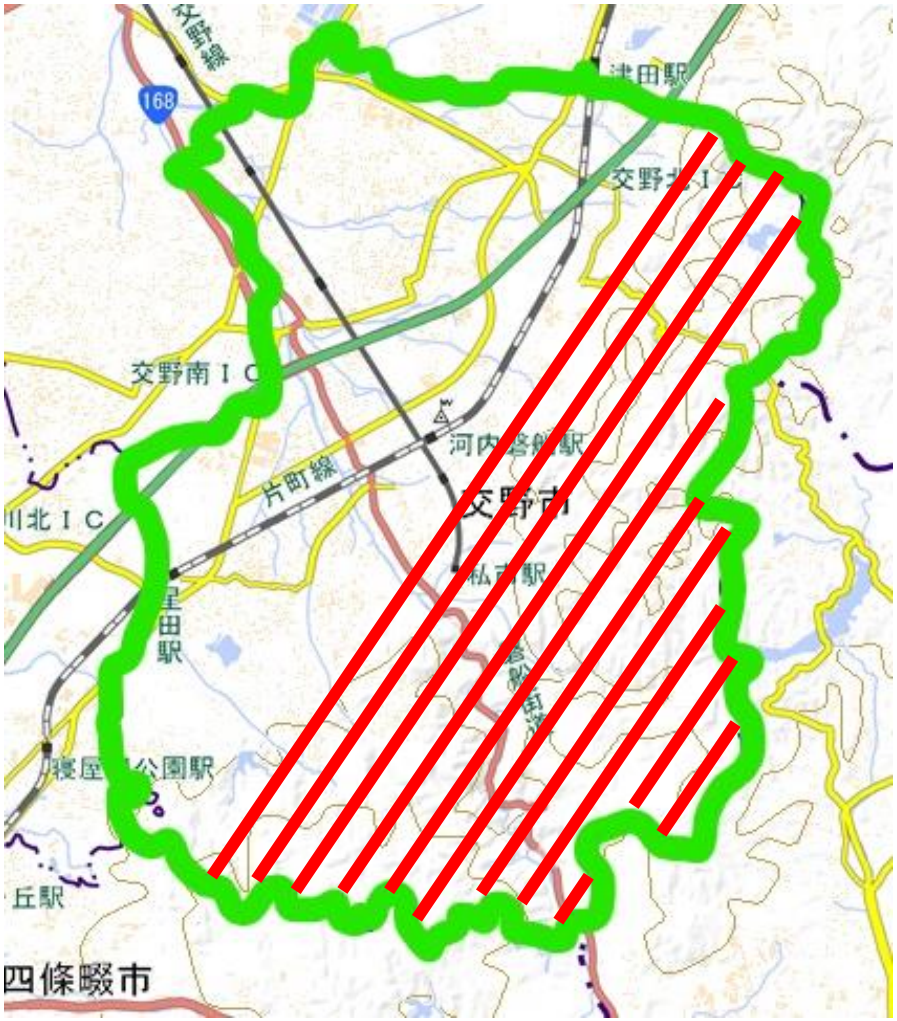
Copyright (C) Kino Eco NPO

交野市のエネルギーを全て太陽光発電でまかなうと・・・

交野市の面積の

約52%

に太陽光パネルを設置
しなければならない



Copyright (C) Kino Eco NPO

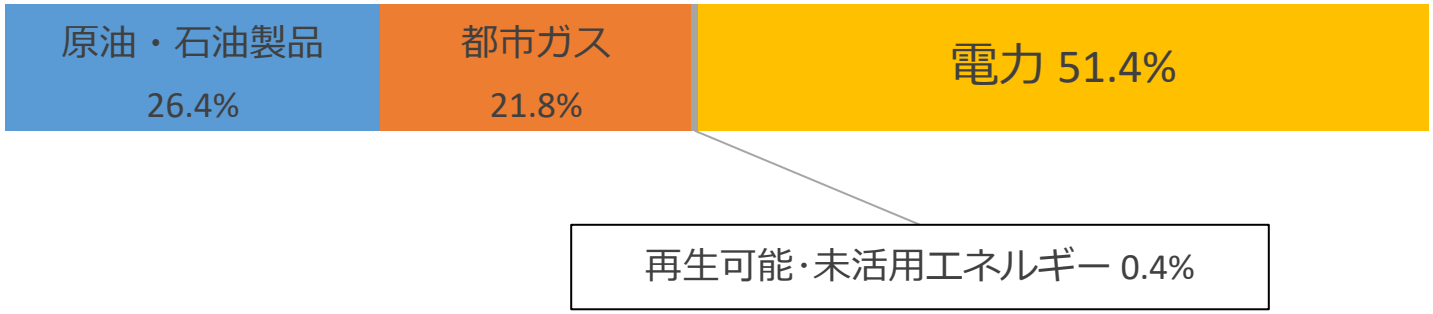
市域の何%に太陽光パネルを設置すればエネルギー需要をまかなえるか

市内の全エネルギー	約52%
市内の全電力	約18%
家庭の全エネルギー	約16%
家庭の全電力	約 8%

もし、市内すべての住居の屋根に太陽光パネルを設置したら・・・

家庭の全エネルギー	約38%
家庭の全電力	約75%

家庭での消費エネルギーの内訳



Copyright (C) Kino Eco NPO

の太陽光発電義務 ×　2030年度時点の発電 総合的には ×　+

news.yahoo.co.jp/articles/2413ffa020786594fa7fb0ae18a2c3a6e2d2faaa

LINE Business ID　掲示板　マップ　Gニュース　Yニュース　Gカレンダー　駅探　家計簿

政府、新築住宅の太陽光発電義務化を検討　2030年「6割」目標

8/10(火) 20:28 配信　38

毎日新聞

屋根に太陽光パネルを設置した戸建て住宅。太陽光発電の主力電源化に向け、産業界だけでなく暮らしの中でも変化を求められている＝横浜市戸塚区で2020年2月5日、武市公孝撮影

政府は10日、新築する戸建て住宅に太陽光発電設備の設置を義務化することを検討する方針を明らかにした。同日の有識者検討会で議論の取りまとめ文書に盛り込まれ、大筋で了承された。戸建て住宅を新築する家庭は建築費用の増加が懸念される一方、有識者からは2050年の温室効果ガス排出実質ゼロ（カーボンニュートラル）の達成に向け、設置の義務化が必要だとする意見が出ていた。

検討会は住宅の太陽光発電推進を担う国土交通省のほか、経済産業省、環境省も参加。4月に議論を開始し、脱炭素社会の実現に向けた住宅や建築物の省エネ施策の進め方を有識者を交えて検討してきた。

10日の検討会で大筋了承された文書では「将来における太陽光発電設備の設置義務化も選択肢の一つとしてあらゆる手段を検討し、その設置促進のための取り組みを進める」と明記した。30年段階で「新築戸建て住宅の6割」に太陽光発電設備が設置されることを

エネルギー分野の動き

未来を考えるヒント

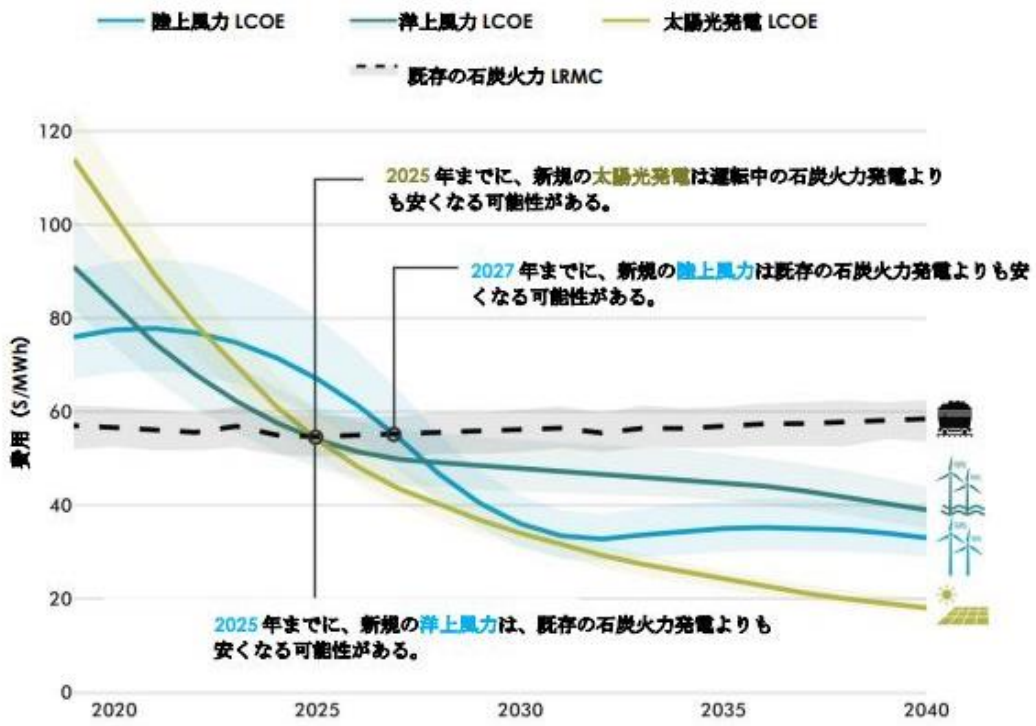
1　社会の動き
1）太陽光発電、風力発電、バッテリーが安くなる
2）二酸化炭素回収・貯留（CCS）
3）バイオマスプラスチック

2　現在進行中の技術
1）ソーラーシェア
2）新電力
3）バーチャルパワープラント（VPP）
4）V2H、V2G
5）第三者所有モデル（PPA）
6）ZEH（ゼロエネルギーハウス）
7）”X”EMS（Home/Building/Factory Energy Management System）
8）バイオガス
9）RE100（再生可能エネルギーを買う）

Copyright (C) Kino Eco NPO

１－１）太陽光発電・風力発電・バッテリーが安くなる

図２　日本における新規の再生可能エネルギーの LCOE と既存の石炭火力の LRMC



Copyright (C) Kino Eco NPO

原発への期待は難しい状況

発電所名	炉型	2020年 稼働年数	2050年 稼働年数
北海道電力（株）	泊（1号）	31	61
	〃（2号）	29	59
	〃（3号）	10	40
東北電力（株）	東通原子力（1号）	14	44
	女川原子力（2号）	25	55
	〃　（3号）	18	48
東京電力ホールディングス（株）	柏崎刈羽原子力（1号）	35	65
	（2号）	30	60
	（3号）	27	57
	（4号）	26	56
	（5号）	30	60
	（6号）	24	54
	（7号）	23	53
北陸電力（株）	志賀原子力（1号）	27	57
	〃　（2号）	14	44
日本原子力発電（株）	東海第二	41	71
	敦賀（2号）	33	63
中部電力（株）	浜岡原子力（3号）	33	63
	〃　（4号）	27	57
	〃　（5号）	15	45
関西電力（株）	美浜（3号）	43	73
	大飯（3号）	28	58
	〃（4号）	27	57
	高浜（1号）	45	75
	〃（2号）	44	74
	〃（3号）※	35	65
	〃（4号）※	35	65
中国電力（株）	島根原子力（2号）	31	61
四国電力（株）	伊方（3号）※	25	55
九州電力（株）	玄海原子力（3号）※	26	56
	〃　（4号）	23	53
	川内原子力（1号）	36	66
	〃（2号）	34	64

建設中・計画中

＜建設中＞

会社名	発電所	着工（工認）	新基準申請
原電開発	大間	2008	2014
東京電力	東通り１	2011	＜工事中断＞
中部電力	島根３	2005	2018

＜計画中＞

会社名	発電所
日本原電	敦賀３
	敦賀４
東北電力	東通２
中国電力	上関１
中国電力	上関２
九州電力	川内３

Copyright (C) Kino Eco NPO

１－２）二酸化炭素回収・貯留　CCS

- 発電所の場合、80～90%回収可能
- 発電コストが30～90%増加
- 実施中のものは産業由来の二酸化炭素
- 炭酸塩などで埋める方法など多数

Copyright (C) Kino Eco NPO

１－３）バイオマスプラスチック

2030年目標：197万トン

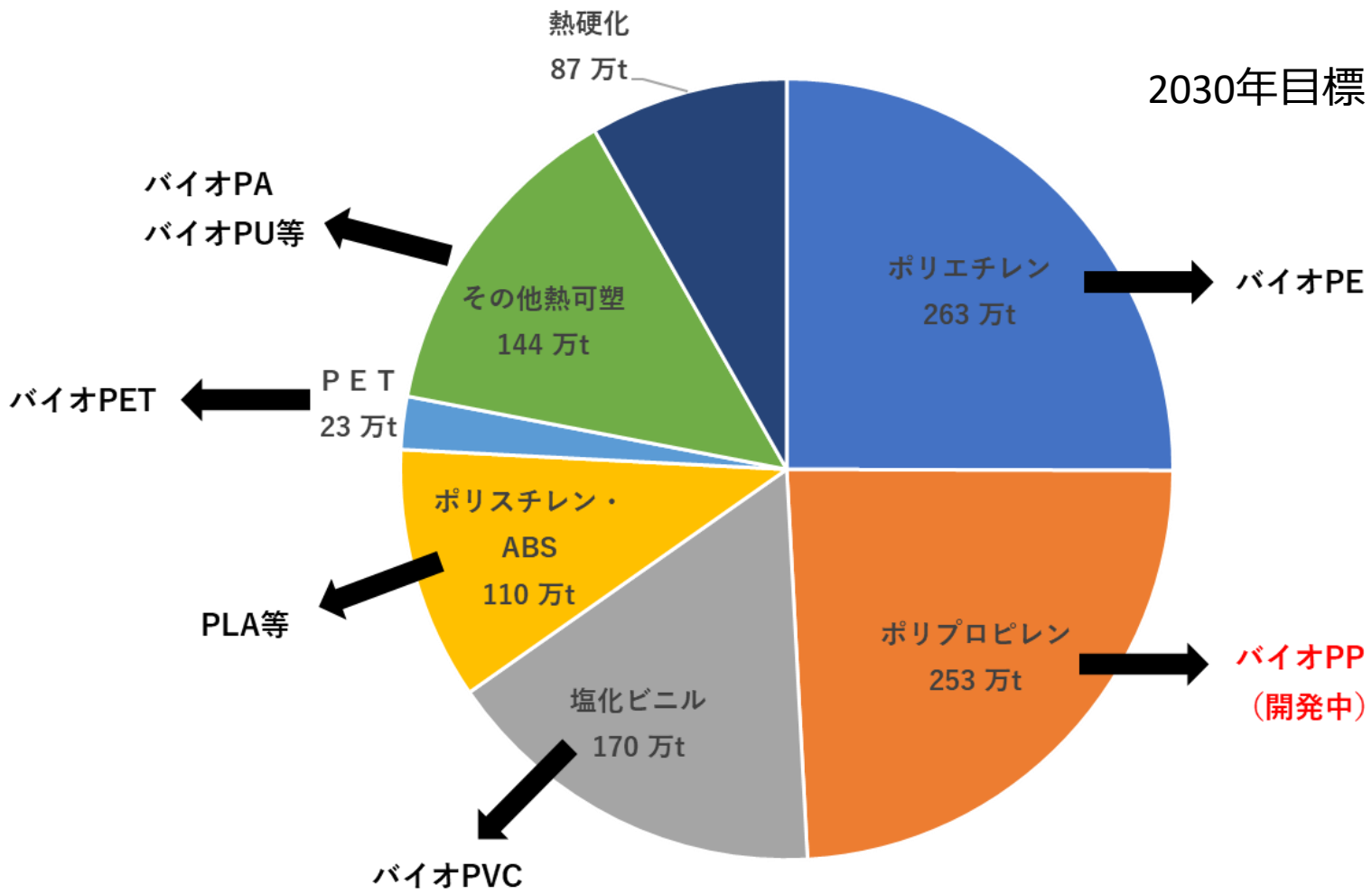


図　国内樹脂生産量（2017年度 1,054万t）
（出所）日本プラスチック工業連盟統計をもとに作成

Copyright (C) Kino Eco NPO

2－1）ソーラーシェア

- 畑や田、温室の上に太陽光パネルを設置
- 農作物と電気を同時に作る

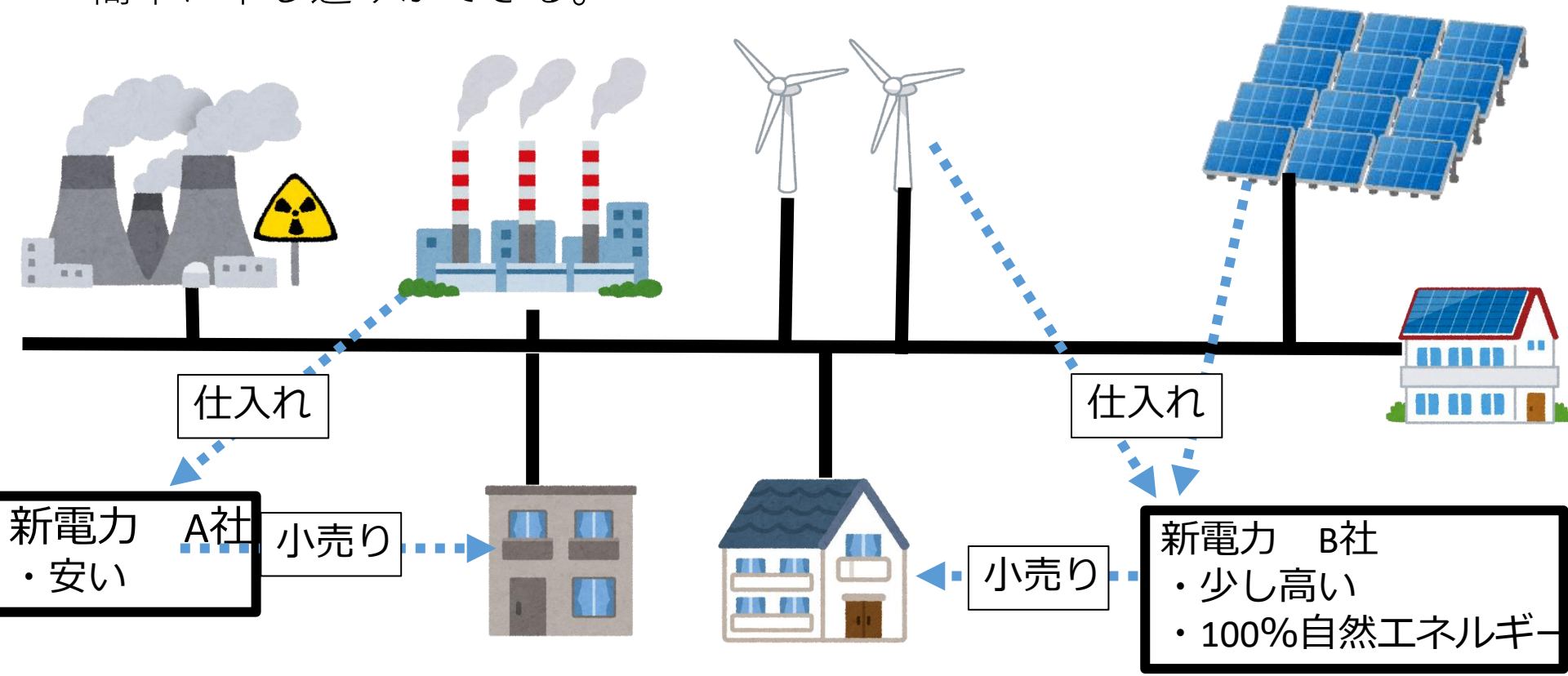
出典：認定NPO法人環境エネルギー政策研究所HPより

Copyright (C) Kino Eco NPO

2－2）新電力

実用化

- 新規の電力会社。既存の電力会社よりも価格や電源（自然エネルギー等）で差別化を図る電力会社もある。
- 既存の電力網を使って送電するため品質は変わらない。
- 簡単に申し込みができる。

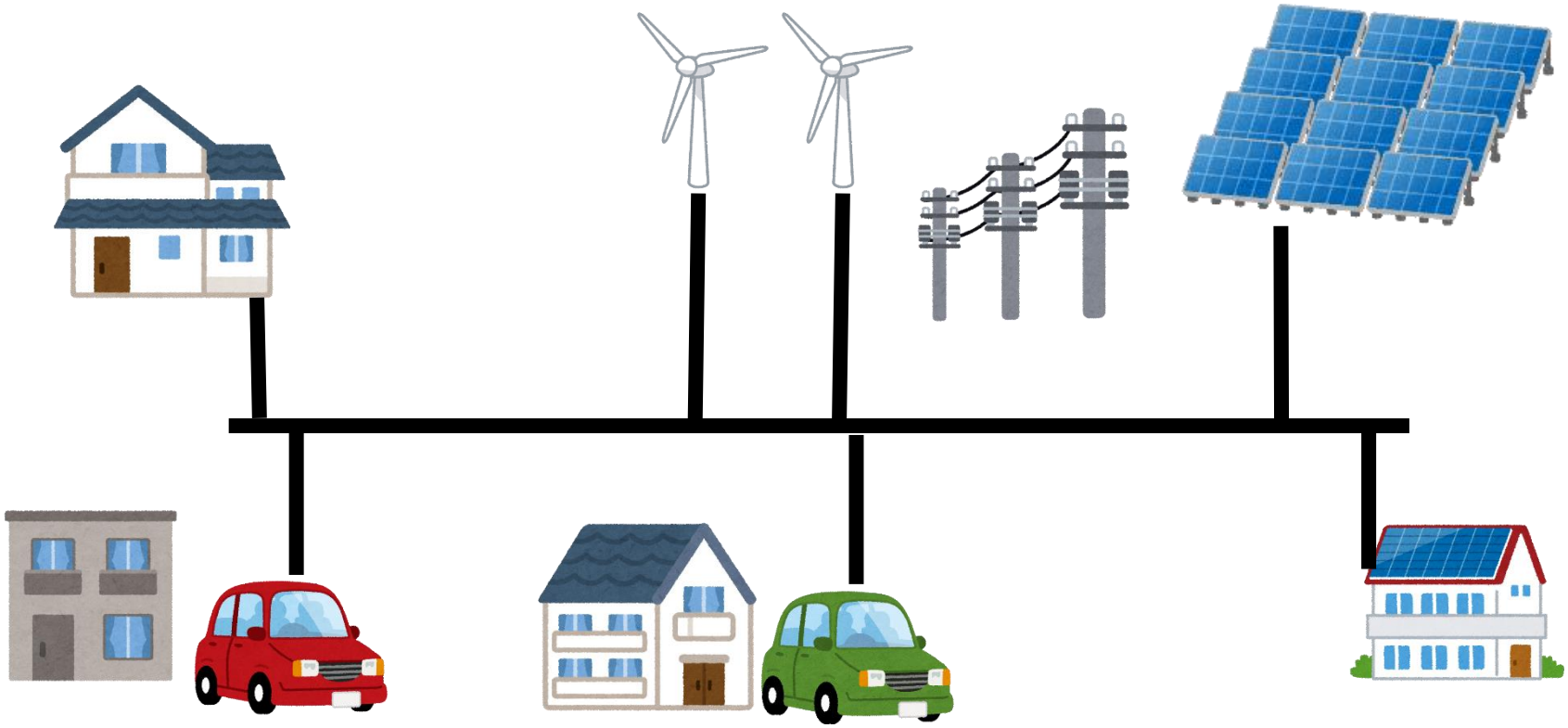


Copyright (C) Kino Eco NPO

2－3）バーチャルパワープラント（VPP）

実証中

- 太陽光の余剰発電分や蓄電池からの放電分など、小さな出力を束ねて、発電所のようにみなし、供給していくこと。

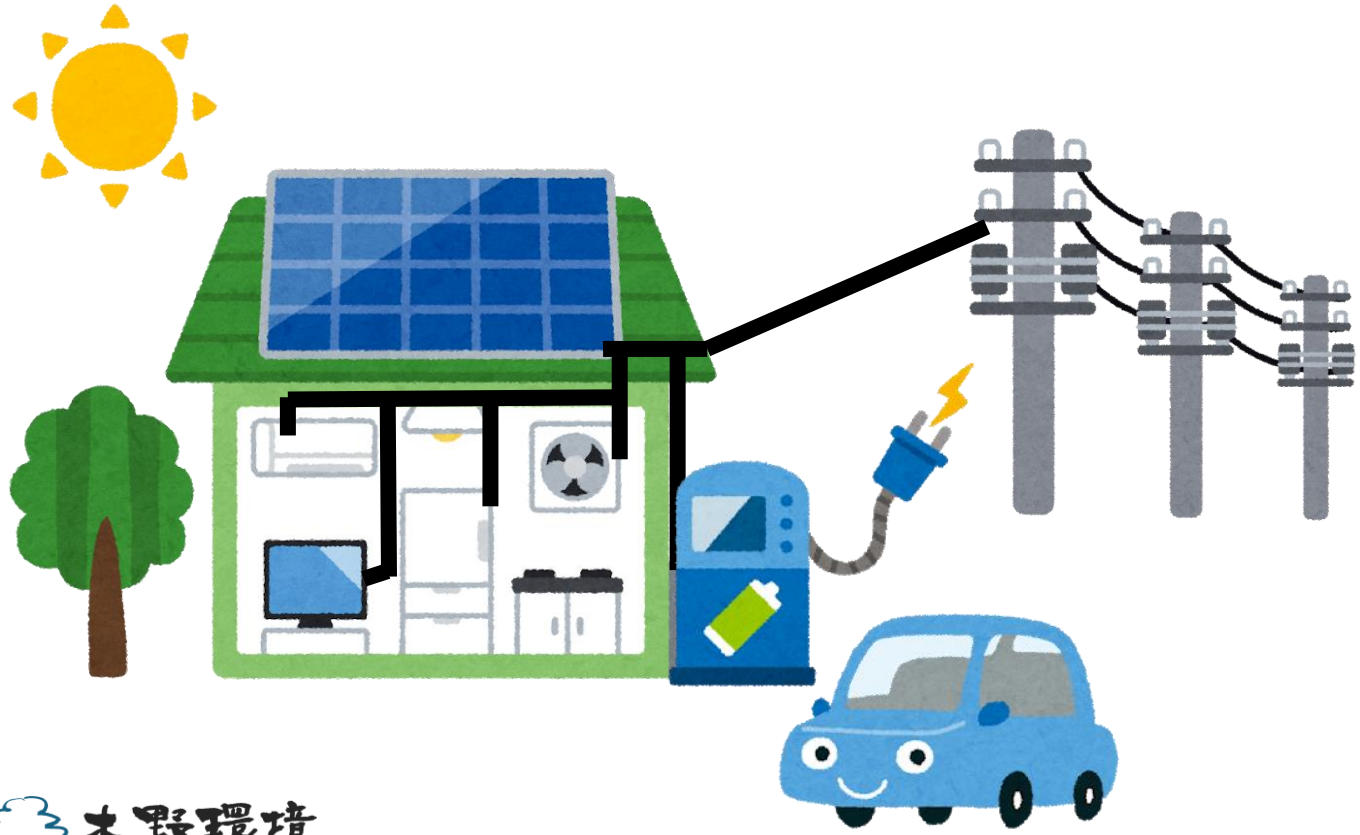


Copyright (C) Kino Eco NPO

2－4）V2H（VtoH/Vehicle to Home)

実用化

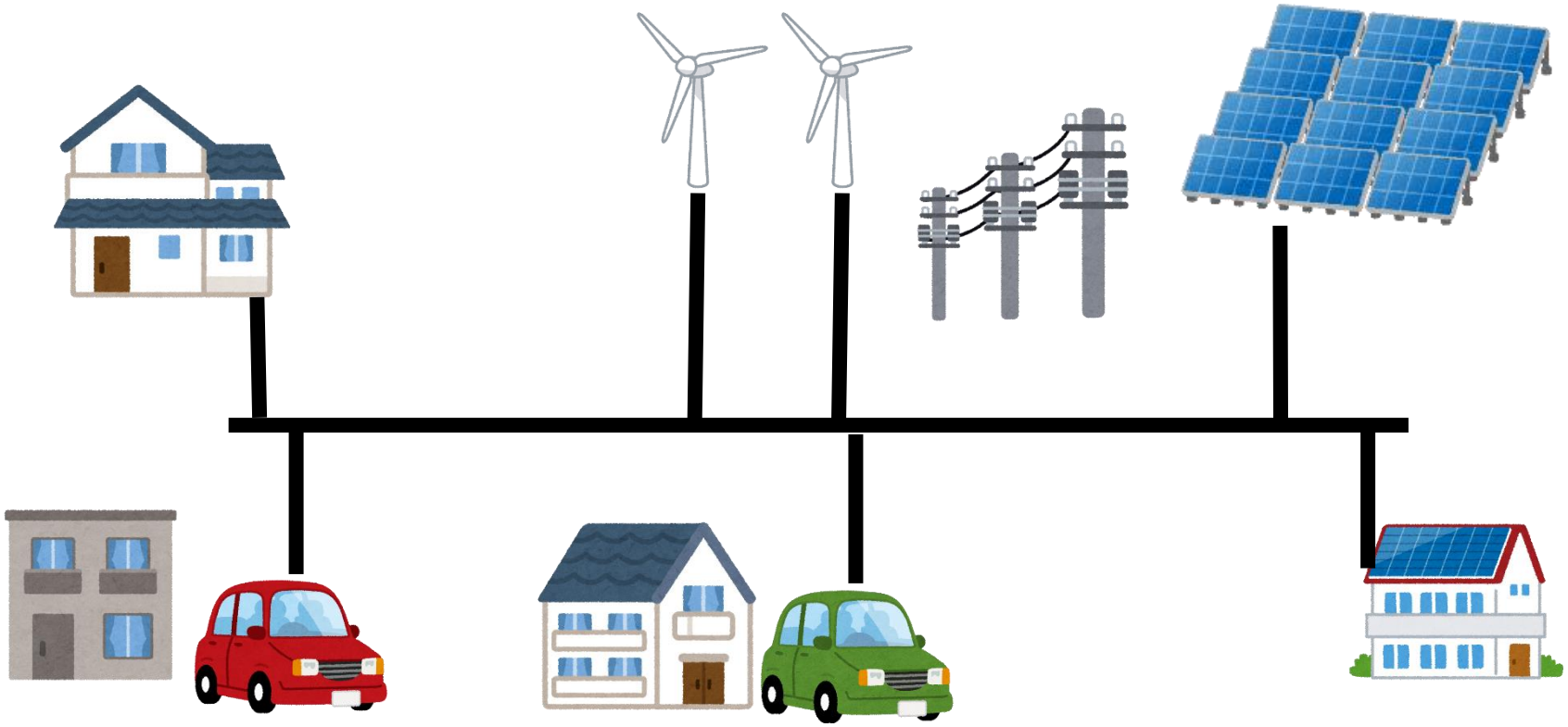
- 電気自動車を蓄電池として活用し、家庭で消費する電力の供給源とする。
- 必要な場合には、電気事業者から給電する。
- 同容量の蓄電池よりも、電気自動車のほうが安く入手できる。



2－4）V2G（VtoG/Vehicle to Grid)

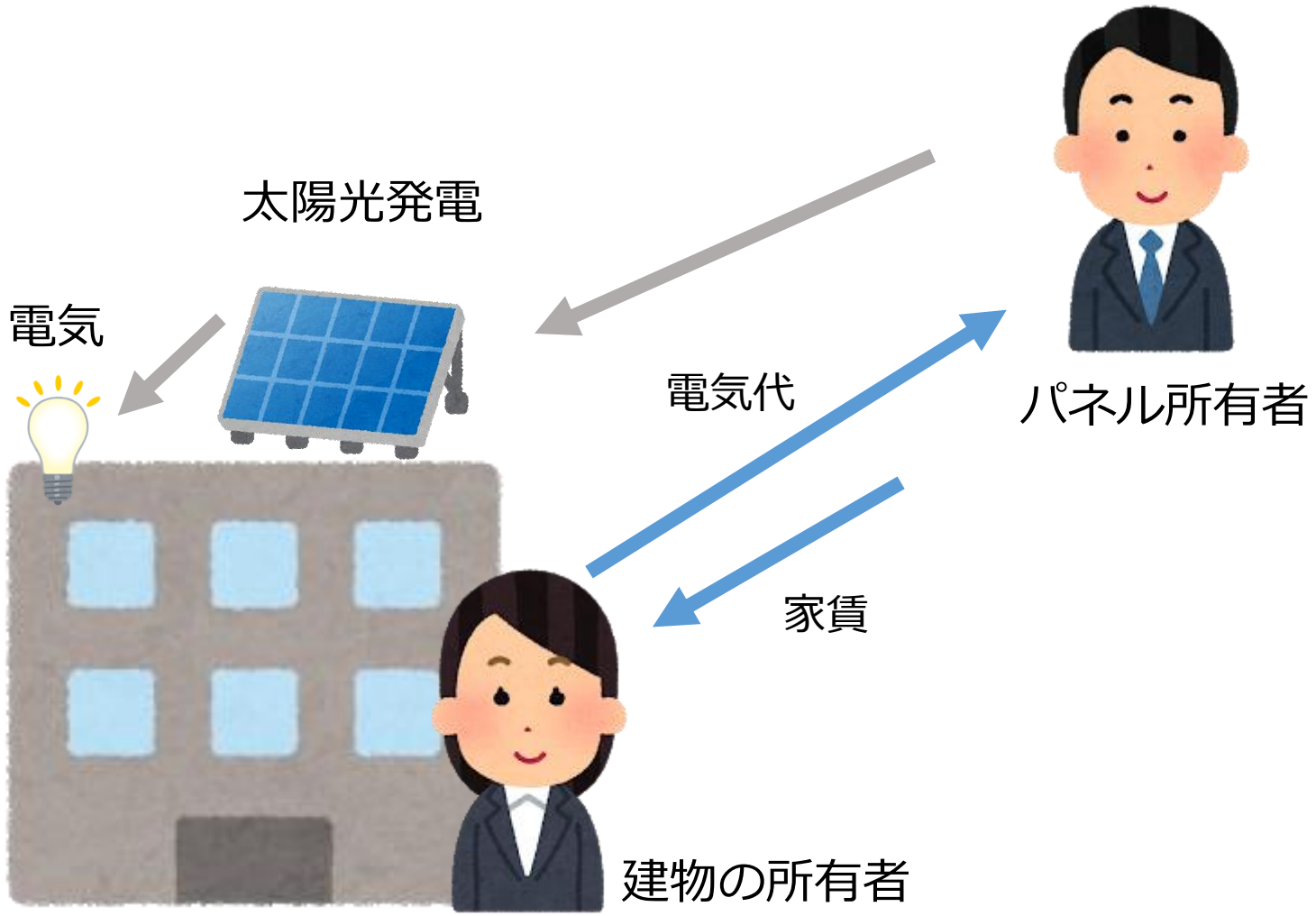
実証中

- 電気自動車に蓄電し地域電力網（グリッド）に供給すること。
- 地域送電網の電圧が安定する。



2－5）第三者所有モデル（PPA）

実用化

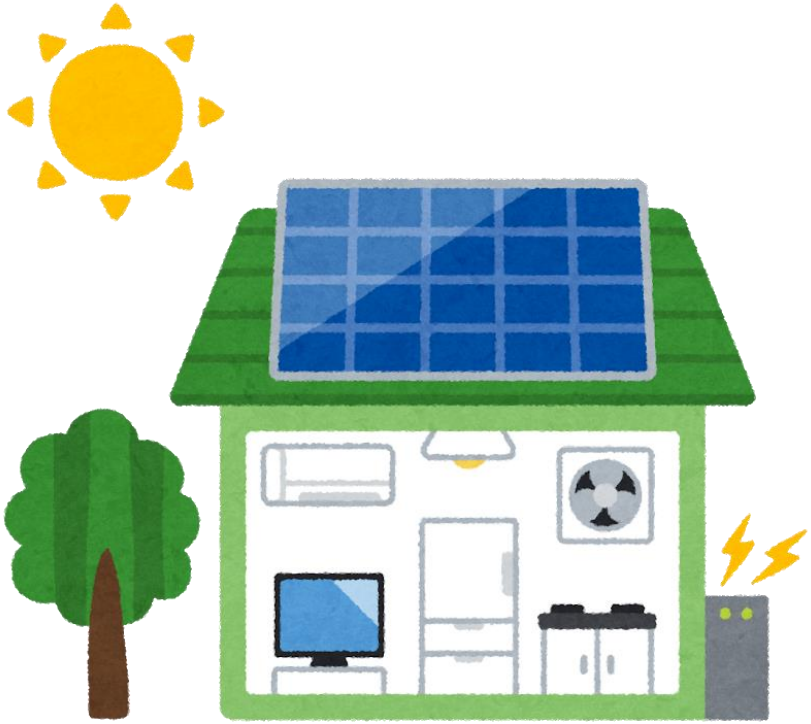


Copyright (C) Kino Eco NPO

2-6)ZEH（Net Zero Energy House/エネルギーゼロ住宅）

実用化

- 高断熱、省エネ技術を導入してエネルギー消費量を大幅削減した上で再エネなどを導入することでエネルギーの収支がゼロとなる住宅のこと。



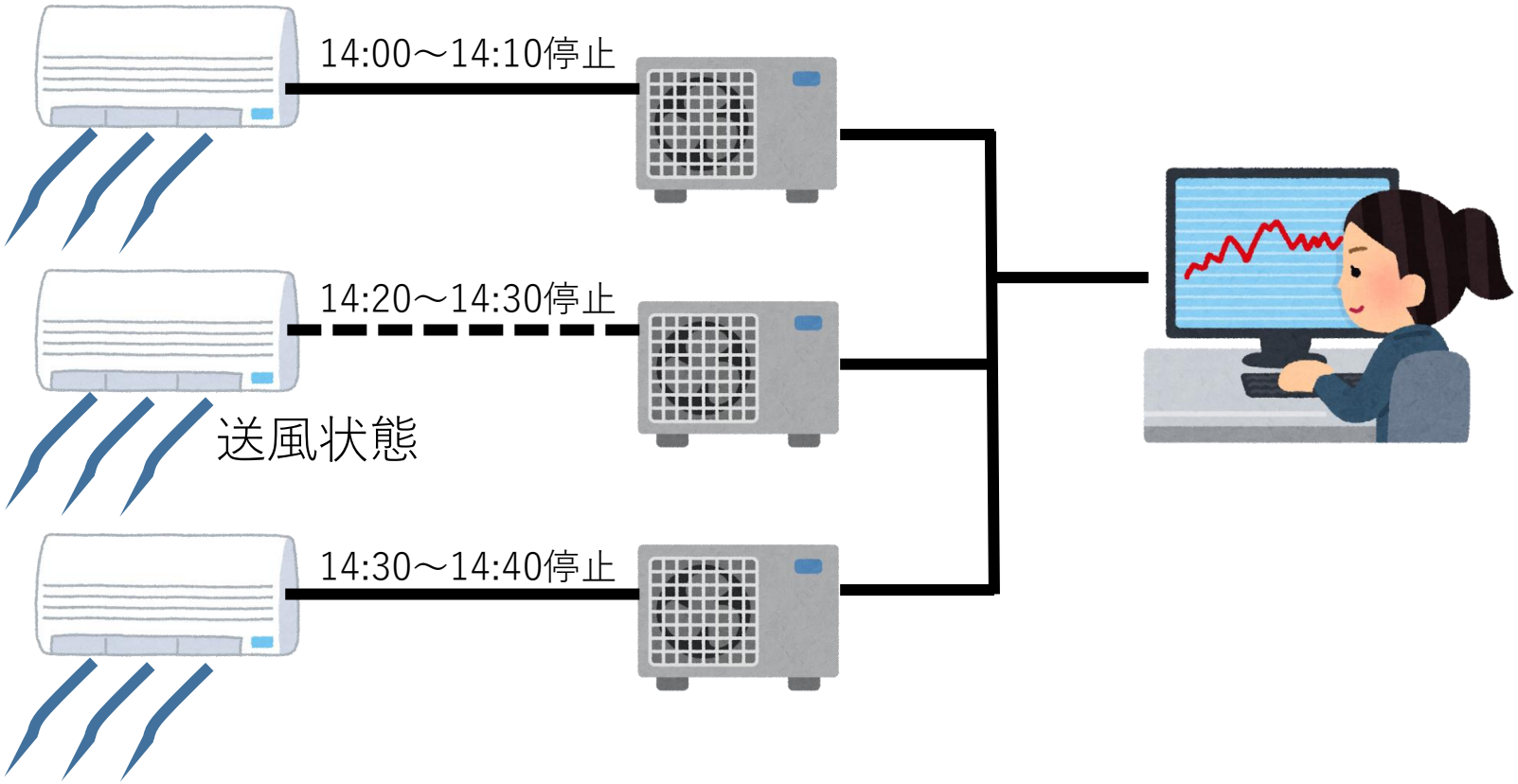
CC BY 4.0　NPO法人木野環境

2-7)HEMS・BEMS・FEMS

実用化

（Home/Building/Factory Energy Management System）

- デマンドを監視しピークになりそうな場合に自動的にエアコンの室外機などを停止しピークを抑える



CC BY 4.0　NPO法人木野環境

2-8)バイオガスとは

▲各家庭から生ごみを集めます。

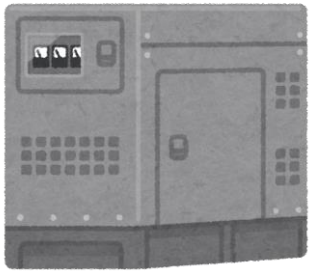
収集

▲生ごみを発酵槽に投入してメタン発酵が始まります。

ガス生産

▲バイオガスは燃料として利用できます。

発電



肥料生産

▲消化液は肥料として利用できます。

ゼロエミッション

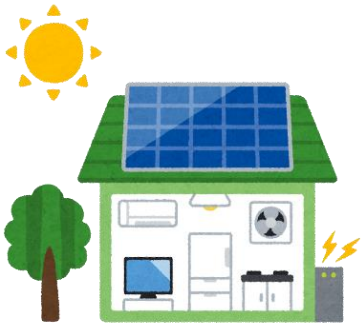
▲廃棄物処理ができ、エネルギーが得られ、不要物が出ない、循環型の技術です。

Copyright (C) Kino Eco NPO

2-9)RE100宣言の代表的な方法

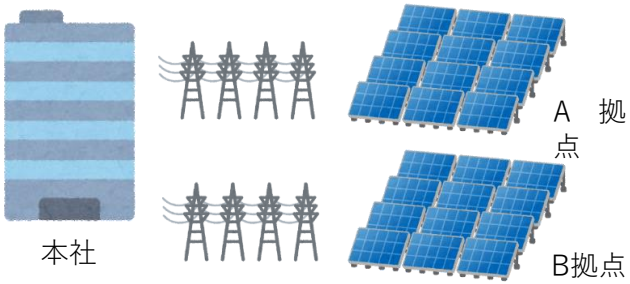
❶ 自社でまかなう

自社で自然エネルギー発電所をもって完全自給する方法。バッテリーを使うことが重要。



❷ 託送でまかなう

社内の別の敷地（地方の工場の敷地など）のソーラーパネルで発電した電気を「託送」する。託送とは電力会社に依頼して自社発電分を既存の電線を介して届けてもらい、拠点間で融通する方法

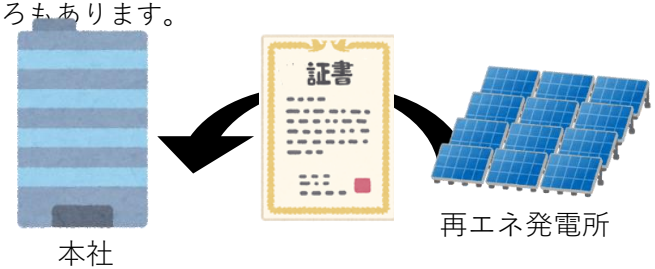


❸ 新電力会社のサービスを選ぶ

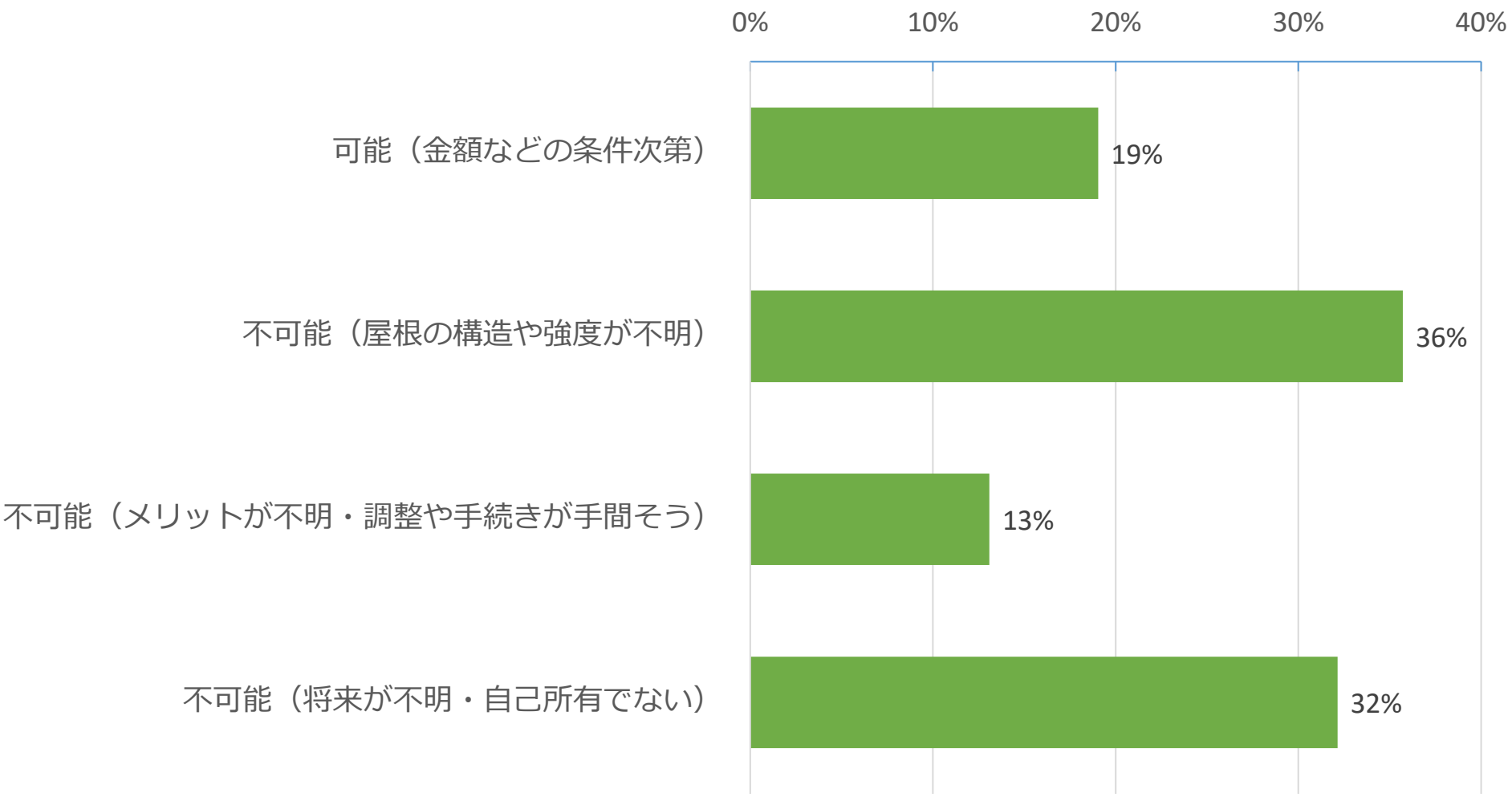
電力の自由化が進み、どの会社でも、どの家庭でも電力会社を選ぶことができるようになりました。電源構成を再生可能エネルギーに限定しRE100宣言ができるメニューを販売しているPPS会社もあります。

❹ グリーン電力証書でオフセットする

「グリーン電力証書」とは再生可能エネルギーによる発電に委託費用を支払うことで、再エネ電力を利用したとみなすしくみです。自社で消費する全量分を購入すればRE100になります。PPS会社にはグリーン電力証書を使ってRE100用電源としているところもあります。



事業者アンケート：問11　PPAモデル設置の可能性



Copyright (C) Kino Eco NPO

環境基本計画に盛り込めそうなこと（家庭）

【促進・補助・共同購入】

・太陽光発電
・省エネ機器の買替（LED・家電・エコキュート）
・蓄電池
・HEMS（エネルギーマネジメントシステム）
・ZEH（ゼロ・エネルギー住宅）
・V2H（車への充電ー車にたまった電気の利用）
・PPA（第三者所有モデル）
・再生可能エネルギーの選択
・薪ストーブ、ペレットストーブ
・EV車
・MaaS（カーシェア・スマートモビリティー・ドローン配送）
・公共交通機関の促進（維持）

Copyright (C) Kino Eco NPO

環境基本計画に盛り込めそうなこと（事業者）

【販売支援、普及、補助】

・太陽光発電
・蓄電池
・PPAモデル
・FEMS、BEMS
・省エネ
・ZEB
・V2H（車への充電ー車にたまった電気の利用）
・再生可能エネルギーの選択
・薪ストーブ、薪ボイラー
・新電力の立上（交野電力）
・LP事業者などの支援
・EV車
・２４時間営業の廃止
・Jクレジット

Copyright (C) Kino Eco NPO

環境基本計画に盛り込めそうなこと（行政）

- PPA
- 太陽光発電
- 蓄電池（災害時対応）
- マイクログリッド
- ZEB

Copyright (C) Kino Eco NPO

目標値

首相発言	2030年度の排出量を2013年度比で46%削減する	
第6次 エネルギー基本計画	2030年度に再エネの目標値を36～38%としている。	現行の計画では 22～24%
大阪府 地球温暖化対策実行計画 （区域施策編）	2030年の温室効果ガス排出量を2013年度比で40%削減	

Copyright (C) Kino Eco NPO

本日議論したいこと・本日のアウトプット

交野市環境基本計画　エネルギー分野

10年後の姿	
数値目標	
施策の内容【家庭】	
施策の内容【事業者】	
施策の内容【行政】	

ここに対しての
意見出しをお願いします。

Copyright (C) Kino Eco NPO

それぞれの分野のビジョン（エネルギー分野）

計画名	目標
エネルギー計画_素案（国）	・2050年カーボンニュートラル（2020年10月表明） ・2030年　2013年比46%削減、更に50%の高みを目指して挑戦（2021年4月表明）
地球温暖化対策実行計画（大阪府）	2050年二酸化炭素排出量実質ゼロへ 大阪から世界へ、現在から未来へ府民がつくる暮らしやすい持続可能な脱炭素社会 ・2030年の温室効果ガス排出量を2013年度比で40%削減
第4次総合計画（交野市）	Nr.65　地球の温暖化に気を配り環境にやさしい配慮をしている
第2回WS	再生可能エネルギー、公共交通の維持、スマートモビリティ

２０５０カーボンゼロに向けた大きな社会変革を始めます。

Copyright (C) Kino Eco NPO